

SAP Enterprise Cloud Services

**役割と責任分担（「R&R」）適用対象：SAP Cloud ERP Private, tailored option, customer data center option
RISE with SAP S/4HANA Cloud, private edition, tailored option, customer data center option**

SAP S4HANA Cloud, private edition および SAP ERP, tailored option, customer data center option の役割と責任分担

公開版

2026 March

© 2026 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

R&R コンテンツ管理システムで生成されました。本書のいかなる部分も、SAP SE または SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製または伝送することはできません。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE およびその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。これらの文書は、いかなる種類の表明または保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE またはその関連会社によって提供され、SAP またはその関連会社は、これら文書に関する誤記脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP またはその関連会社の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

5つのカテゴリー：疑義回避のために、この「役割と責任分担」文書に項目別に記載されたすべてのタスクとサービスは、サービスのカタログとして提供される。ただし、それぞれの個々のタスクまたはサービスの関連性や必要性は、各顧客の「コンピューティング環境」に固有のものとなる。顧客は、これらのタスクを確認して分析するとともに、かかるタスク/サービスを、「SAP クラウドアーキテクトアドバイザー」（「CAA」）と、「SAP クライアントデリバリーマネージャー」（「CDM」）と、または Private Cloud のカスタマーセンターチームと協力して選択する責任を負う。また、特定のサービスの利用可能性は、サンドボックスやその他のテスト環境にのみ限定される場合がある。

Service	Definition
パッケージサービス	パッケージサービス(1)には、顧客が実行できるタスク/サービスが含まれるが、顧客は、SAP(2)による実施を選択することができる。該当する場合、およびパッケージサービスが使用されていない場合は、顧客が実施する必要がある。パッケージサービスには、顧客の契約において合意される追加のサービス料金が適用される。（旧：「SAP Cloud Application Services（「CAS」）」は、追加料金で利用できる。該当する場合、および SAP の「CAS サービス」が使用されていない場合は、顧客が実施する必要がある。）
対象外タスク	対象外タスクは、顧客によってのみ実行可能なタスク/サービスであり、標準サービス、オプションサービスおよび追加サービスおよび/またはパッケージサービス(1)から除外される。
オプションのサービス	オプションサービス：これらのタスク/サービスは「標準サービス」には含まれず、またパッケージサービス(1)の対象ではなく、その対象とすることもできない。これらのタスク/サービスは、顧客が選択でき、追加のサービス料金が適用され、顧客の契約内で具体的に契約され項目が記載されている（元の契約または変更依頼を介して）必要があり、SAP(2)によってのみ実行可能である
追加サービス	追加サービス：標準サービス、オプションサービスおよび/またはパッケージサービス(1)の対象ではないタスク/サービスが含まれる。これらのタスク/サービスは、顧客が選択でき、追加のサービス料金が適用され、SAP(2)による実行のみ可能。
標準サービス	「標準サービス」の一環として含まれているすべてのタスク/サービスは、「サービス料金」でまかなわれ、SAP2により実行される（顧客に適用される場合）。一部のサービスは、「バンドルサービス」の一部として注文することができる。(3)

Open Definitions

(1) 「パッケージサービス」は、本書で「パッケージサービス」と明記された補足サービスのカテゴリーである。パッケージサービスには、顧客の契約において合意される追加のサービス料金が適用される。顧客の既存のランドスケープの拡張、縮小、または変更に関わるすべてのサービス（追加のインフラストラクチャーリソースのプロビジョニングなど）は、パッケージサービスから除外される。SAP は、パッケージサービスについて、プロアクティブモードまたはリアクティブモードで提供することができる。SAP がリアクティブモードでサービスを提供するためには、顧客は、チケット発行/サービス依頼システム（当該の目的用に顧客に提供されているもの）を介してサービスを提供する必要がある。
(2) 本書において使用する「SAP」という用語は、顧客の「注文書」に定められた SAP を指し、SAP または SAP の第三者プロバイダー若しくは下請負契約者を意味する。
R&R に記載されているすべてのタスクやサービスが、すべての顧客環境に関連するわけではない。インフラストラクチャーに関連するサービスは、デプロイされたインフラストラクチャープラットフォーム（Hyperscaler など）により異なる場合がある。タスクやサービスによっては、SAP または特定の SAP の第三者プロバイダーからは提供されない、または地域によって利用できないものもある。また、特定のサービスが利用可能かどうかは、顧客固有の状況（システムのサイズ、ソリューションスコープなど）によっても異なり、個別に「SAP クラウドアーキテクトアドバイザー」（「CAA」）、「SAP クライアントデリバリーマネージャー」（「CDM」）、または Private Cloud のカスタマーセンターチームとチェックして確認する必要がある。 顧客が購入していない、または標準サービスの一環として SAP により提供されないが、顧客とその「コンピューティング環境」に該当するすべてのタスクおよび作業は、顧客の責任である。
SAP が https://www.sap.com/about/agreements/policies/hec-services.html で提供しているこの「役割と責任分担」文書の PDF 版が、記録上の「ドキュメンテーション」である。顧客は、この「役割と責任分担」文書の非 PDF 版がタスクの分析、タスクの計画、および全体的な顧客のタスク管理目的で提供される場合があるが、かかるバージョンは「ドキュメンテーション」とはみなされないことを了承する。
(3) 「バンドルサービス」は、同じ時間枠内の保守作業に対応するために順次または並列に実行される複数の関連する標準サービス/タスクで構成され、発注と実行を最適化する。「バンドルサービス」の可用性は、「サービス依頼申請書」/SAP for Me に記載されている。

すべてのタスク記述書は、それぞれのタスクの実行のみを指し、必要となる可能性のあるハードウェア又はインフラストラクチャーの能力（コンピューティング、ストレージ、ネットワーク接続など）を除く。かかる実体に対する拡張は、契約上の変更要請（CR）を通じて処理される必要があり、追加のサービス料金が適用される。インフラストラクチャー関連サービスは、デプロイされたインフラストラクチャープラットフォーム（たとえば、ハイパースケーラー）。タスクは、特に明記されていない限り、サービスプロバイダーが管理するシステムにのみ適用される。特定のサービスの可用性は、サンドボックスやその他のテスト環境に対しても制限される場合がある。

Row	Identifier	Task	Responsibility	Remarks	Package	Package Code
			ROLES AND RESPONSIBILITIES			
1		A - サービス管理	「プレミアムパートナー」によって実施されるアカウントの場合、「A - サービス管理」における一定のタスクは、SAP とその「プレミアムパートナー」間の共同作業である顧客が所有するデータセンター（または顧客が保持する第三者データセンター）の要件およびパラメータは、「SAP Customer Data Center 注文書の補遺」に定義されており、電力供給、冷却、セキュリティ、ネットワーク、運用監査、SLA/可用性などに関する顧客の「データセンターコンピューティング環境」の条件を記載している。			
2		顧客管理				
3	SM_1.1.01	デリバリーとオペレーションのキックオフの実施-サポートマニュアルのレビュー- ランドスケープのレビューとスコープのアライメント- 詳細なエンゲージメントとオペレーションのレビュー	標準サービス			*
4	SM_1.1.02	キャパシティ管理レビュー：運用上の問題を回避するための、ランドスケープ内の各システムのレビュー、監視、およびリソース使用状況（ストレージ容量、メモリ、CPU など）の報告のために、レポートやセルフサービスのレポートツールを介してデータを提供する。技術的リソースの消費動向に基づいて、サービスの変更や拡張に対するニーズをレビューする。	標準サービス			*
5	SM_1.1.03	キャパシティ管理計画：技術的キャパシティ管理レビューに基づいて定期的なキャパシティ計画を提供する。	標準サービス			*
6	SM_1.1.04	システム停止通知およびエスカレーション管理	標準サービス	サービスを、目標とする品質および基準に戻すことを目的とした、危機的なサービス状況の取り扱い。本稼働環境に対してのみ、障害原因分析 (RCA) を提供する。		*
7	SM_1.1.05	サービスパフォーマンスのレビューと報告 - 定期的 ・レビューを行い、大量のサポート依頼が発生した場合は提言を行う ・サービスの可用性および KPI	標準サービス			*
8		サービス依頼管理 - テクニカルサポート				
9	SM_1.2.01	サービス依頼管理： ・サービス依頼プラットフォームを介したサービス依頼の作成 ・追加の顧客のアクション/注意/情報が必要な場合は、サービス依頼プラットフォームを介してサービス依頼を更新し、サービスプロバイダーに再送信。	対象外タスク	契約に定める手順に従った変更依頼 (CR) または変更指示。業務上の変更依頼 (CR) を必要とする、または計画と調整の必要があるサービス依頼は、顧客の業務時間内のみ実施。SAP ECS は、顧客が自身で登録、提出、および/または承認できない場合にのみ支援を提供できる。すべてのサービス依頼/変更依頼については、さらに書面（通常は電子メール）による顧客の承認が必要となる。特定のまれなケース（例：すでに契約されているサービスの提供をトリガーする場合）では、SAP ECS の担当者が顧客に代わってシステムでサービス依頼を作成できるが（提出は行わない）、顧客は請求対象であるかどうかにかかわらず、サービス依頼を提出する必要がある。顧客は、サービス依頼の提出を求める旨の確認メールを送信することもできる。その場合、SAP ECS の担当者が、顧客からの電子メール承認を添付して依頼を提出することもできる。SAP ECS の担当者は、顧客からの書面による承認なしで、「サービス依頼」を提出することはできない。		*
10	SM_1.2.09	サービス依頼管理 ・サービス依頼プラットフォームを介して依頼を受信し、確認する ・サービス依頼の重要度/優先度、必要な作業および承認を判定する ・依頼の承認を手配する ・依頼元に、承認または拒否を通知する ・サービス依頼のスケジュール設定を調整する ・サービス依頼の完了を通知する	標準サービス	プロバイダーは、サービスレベル契約に定められた業務時間内にサービス依頼に対処する。契約に定める手順に従った変更依頼 (CR) または変更指示業務上の変更依頼 (CR) を必要とする、または計画と調整の必要があるサービス依頼は、顧客の業務時間内のみ実施。		*
11	SM_1.2.11_AE	繰り返されるプロアクティブな CAS タスクに関するサービス計画の作成/繰り返されるプロアクティブなサービスに関するサービス計画の作成と更新管理	標準サービス	CAS パッケージが契約に含まれている場合にのみ適用。		*
12	SM_1.2.12_AE	管理対象のランドスケープに関するリリース計画の作成と更新管理	標準サービス	契約ランドスケープに対する SAP ソフトウェアアップデート (SAP のリリースバージョン、SAP のサポートパッケージ、SAP カーネルのアップデート、DB バージョン) のチェックを含む。		*
13		業種規制に対応するためのサービス	このセクションは、特定スコープのサービスパッケージを定義するものではなく、サポート関連のコンプライアンスニーズを定義している。詳細なサービス範囲は、マネージドサービス契約で指定されなければならない。これらのサービスで対応可能な業界標準の例としては、GxP や HIPAA が挙げられる。			
14		適格性評価サービス				
15	SM_1.6.02	適格性評価の成果物（プロジェクトおよびライフサイクルのドキュメンテーション）	オプションのサービス			*
16	SM_1.6.03	規制業種向けシステムへの管理者アクセスにおける必須要件としての人員の適格性評価とトレーニング	オプションのサービス			*
17	SM_1.6.04	追加のインストールの適格性評価を伴うオンボーディング/システムセットアップ	オプションのサービス			*
18		プロセスサービス				
19	SM_1.6.06	規制を受ける業種向けの文書および記録管理	オプションのサービス			*
20	SM_1.6.07	規制を受ける業種向けの変更および設定管理	オプションのサービス			*
21	SM_1.6.08	規制を受ける業種向けの問題管理	オプションのサービス			*
22	SM_1.6.09	監査および定期レビュー	オプションのサービス			*
23	SM_1.6.10	規制を受ける業種向けのシステム廃止	オプションのサービス			*

24		B - 管理対象インフラストラクチャー	セクション B - 顧客のデータセンターに所在するプロバイダーの機器：「管理対象インフラストラクチャー」では管理するシステムの一部として使用されるコンポーネントに提供されているインフラストラクチャーサービスについて記述しており、「サーバープロビジョニング」（別称 IaaS）に関するサービスについてはそれぞれのセクションで詳述している。インフラストラクチャーに関連するサービスは、デプロイされたインフラストラクチャープラットフォームにより異なる場合がある。SAP では、多くの場合、業種の境界を越えた標準ソフトウェアアプリケーションを提供している。また、各顧客には独自のシステムニーズがあるため、さまざまなタイプのビジネス用途およびサイジング KPI に関して多くの可能性がある。一般的なサイジングプロジェクトでは、顧客が一連の評価およびタスクを実行して、正確なサイジング結果を取得する。		
25		データセンター管理			
26	INFRA_1.1.01_CE	データセンターの管理	対象外タスク	このサービスは、それぞれのサービスプロバイダーが所有する顧客の施設内、または賃貸のコロケーション施設内のいずれかで運用される。	*
27		ネットワーク管理			
28	INFRA_1.2.01_CE	管理対象のシステムランドスケープとサービスプロバイダーのサポートインフラストラクチャー間におけるリモート接続の管理	対象外タスク	選択したサービスプロバイダーに応じて、顧客は、VPN のエンドポイント側装置について、VPN のエンドポイントの設定とサポート、およびインターネットエッジ/アクセスポイントを提供する必要がある。顧客は、冗長性のために、自身のネットワークを、複数のリンクでプロバイダーのサイトのネットワークに接続する。プロバイダーのネットワーク環境は、光ファイバー接続の終端を、10G と 100 G の間に設定する。	*
29	INFRA_1.2.03	ネットワーク分離を目的とした、顧客ランドスケープ内の既存システムを新規サブネットへ移行 - 初期ランドスケープの構築	追加サービス	既存の仮想マシンをあるサブネットから別のサブネットに移動または再設定する場合。顧客ゲートウェイサーバー (CGS) は含まれず、CGS については、INFRA_1.2.06 を参照。	*
30	INFRA_1.2.03A	追加サブネットのプロビジョニング	追加サービス	最大で 2 つの追加サブネットが、初期ランドスケープ構築時の標準オファリングの一部として対象となる。顧客は、初期ネットワーク構築時または既存のランドスケープ内で追加のサブネットが必要な場合は、この追加サービスを使用して追加のサブネットを要求することができる。このサービスは、サンドボックス、DEV、QA などの階層に対するサブネットの作成のみが対象であり、SG/NSG/ファイアウォールサービスを使用したサブネット間の分離や制限は対象外となり、その場合は、INFRA_1.2.03B を使用する。アプリケーションまたは DB サーバーの分離はスコープ外。	*
31	INFRA_1.2.03B	本稼働階層と非本稼働階層間の通信制約の設定	追加サービス	階層間またはオンプレミスのシステム間での制約が必要な場合に利用可能。顧客は、制約をプロビジョニングするための通信マトリクスを提供する必要がある（階層間でのトランザクションマウントアクセスを許可、本稼働から QA へのポート 3299 を許可など）。制約ルール (ACL など) は、顧客ランドスケープあたり 20 に制限される。ある階層内のアプリケーションと DB サーバー間でのこのような制約は、スコープ外であり許可されない。サービスプロバイダーのアクセスに制約をかけることはできない。	*
32	INFRA_1.2.04_CE	既存の顧客における接続性の変更	対象外タスク	顧客は、各ロケーション (DR の場合、プライマリとセカンダリ) における顧客のインターネットアクセスポイントから、プロバイダーの管理ネットワークへのルーティングを設定して管理する必要がある。	*
33	INFRA_1.2.06_CE	IP アドレスの移行 - 既存の顧客ユーザーアクセスネットワークセグメントの IP アドレス設定を新たな IP アドレス設定に変更	追加サービス	サービス管理ネットワークに対する IP の範囲は、完全な再構築とサービスの喪失なしに変更することはできない。顧客データセンターのデプロイメントモデルを使用している顧客については、初期システム構築前に最終的な IP アドレスの範囲を指定することが強く推奨される。顧客のユーザーアクセスネットワークセグメント用の IP 範囲は、初期構築後に SAP システムを新しいセグメントに移行した後にのみ変更が可能。	*
34	INFRA_1.2.07	オンプレミスのホスト名を解決するために顧客の DNS サーバーへの、顧客のオンプレミスドメインの DNS 統合を可能にする	標準サービス	初期セットアップおよびオンボーディングのフェーズのみにおける標準サービス。システム引渡し後に必要な場合は、INFRA_1.2.11 を使用。DNS サーバーへの DNS フォワーディング機能によりサポートされる。このタスクにより、個々のサーバーに /etc/hosts ファイルのエントリーが追加されることはない。	*
35	INFRA_1.2.08	SAP ドメイン (*.sap.biz) の顧客ドメインへの移行、または顧客ドメインの移行	追加サービス	顧客が内部ドメインから顧客ドメインへの変更を希望するか、または組織変更により既存のドメインを新規ドメインに移行することを希望する場合に使用。	*
36	INFRA_1.2.09_CE	ファイアウォールとネットワークのコントロールのセットアップ	対象外タスク	このサービスには、管理用ポートをブロックするための基本的なファイアウォール保護のみ用意されている。顧客は、プロバイダーのインフラストラクチャーへのネットワークトラフィック上で、すべてのファイアウォールのセットアップとコントロールを提供する必要がある。ネットワークのセグメント化は、デフォルトで最大 3 つのネットワークセグメントに分割することができる。	*
37	INFRA_1.2.10_CE	ハードウェアの負荷分散の設定とサポート	対象外タスク	このサービスには、ハードウェアの負荷分散デバイスは含まれておらず、含まれるのは SAP Web ディスバッチャなどのソフトウェアの負荷分散ソリューションのみ。	*
38	INFRA_1.2.11	DNS 設定の変更	標準サービス	顧客のオンプレミスドメインへの DNS 転送、複数のリモートサイトへのゾーン転送、および既存の DNS 設定の変更。	*
39	INFRA_1.2.12	ハイパースケーラー向けの共有アクセスキーを生成し、IP を許可する	標準サービス	ブラウニングフィールド移行用。移行目的でオンプレミスデータをアップロードするための SAP ECS クラウドストレージへのアクセスを許可する。オンプレミスのパブリック IP をホワイトリストに登録することで、オンプレミスと SAP ECS クラウドストレージ間の接続を確立する。	*
40		ハードウェア運用	サービスプロバイダーが管理する機器に適用。		
41	INFRA_1.4.03	マネージドサービスのインフラストラクチャー保守の計画と実施	標準サービス		*
42	INFRA_1.4.05	コンピューティング環境の重要な運用パラメーターの監視	標準サービス		*
43	INFRA_1.4.06	ディスク容量の監視	標準サービス	追加容量については、追加料金が発生。	*
44	INFRA_1.4.07	サーバーキャパシティの監視	標準サービス	追加容量については、追加料金が発生。	*
45	INFRA_1.4.08	ネットワーク利用の監視	標準サービス		*

46	INFRA_1.4.09	インフラストラクチャー/ハードウェア/システム要求。ハードウェアのアップグレードや追加などの必要に応じた業務上の変更依頼の処理	標準サービス	合理的な時間的余裕をもって、顧客は、十分な詳細事項を添えて追跡システムを通じて依頼を行う。追加料金が適用される。サービスは営業時間内のみ提供（営業上の部分のみ。技術的な実装のスケジュールは、契約上の仕様に基づいて定められる）。		*
47	INFRA_1.4.11	コンピュータキャパシティ（メモリーと CPU）の拡張	オプションのサービス			*
48		ストレージ管理				
49	INFRA_1.5.01	標準および慣行に従って、データファイル、ファイルシステム、およびディスクを管理	標準サービス	プロセスフロー - 追加情報あり。		*
50	INFRA_1.5.02	ストレージ容量の拡張	オプションのサービス			*
51	INFRA_1.5.07	EBS ルートボリュームの暗号化	標準サービス			*
52	INFRA_1.5.08	HANA データベースマシンからの SWAP ディスクの削除	標準サービス			*
53		オペレーティングシステム				
54	INFRA_1.6.01	OS のユーザーおよびグループの作成と更新管理	標準サービス	サービスプロバイダーによるアクセスのみ。顧客によるオペレーティングシステムへの特権アクセスは不可。		*
55	INFRA_1.6.04	セキュリティインシデントに関する顧客への通知	標準サービス			*
56	INFRA_1.6.05	OS パラメーターの設定	標準サービス	タイムゾーンパラメーターの変更/更新などのさまざまな活動に使用される。		*
57	INFRA_1.6.06	オペレーティングシステムの問題のトラブルシューティング、システムログおよびファイルシステムの監視	標準サービス			*
58	INFRA_1.6.07	オペレーティングシステムの問題を解決するための OS ベンダーとの協力	標準サービス			*
59	INFRA_1.6.08	スワップ領域およびページ領域の監視	標準サービス			*
60	INFRA_1.6.09	メモリー負荷の監視	標準サービス			*
61	INFRA_1.6.12	オペレーティングシステムのソフトウェアライフサイクル管理	標準サービス	プロセスフロー - 追加情報あり。「バンドルサービス」の一部として注文することができる。		*
62		システムの起動/シャットダウン				
63	INFRA_1.7.01	コンピューティング環境の計画済みの起動/シャットダウンの実行	標準サービス			*
64	INFRA_1.7.03	障害後のコンピューティング環境の再起動	標準サービス			*
65		バックアップ/復元				
66	INFRA_1.8.01	標準的なファイルシステムおよびデータベースのバックアップの実行	標準サービス	標準どおり、または「契約」の特定の条件に従う。		*
67	INFRA_1.8.10	オンデマンドバックアップ/既存のオンデマンドバックアップの拡張	追加サービス	バックアップまでのリードタイムは事前に調整される。保存期間は、契約終了日または 12 か月のいずれか早い方を超えることはできない。12 か月を超えて保存されるバックアップは、本オファリングの対象外となる。INFRA_1.5.02 を使用してサイズ要件に従い、BLOB（バイナリーラージオブジェクト）ストレージを追加で考慮に入れる。データベースのログバックアップは保持されない。		*
68	INFRA_1.8.09	長期バックアップ：SKU ベース、補足サービスベース	オプションのサービス	このサービスは、顧客の契約サービスタイプに記載される標準的な定期バックアップオフアリングに基づく。例えば、PCE 契約の補足バックアップや SKU ベースバックアップからの LTB バックアップなどである。保存期間は契約終了日を超えることはできない。このサービスでは、DB/FS のオンラインバックアップメカニズムが利用され、データベースのログバックアップは保持されない。変更依頼手順のためのリードタイムを、サービスの発注時に考慮に入れる。サイズ要件に従い、BLOB（バイナリーラージオブジェクト）ストレージを考慮に入れる。		*
69	INFRA_1.8.11	バックアッププロセスの監視	標準サービス			*
70	INFRA_1.8.07	バックアップ/リストア手順の定期的なテスト	標準サービス	このタスクは顧客による発注はできない。このタスクは、手順および運用の準備態勢を確認するために使用。テストは、個別の各システムについてではなく、代表的なシナリオについて実施される。		*
71	INFRA_1.8.03	必要に応じて、システム障害後にデータの復元と回復（ファイルシステム、データベース）を実行	標準サービス			*
72	INFRA_1.8.02	顧客の要請により（システム障害の対応以外の理由）、データの復元と回復（ファイルシステム、データベース）を実行	標準サービス	SID（ターゲットシステム）あたり、契約年あたり最大 12 回の復元が含まれる。システムコピー中に実行される復元は、この制限に対してカウントされる。追加の復元には、BASIC 1.8.20 を使用する。		*
73	INFRA_1.8.06	復元した情報の論理的な整合性および一貫性の検証	対象外タスク			*
74		NFS DB ボリュームの一貫性のあるスナップショットと復元		NFS のタスクおよびサービスは、既存の顧客に限定され、現在、新規の顧客には提供されていない。SAP データセンターでのみ使用できる。非標準のファイルシェアレプリケーションを依頼する場合は、以下の制限に注意するカスタムフォルダー/マウントのストレージおよびファイル数は、それぞれ 512GB 以下および 100 万以下にする必要がある。		
75	INFRA_1.13.01	標準の NFS DB ボリュームスナップショットの実行	標準サービス	SAP HANA および ASE のみ。標準どおり、または「契約」の特定の条件に従う。	該当せず	n/a
76	INFRA_1.13.02	アドホックでの NFS DB ボリュームの一貫性のあるスナップショットの実行	標準サービス	リードタイムは事前に調整。	該当せず	n/a
77	INFRA_1.13.03	例外的なアドホックでの NFS DB ボリュームの一貫性のあるスナップショットの実行	標準サービス	例：スナップショットの保存期間を延長するか、より長く保存する場合は二次システムに転送する。提供されるオプションは、別途サービス内容説明に記載されており、変更となる場合がある。スナップショットの頻度と保管期間の理論的に可能なすべての組み合わせが提供されるわけではない。	該当せず	n/a
78	INFRA_1.13.04	システム障害後の必要に応じた、DB NFS ボリュームのスナップショットの復元と回復（ファイルシステム、データベース）の実行	標準サービスの	顧客のエラーに起因する場合は、復元に割増料金が適用される。	該当せず	n/a
79	INFRA_1.13.05	顧客の要請による（システム障害の対応以外の理由）、DB NFS ボリュームのスナップショットの復元と回復（ファイルシステム、データベース）の実行	標準サービスの		該当せず	n/a
80	INFRA_1.13.06	標準のフラットファイルシステムの NFS ボリュームのスナップショット（非 DB ボリューム）の実行	標準サービス	標準どおり、または「契約」の特定の条件に従う。	該当せず	n/a
81	INFRA_1.13.07	顧客の要請に応じた、標準的なフラットファイルシステムの NFS ボリュームのスナップショット（非 DB ボリューム）の復元（システム障害への対応以外の理由）	標準サービス		該当せず	n/a

82	INFRA_1.13.07A	標準的なフラットファイルシステムの NFS ボリュームのスナップショット（非 DB ボリューム）の復元 - システム障害後の必要に応じて	標準サービス		該当せず	n/a
83		オンプレミスおよびハイパースケーラーの NFS マウント				
84	INFRA_1.14.01	顧客提供のオンプレミスおよび/またはハイパースケーラー NFS をマウントする	標準サービス	NFSv4.1 以降でのみ使用できる。サービスレベル契約 (SLA) は、WAN 経由の NFS マウントには適用されない。システムの再起動が必要になる場合がある。「ソフトマウント」のみがサポートされている。パフォーマンスおよび帯域幅の監視は、顧客の責任である。		*
85		インフラストラクチャー統合				
86	INFRA_1.9.02	顧客の Active Directory、Google IdP、およびその他の ID 管理ソリューションの統合	対象外タスク	クラウド環境向けの SSO ソリューションに関連して、顧客は他の SAP のサービスを利用することができる。		*
87	INFRA_1.9.04	顧客のインフラストラクチャー内のシステム/リソースへのアクセスの提供	対象外タスク	合意された契約上の義務を履行する必要がある場合。		*
88		ファイル転送機能：CIFS シェア				
89	INFRA_1.10.01	管理されたランドスケープ Windows クライアントおよび Linux クライアントで、リモート顧客の SMB 共有を現地マウント（別名 CIFS）	標準サービス	契約で合意されたインフラストラクチャー能力の範囲内。DB サーバー上の SMB 共有は許可されない。		*
90	INFRA_1.10.01A	リモートの SMB クライアント用に、管理対象ランドスケープの LINUX サーバー上で Samba サーバーシェアを提供	標準サービス	契約で合意されたインフラストラクチャー能力の範囲内。Samba サーバー共有設定は DB サーバーで許可されない。		*
91	INFRA_1.10.03	ユーザーとアクセスの管理	標準サービス	1 回/シェアが作成された当初。		*
92	INFRA_1.10.04	シェア上でのフォルダー構造の作成と更新管理	標準サービス			*
93	INFRA_1.10.05	提供されているシェアに接続するエンドユーザー機器の、最新のウイルス対策での保護	対象外タスク			*
94	INFRA_1.10.06	サーバーのウイルス対策の導入	標準サービス			*
95	INFRA_1.10.07	データの完全性を確実にするための、シェアにアップロードされたデータのバックアップ	対象外タスク	顧客は CIFS のシェアにアップロードされるデータを顧客側で保存して適切に保護する必要がある。シェア自体は標準のファイルシステムのバックアップによってのみバックアップされ、任意の時点での回復はできない。		*
96		管理対象 SFTP サーバー	管理対象サーバー内の既存のアプリケーションサーバー上にインストールされる			
97	INFRA_1.11.01	SFTP デーモンの設定	標準サービス	Linux 上でのみ利用可能（インターネットからの）外部受信は許可されない。		*
98	INFRA_1.11.02_AE	SFTP ユーザーのアカウントおよびグループの作成と更新管理	標準サービス	サーバーごとに最大 10 ユーザー。		*
99	INFRA_1.11.02A	SFTP ユーザーのアカウントおよびグループの作成と更新管理 - 追加の要求	追加サービス	INFRA_1.11.02_AE で提供されているユーザー以外の追加ユーザーに対する要求		*
100	INFRA_1.11.03	ファイルシステムの管理	標準サービス	契約で合意されたインフラストラクチャー能力の範囲内。		*
101	INFRA_1.11.04	ユーザーリストの提供	対象外タスク			*
102	INFRA_1.11.05	ファイルの作成および削除	対象外タスク			*
103		ワイドエリアネットワークの管理				
104	INFRA_1.12.01_CE	顧客のデータセンター/サイトにおけるネットワークインフラストラクチャーの提供	対象外タスク	顧客が複数の SAP サービスデリバリーサイトを使用している（災害回復の目的などで）場合、顧客は、それらのサイト間で 2 つの 10G 接続を作成した上で、それらをそのネットワーク管理サービスに繋げて、SAP サービスデリバリーサイトに提供する責任を負う。		*
105	INFRA_1.12.03	適切なサイズの決定と、顧客と管理対象システム間のネットワーク接続の購入。通信プロバイダー/ISP の管理	対象外タスク			*
106		C1 - データベース管理 SAP HANA				
107		SAP HANA（一般的なデータベース運用）		「役割と責任」のこのバージョンに明記する評価のサービススコープには、一定のベースライン機能と、SAP HANA データベースの一部である機能が含まれる。SAP HANA では、関連するサービスやサポートが標準のサービススコープには含まれておらず、追加費用ベースで利用できる場合がある追加またはオプションの機能を提供している。それらの機能および将来の SAP HANA の機能をサポートする追加/オプションのサービスと、それらサービスの可用性は、条件ごとに SAP が評価を実施し決定する（付随する作業および経費のアセスメントを含む）。それぞれの標準的サービスおよび追加のサービスは、この文書の別のセクションに記載されている。		
108	HANA_1.1.31	データベースリリース管理に関する推奨事項の提供	標準サービス	サービスプロバイダーが、運用経験や SAP Product Development から提供された情報に基づいて、推奨されるデータベースリリースに関するガイダンスを提供する。	該当せず	n/a
109	HANA_1.1.01	バックアップ作業などのための、ファイルシステムの拡張の計画と実行	標準サービス	追加のインフラストラクチャー消費は CR が必要。	該当せず	n/a
110	HANA_1.1.02	テクニカル運用での問題を検出するための、データベースリソースの消費状況の監視	標準サービス	タスクの出力情報はキャパシティ管理に反映される。最適化に関する推奨事項も SAP Enterprise Support サービスを介して得られる場合がある。	該当せず	n/a
111	HANA_1.1.03	テーブルの増大を監視して運用上の問題を未然に防止し、サービスが契約上のサイズ範囲に収まるようにする	標準サービス	ストレージ容量は、サービス内容説明に明記されている。監視およびアラートは自動システムを介して実行される。データの増大制限に関する推奨事項も SAP Enterprise Support サービスを介して得られる場合がある。	該当せず	n/a
112	HANA_1.1.04	テーブルの分割（技術的実行）	標準サービス	サービスプロバイダーのみが実行するタスク。顧客による実行は不可。大量のテーブル増大のためにパーティショニングが必要な場合、標準サービスには、依頼がオンラインまたはオフラインのテーブルパーティションのいずれを対象とするかにかかわらず、契約年ごとに SID あたり 1 つのテーブルのパーティショニングのみが含まれる。空のパーティションの作成依頼は、顧客によって提出され、標準サービスとして扱われるものとする。追加のパーティショニング依頼は、HANA_1.1.35 の下で個別に請求される。		*
113	HANA_1.1.35	テーブルの分割（技術的実行） - 追加要求	追加サービス	追加のテーブル分割依頼の作業。	該当せず	n/a
114	HANA_1.1.36	テーブル配置ルールに基づくデータベーステーブルの再配分（技術的実行）	標準サービス	アプリケーションの依存関係が関わる要件の場合（1 つのホストから別のホストへのマニュアルでのテーブル移動やテーブル分割など）	該当せず	n/a
115	HANA_1.1.05	行ストア/列ストアの移行の実行：技術的実行のみ	標準サービス	顧客の要請に応じて。実行当事者はサービスプロバイダーと顧客の間で相互に合意される。大きな SAP テーブルの移行はサービスプロバイダーによって実行される。顧客は希望に応じて自身のテーブルに対するタスクを実行できる。顧客の承認に基づいて追加のダウンタイムが必要となる。	該当せず	n/a

116	HANA_1.1.37	データベースのデフラグメンテーション（データボリュームの再生利用）	標準サービス		該当せず	n/a
117	HANA_1.1.38	データベースローストアの断片化	標準サービス		該当せず	n/a
118	HANA_1.1.06	データベースに技術的な問題がないかを監視、データベースの技術的な障害を分析して解決	標準サービス		該当せず	n/a
119	HANA_1.1.07	HANA ログおよびトレースファイル（トレース、統計ファイルなど）をクリーンアップしてキャパシティを解放し、HANA システムをクリーンで正常な状態に維持	標準サービス		該当せず	n/a
120	HANA_1.1.08	SAP HANA および SAP HANA XS の技術的設定パラメーターの、標準や推奨に基づく更新管理	標準サービス		該当せず	n/a
121	HANA_1.1.09	データベースの起動/停止	標準サービス		該当せず	n/a
122	HANA_1.1.10	SAP HANA の容量を調整するための、SAP HANA のノードの追加/削除	オプションのサービス	HANA のスケールアウト構成のみが対象。	該当せず	n/a
123	HANA_1.1.28	既存の SAP HANA データマートに対する追加のスキーマの作成	標準サービス		該当せず	n/a
124	HANA_1.1.26	SAP HANA データベースアーキテクチャーの変更（シングルノードからマルチノードへ、またはその逆）	オプションのサービス	シングルノードからマルチノードへ、およびその逆の場合は、HANA サービスの追加/削除などの追加ステップが必要となり、ハードウェアの移行として扱われる。	該当せず	n/a
125	HANA_1.1.11	高可用性のためのスタンバイデータベースの管理（HANA システムレプリケーション）	標準サービス	本稼動システムについてのみ実施する。専用のスタンバイデータベースがソリューションの一部として契約に明示的に含まれている場合のみ。マルチノードセットアップについてはスコープ外。フェイルオーバーテストは、システムごとの定期的な実施は行われない。	該当せず	n/a
126	HANA_1.1.12	SAP HANA データベースソフトウェアのアップデート	標準サービス	メンテナンスのための追加のダウンタイムが必要。HA ノードのあるシステムでは、デフォルトで ZDO/ダウンタイム最小化などの高度なアップデート手法の使用を含む。「アップデート」という用語は、ホストされている SAP ソフトウェアの新規マイナーリリースに対する変更を表し、通常は主にバグフィックスや小規模の拡張を指す。データベースクライアントの更新は、SAP アプリケーションカーネルの更新手法に統合されている。	該当せず	n/a
127	HANA_1.1.12A	SAP HANA クライアントのインストールまたはアップデート	標準サービス	アプリケーションインスタンスおよび非 SAP HANA システムで SAP HANA クライアントソフトウェアをインストールまたは更新する。本稼動システムおよび非本稼動システムに適用される。「バンドルサービス」の一部として注文することができる。	該当せず	n/a
128	HANA_1.1.33	SAP HANA のバージョンアップグレードと DB クライアントのアップデート	標準サービス	HANA システムから、最新のサポートバックレベルにある HANA MDC システムへ。また、レプリケーションモードを CLR に設定。「バージョンアップグレード」という用語は、ホストされている SAP ソフトウェアの新規メジャーリリースへの変更を表し、通常は機能の拡張を含む。	該当せず	n/a
129	HANA_1.1.22	SAP HANA Transports Management のセットアップ	標準サービス	移送管理システムのセットアップに限定され、移送管理システムの継続的な運用は含まれない。	*	
130	HANA_1.1.14	追加の SAP ツール（SAP HANA Analytics Foundation Browser など）の実装/保守	標準サービス	顧客の要件に基づく、SAP 提供の HANA コンテキストのツールのみを対象とし、サードパーティーのツールは対象外。	該当せず	n/a
131	HANA_1.1.16	問題を解決し、SAP HANA を正常な動作状態に戻すためのシステムのトラブルシューティング（ブロックされたトランザクションなど）	標準サービス		該当せず	n/a
132	HANA_1.1.17	SAP HANA Studio における HANA モデリングのためのユーザーの作成/変更	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS	A1,C1
133	HANA_1.1.18	ユーザー、役割、および権限の管理（非技術ユーザー）	パッケージサービス	顧客は、SAP HANA のロール CUST_USER_ROLE_ADMIN について、そのオーナーとなり責任を負う。	アプリケーション運用、ユーザー管理、Cloud ERP private 向け CAS	A1,S2,C1
134	HANA_1.1.19	ユーザー、役割、および権限の管理（技術系ユーザーおよび管理ユーザー）	標準サービス	プロセスフロー - 追加情報あり。技術ユーザー：SAP HANA により提供され、使用されるユーザーなど。このサービスの対象は、SAPSID / SAPABAP1 / SAPHANADB など、サービスプロバイダーにより作成された内部ユーザーのみ。	該当せず	n/a
135	HANA_1.1.20	データベースバックアップの実行（定期的なフルバックアップおよびログバックアップ）	標準サービス	バックアップポリシーに従う。	該当せず	n/a
136	HANA_1.1.21	技術的な問題が発生した後の SAP HANA の復元と回復	標準サービス		該当せず	n/a
137	HANA_1.1.30	データベース整合性チェック（DBCC）の実行	標準サービス		該当せず	n/a
138	HANA_1.1.32	データベーススキーマのエクスポート/インポート	対象外タスク		該当せず	n/a
139	HANA_1.1.23	運用時にインストール済みの SAP HANA データベース上での SAP HANA データベースの暗号化の実装	標準サービス	稼動中のシステム上で暗号化を有効にする。通常、ダウンタイムは不要であるが、極端なケースでは必要になることがある。利用する記憶領域を追加する場合は、変更依頼（CR）の対象となる。SAP HANA プラットフォーム 2.0 SPS 07 以降のシステムに適用可能。下位バージョンではダウンタイムが必要になる場合がある。	該当せず	n/a
140	HANA_1.1.24	ビルド時にインストール済みの SAP HANA データベース上での SAP HANA データベースの暗号化の実装	標準サービス	SAP HANA プラットフォーム 2.0 SPS 07 以降のシステムでは、デフォルトで暗号化が有効化されている。SAP HANA プラットフォーム 2.0 SPS 05 の場合、暗号化は要求された場合にのみシステム構築時に有効化される。	該当せず	n/a
141	HANA_1.1.39	インストール済みの SAP HANA データベース上での SAP HANA ログの暗号化の実装	標準サービス		該当せず	n/a

142	HANA_1.1.40	SAP HANA System Replication (HSR) 上でのセキュアな通信の設定	標準サービス	HANA 2.0 ではデフォルトで利用可能。HANA 1.0 についてのみ、EarlyWatch Alert により System Replication の通信のセキュリティ保護が推奨されているか、テナントを別のシステムに移す必要がある場合に、明示的に必要となる。	該当せず	n/a
143	HANA_1.1.41	SAP HANA 高速再起動オプションの有効化	標準サービス		該当せず	n/a
144	HANA_1.1.42	SAP HANA 高速再起動オプションの無効化	標準サービス		該当せず	n/a
145	HANA_1.1.43	HANA プラグインのインストールまたは更新	標準サービス	選択した HANA データベースでの HANA プラグインのインストールまたは更新に使用される。	該当せず	n/a
146	HANA_1.1.44	HANA で SSL/TLS を有効にするための、システム (OS レベル) 設定	標準サービス		該当せず	n/a
147	HANA_1.1.45	テストデータのリフレッシュ	追加サービス	テスト目的で、ビジネスオブジェクトに基づいて本稼動 (PRD) 環境から非本稼動環境にアプリケーションデータをコピーする。最低限必要なソフトウェアバージョンは S/4HANA 2023 である。	該当せず	n/a
148	HANA_1.1.47	SAP ASE データベースから SAP HANA データベース - インプレース移行	追加サービス	追加のインフラストラクチャーが必要であり、別途注文する必要がある。		*
149	HANA_1.1.46	ワークロード管理	標準サービス	ワークロードクラスの設定は、顧客が実行することを目的としている。ただし、顧客はサービスプロバイダーにこの作業の実行を依頼することができる。顧客はサービス依頼で設定、しきい値、および値を提供する必要がある。		*
150		SAP HANA XS				
151	HANA_1.2.01	SAP HANA XS の技術的設定パラメーターの、SAP の標準と推奨に基づく更新管理	標準サービス		該当せず	n/a
152	HANA_1.2.02	アプリケーションランタイム設定の更新管理	標準サービス		該当せず	n/a
153	HANA_1.2.03	信頼関係の管理	標準サービス		該当せず	n/a
154	HANA_1.2.04	SAML プロバイダーの更新管理	標準サービス		該当せず	n/a
155	HANA_1.2.05	SMTP サーバー設定の更新管理	標準サービス		該当せず	n/a
156	HANA_1.2.06	SAP HANA への HTTP アクセスの更新管理	標準サービス		該当せず	n/a
157	HANA_1.2.08	ユーザーのセルフサービスツールの更新管理	標準サービス		該当せず	n/a
158	HANA_1.2.09	XS ジョブのスケジュール設定	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS	A1,C1
159	HANA_1.2.11	SAP HANA XS アプリケーション用の HTTP トレースの更新管理	標準サービス		該当せず	n/a
160		SAP HANA XSA		SAP HANA XSA は、SAP HANA データベースの標準インストールには含まれない独立した技術コンポーネントである。SAP HANA XSA を利用する場合は、初期契約または後続の契約変更リクエスト (CR) において、明示的に含める (スコープに追加する) 必要がある		
161	HANA_1.9.01	HANA サーバーと併せてインストール	オプションのサービス		該当せず	n/a
162	HANA_1.9.02	すでにインストールされている HANA サーバーのアドオンとしての、XSA コンポーネントのインストール	オプションのサービス		該当せず	n/a
163	HANA_1.9.04	顧客側での HANA 開発用の XSA のセットアップ/設定	対象外タスク		該当せず	n/a
164	HANA_1.9.05	HANA 開発用の XS-CLI ツールの設定	対象外タスク		該当せず	n/a
165	HANA_1.9.06	HANA 開発向けのユーザー管理	対象外タスク		該当せず	n/a
166	HANA_1.9.07	XSA サービスおよびそのアプリケーションの監視	標準サービス	選択された場合、上位集合が監視に含まれる。	該当せず	n/a
167	HANA_1.9.08	論理データベースのセットアップ (テナントデータベースの登録)	標準サービス		該当せず	n/a
168	HANA_1.9.10	XSA 固有ファイルのバックアップおよび復元	標準サービス		該当せず	n/a
169	HANA_1.9.11	サービスプロバイダーがインストールし、顧客が構築したアプリケーション用の Web ディスパッチャーの設定	標準サービス		該当せず	n/a
170	HANA_1.9.13	顧客が構築したアプリケーションのサポート	対象外タスク		該当せず	n/a
171	HANA_1.9.14	顧客が構築したアプリケーションの可用性監視	対象外タスク		該当せず	n/a
172	HANA_1.9.15	ファイルシステムストレージを使用している場合の、カスタムアプリケーションのバックアップ	標準サービス		該当せず	n/a
173	HANA_1.9.16	ファイルシステムストレージを使用した顧客構築アプリケーションの復元、ただしその前にバックアップが有効化されていることが前提	標準サービス		該当せず	n/a
174	HANA_1.9.17	復元後のタスク確認およびカスタムアプリケーションの接続	対象外タスク		該当せず	n/a
175	HANA_1.9.19	XSA のアップグレード	標準サービス	アドオンが含まれる。	該当せず	n/a
176	HANA_1.9.20	XSA のアップグレードに対する顧客固有の事前/事後作業	対象外タスク		該当せず	n/a

177		SAP HANA : スマートデータ統合 (旧称 Enterprise Information Management - EIM)	標準のサービス範囲を超える拡張機能。			
178	TO_HANA_SDI_1.1.01	データプロビジョニングサーバーのイネーブルメント	標準サービス	データプロビジョニングサーバーはネイティブの SAP HANA プロセスである。データプロビジョニングサーバーは、SAP HANA のクラスターで実行されるインデックスサーバーのバリエーションとして構築され、その他の SAP HANA サービスと同様に管理および監視される。データプロビジョニングサーバーは SAP HANA サーバーと共にインストールされるが、SAP HANA サーバー内で有効化されなければならない。	該当せず	n/a
179	TO_HANA_SDI_1.1.02 A	データプロビジョニングエージェントのインストール、設定および登録	標準サービス	契約/SOW/注文書の一部として DP エージェントに提供される、および/または契約上の変更依頼で追加された DP エージェントに提供される。追加の DP エージェントについては、TO_HANA_SDI_1.1.02 を参照。注記：エージェント登録は、SAP BTP デプロイメントシナリオの対象としての HANA に対する顧客の責任である。		*
180	TO_HANA_SDI_1.1.02	データプロビジョニングエージェントのインストール、設定および登録 - 追加エージェント	オプションのサービス	高可用性 (HA) 設定用の追加の DP エージェント注記：エージェント登録は、SAP BTP デプロイメントシナリオの対象としての HANA に対する顧客の責任である。	該当せず	n/a
181	TO_HANA_SDI_1.1.04	Smart Data Quality (SDQ) のセットアップ	オプションのサービス	SDQ をデプロイし、SAP Service Market Place から Address and Data Cleansing パッケージをダウンロードして、SAP HANA サーバーから設定をダウンロードする。顧客が自分でアドレスディレクトリをアップロードできるように、SFTP アクセスがセットアップされる。	該当せず	n/a
182	TO_HANA_SDI_1.1.05	Agile Data Preparation (ADP) のセットアップ	標準サービス	ADP については、SDQ、ESS、および HRF がデプロイされ、関連するユーザーおよび権限のセットアップが行われる必要がある。	該当せず	n/a
183	TO_HANA_SDI_1.1.06	Agile Data Preparation (ADP) の管理	パッケージサービス	エクスポートオプション、ワークシートの有効期限、パスワード機能、ウェアハウスワークスペース、およびキューのサイズとポリシーを設定。		A1,C1
184	TO_HANA_SDI_1.1.07	レプリケーション、フェデレーション、および変換のセットアップ	パッケージサービス			A1,C1
185	TO_HANA_SDI_1.1.08	FlowGraph ジョブのバックアップ	対象外タスク	顧客は、このタスク用に SAP SDI Web アプリケーションインターフェースおよび/または SDI Fiori カタログ/タイトルを使用することができる。	該当せず	n/a
186	TO_HANA_SDI_1.1.09	レプリケーションタスクのバックアップ	対象外タスク	顧客は、このタスク用に SAP SDI Web アプリケーションインターフェースおよび/または SDI Fiori カタログ/タイトルを使用することができる。	該当せず	n/a
187	TO_HANA_SDI_1.1.10	DP エージェント - 高可用性のセットアップ	オプションのサービス	DP エージェントは、追加のエージェントインスタンスで構成されるエージェントグループを導入することによって、高可用性モードで設定できる (ターゲットクラウド HANA 接続では使用不可)。ただし、契約に明示的に記載されている場合に限られる。		*
188	TO_HANA_SDI_1.1.11	SAP HANA に対する標準アダプターのデプロイ	標準サービス	DP エージェントのインストールで提供される標準アダプターおよびカスタムアダプターのリストについては、SAP Help Portal にある SDI ガイドを参照。		*
189	TO_HANA_SDI_1.1.12	SAP HANA に対するカスタムアダプターのデプロイ	標準サービス	標準アダプターおよびカスタムアダプターのリストについては、SAP Help Portal にある SDI ガイドを参照。	該当せず	n/a
190	TO_HANA_SDI_1.1.13	データプロビジョニングのタスクとリモートサブスクリプションの監視	パッケージサービス			A1,C1
191	TO_HANA_SDI_1.1.14	リモートサブスクリプションの例外的処理	パッケージサービス			A1,C1
192	TO_HANA_SDI_1.1.15	DP エージェントの再接続	標準サービス	現在のターゲット HANA データベースからエージェントを接続解除し、新しいターゲット HANA データベースに登録する。アダプター関連の作業 (開始、停止) は、顧客の責任となる。		*
193		キャプチャと再生	標準のサービス範囲を超える拡張機能。			
194	TO_HANA_CR_1.1.01	ソースシステム内でのキャプチャの準備	オプションのサービス	デリバリーユニットのインポート、ユーザーと役割のセットアップ。	該当せず	n/a
195	TO_HANA_CR_1.1.02	キャプチャの開始	オプションのサービス	顧客は、ワークロードのキャプチャを格納するための十分な容量を確保する必要がある。容量を増やすには、変更依頼 (CR) が必要となる。	該当せず	n/a
196	TO_HANA_CR_1.1.03	ターゲットシステムでの再生のセットアップ	オプションのサービス	デリバリーユニットのインポート、ユーザーと役割のセットアップ。	該当せず	n/a
197	TO_HANA_CR_1.1.04	リプレーヤーサービスの設定	オプションのサービス	リプレーヤーサービスを設定する。	該当せず	n/a
198	TO_HANA_CR_1.1.05	ターゲットシステムでの前処理と再生	オプションのサービス		該当せず	n/a
199		SAP HANA : SAP ASE 用のアクセラレーター (AFA)	2027 年までに非推奨になる予定。			
200		運用上のセットアップ				
201	TO_AFA_1.1.01	SAP ASE パッケージ用のアクセラレーターのインストール	標準サービス	HANA - AFA パッケージは、SAP HANA DB ノード上にインストールされる。	該当せず	n/a
202	TO_AFA_1.1.02	ASE ホスト用のアクセラレーターの追加	標準サービス	ASE ホスト用のアクセラレーターの追加。マルチテナントのセットアップでは、AFA ノードは各テナント DB 専用追加される。	該当せず	n/a

203	TO_AFA_1.1.03	SAP レプリケーションサーバーのインストールと設定	標準サービス	SAP レプリケーションサーバーは、データが既存の SAP ASE OLTP ソースサーバーから SAP HANA のターゲットサーバーに複製される場合に必要となる。SAP ASE OLTP サーバーがインストールされている場所（オンプレミスまたはクラウドランドスケープ）により、レプリケーションサーバーは、管理対象サーバーとしてインストール可能。	該当せず	n/a
204	TO_AFA_1.1.04	権限付与 - セットアップ	標準サービス	監視および運用に向けた、ASE の役割、特権およびオブジェクトアクセス用のアクセラレーターの有効化固有のユーザーと役割のプロビジョニング	該当せず	n/a
205	TO_AFA_1.1.05	ブッシュダウン最適化の有効化	標準サービス	AFA のブッシュダウン最適化は AFA ノードで有効化される。	該当せず	n/a
206	TO_AFA_1.1.06	デリバリーユニットのインポート	標準サービス	HANA マルチテナンシナリオでの AFA デリバリーユニットのインポートこのタスクは、MDC のセットアップにおいてのみ必要。	該当せず	n/a
207	TO_AFA_1.1.07	マルチテナントのセットアップ	標準サービス	各テナント DB に対する AFA ノードの設定とセットアップ（サービスの初期化、コックピットアクセス、デリバリーユニット、検証を含む）。	該当せず	n/a
208	TO_AFA_1.1.08	マルチデータベースコンテナ (MDC) 用の HTTP アクセスの設定	標準サービス	HANA Cockpit Access および監視のための、マルチデータベースコンテナ用の HTTP アクセスの設定注：HTTP アクセスが既存の MDC のセットアップにすでに設定されている場合、このタスクは不要。	該当せず	n/a
209	TO_AFA_1.1.09	高可用性のセットアップと設定	オプションのサービス	シングルまたはマルチテナントの DB セットアップを伴う高可用性のセットアップおよび設定（ETS グループのセットアップを含む）。スタンバイノードが、契約上のランドスケープデザインに含まれる場合のみ。	該当せず	n/a
210	SAP ASE AFA - その他のサービス					
211	TO_AFA_1.2.02	Accelerated Reporting のためのデータレプリケーション	対象外タスク	HANA DB への ASE OLTP のデータレプリケーションのセットアップ複製対象の DB オブジェクトの特定とセットアップ。	該当せず	n/a
212	TO_AFA_1.2.03	ASE のブッシュダウンステートメントに対するアクセラレーターの監視	対象外タスク	HANA Cockpit を使用した、ブッシュダウンステートメントを含む ASE オブジェクトに対するアクセラレーターの監視。	該当せず	n/a
213	SAP HANA : Streaming Analytics オプション (旧称 Smart Data Streaming - SDS)			標準のサービス範囲を超える拡張機能。		
214	TO_HANA_SA_1.0.01	Streaming Analytics オプションパッケージのインストール	オプションのサービス	SAO パッケージは、SAP HANA DB ノード/MDC テナントにインストールされる。	該当せず	n/a
215	TO_HANA_SA_1.0.02	Streaming Analytics オプションのホストの追加	オプションのサービス		該当せず	n/a
216	TO_HANA_SA_1.0.04	Streaming Analytics オプションのホスト上でのデータソースの設定	パッケージサービス	SAO の各ホストから SAP HANA の接続のために odbci.ini を設定する。	アプリケーション運用	A1
217	TO_HANA_SA_1.0.05	Streaming 権限のセットアップ	オプションのサービス	監視および運用に向けた、Smart Data Streaming の役割、特権およびオブジェクトアクセスの有効化。	該当せず	n/a
218	TO_HANA_SA_1.0.06	顧客ランドスケープ内の既存の SAP HANA Cockpit 上での Streaming Analytics 関連の Fiori タイルのイネーブルメント	オプションのサービス	運用および監視のための、SAP HANA Cockpit 有効化のタスクを実行する。	該当せず	n/a
219	TO_HANA_SA_1.0.07	ストリーミングクラスターの設定 - 高可用性のセットアップ	オプションのサービス	複数のノードを追加することで、高可用性に設定する。必要な追加のインフラストラクチャー。	該当せず	n/a
220	TO_HANA_SA_1.0.08	災害回復のプロビジョニング (Streaming Analytics オプションのノード)	オプションのサービス	プロビジョニングツールを使用して、一次サイトのミラーリングのために二次サイトに同数のノードをプロビジョニングする。	該当せず	n/a
221	TO_HANA_SA_1.0.09	Streaming Lite のセットアップ	対象外タスク	Streaming Lite はオプションであり、標準の SAO のインストールの一部としては必要ない。Streaming Lite パッケージは、別個のコンポーネントとしてのみダウンロードできる。Streaming Lite は、リモートのゲートウェイデバイス上にストリーミングプロジェクトをデプロイするためのもの	該当せず	n/a
222	TO_HANA_SA_1.0.10	ストリーミングアナリティクスのオプションストリーミングプロジェクトを作成してデプロイする	パッケージサービス	SAP HANA Studio を使用して、SAP HANA およびその他の外部ソースへのデータストリーミングのためのプロジェクトを作成してデプロイする	アプリケーション運用	A1
223	TO_HANA_SA_1.0.11	ストリーミングアナリティクスのオプションのオブジェクトとプロジェクトの監視	パッケージサービス	SAP HANA/ESP Cockpit を使用した、SAO のオブジェクトとプロジェクトの監視	アプリケーション運用	A1
224	SAP HANA : Multiple Database Containers (MDC)			標準のサービス範囲を超える拡張機能。		
225	TO_HANA_MDC_1.1.01	HANA MDC (HANA サーバー、クライアント、AFL、ランタイムライブラリー、および Studio) のインストール	標準サービス	MDC は SAP HANA 2.0 ではデフォルト	該当せず	n/a
226	TO_HANA_MDC_1.1.06	テクニカルユーザーの作成	標準サービス	MDC は SAP HANA 2.0 ではデフォルト顧客は、CUST_USER_ROLE_ADMIN を用いたユーザー管理について責任を負う	該当せず	n/a
227	TO_HANA_MDC_1.1.07	既存のインフラストラクチャー上でのデータマートシナリオに対する追加テナントの作成	オプションのサービス	既存のインフラストラクチャー上での使用向け。バックアップの保持要件と、新たな継続的モニタリング設定には、変更依頼 (CR) が必要。	該当せず	n/a
228	TO_HANA_MDC_1.1.08	新規のインフラストラクチャー上でのデータマートシナリオに対する追加テナントの作成	オプションのサービス	追加のインフラストラクチャー消費には変更依頼 (CR) が必要。	該当せず	n/a
229	TO_HANA_MDC_1.1.04	テナントの DB コンテナに対する追加サービスのインストール	標準サービス	DP サーバー、インデックスサーバー、XS エンジンなどの追加サービス。デフォルトで、各サービスの 1 つがテナントの作成時に自動的に付帯する。特定のユースケース向けに必要な追加サービスのインストールは、この項目に含まれる。	該当せず	n/a
230	TO_HANA_MDC_1.1.05	テナントデータベースのスケールアウト	標準サービス	SAP BW システムのみ。		*
231	TO_HANA_MDC_1.2.17 AE	テナントのコピー/移動の準備、チェック、証明書、事前ステップ、レプリケーションによる移動/コピー、処理後のステップ。	標準サービス	移動では、タスクの完了後、ソースデータベースが削除される。コピーでは、タスクの完了後、ソースデータベースが保持される	該当せず	n/a
232	TO_HANA_MDC_1.2.01	ネットワーク：インスタンスあたりのテナントオーバーヘッドを調整するため、追加のポートを 1 つのインスタンス用に予約	標準サービス		該当せず	n/a
233	TO_HANA_MDC_1.2.03	監査：システム DB および各テナント DB に対する監査ポリシーの作成と有効化	標準サービス		該当せず	n/a
234	TO_HANA_MDC_1.2.08	データストレージ：DB 固有の暗号化キー (SSFS ソースキー) の変更	標準サービス	顧客による要求に応じて、一部/すべてのキーを変更する。インスタンス SSFS およびシステム PKI SSFS マスターキー、データボリューム暗号化ルートキー、REDO ログ暗号化ルートキー、ページ暗号化キーに使用される。	該当せず	n/a

235	TO_HANA_MDC_1.2.0 6	個々のテナントのバックアップ	追加サービス	標準に従って、バックアップはデータベース全体に対して実行される。ただし、(ファイルベースのダンプとして) テナント別のバックアップを個別の要請に応じて実行できる。	該当せず	n/a
236	TO_HANA_MDC_1.2.0 7	個々のテナントのバックアップの復元	追加サービス		該当せず	n/a
237	TO_HANA_MDC_1.2.1 0	権限付与：システム特権およびテナント DB 特権の管理	標準サービス		該当せず	n/a
238		Active-Active Read Enabled のセットアップ	標準のサービス範囲を超える拡張機能。ケースバイケースでライセンスが利用可能な期間に、SAP によって評価およびレビューされる。			
239	TO_HANA_AAR_1.1.0.1	プライマリおよびセカンダリの SAP HANA システムのインストール	オプションのサービス	デリバリーユニットのインポート、ユーザーと役割のセットアップ。	該当せず	n/a
240	TO_HANA_AAR_1.1.0.3	両 SAP HANA インスタンス間でのログレプリーの確立	オプションのサービス	デリバリーユニットのインポート、ユーザーと役割のセットアップ。	該当せず	n/a
241	TO_HANA_AAR_1.1.0.4	セカンダリシステムに対する監視の確立	オプションのサービス		該当せず	n/a
242		SAP HANA ネイティブストレージ拡張 (NSE)	NSE は、HANA 2.0 SP04 以降を実行しているシステムではデフォルトで有効化されている。顧客は、永続ストレージ用の追加のディスク領域を評価し、要求する責任を負う。ウォームデータ用の追加ストレージは、契約の一部として含めるか、変更依頼 (CR) の一部として追加する必要がある。			
243	TO_NSE_1.1.0.1	バッファークャッシュサイズの変更	標準サービス	適切なバッファークャッシュサイズの計算は含まれない。顧客は、バッファークャッシュサイズを提供する必要がある。追加ストレージが必要な場合は、変更依頼 (CR) が必要。	該当せず	n/a
244		Pacemaker の高可用性セットアップ	サービスレベル契約 (SLA) に必要となるオプションのサービス/変更依頼 (CR)。			
245	TO_HANA_PM_1.1.0.1	SUSE Cluster (Pacemaker) パッケージのインストール	オプションのサービス	HANA 2.0 または SAP NetWeaver アプリケーションサーバーが対象。	該当せず	n/a
246	TO_HANA_PM_1.1.0.1 A	非 Pacemaker のシステムの、Pacemaker ベースのシステムへの変換	オプションのサービス	既存のシステムを Pacemaker に転換。すべてのアクティビティを集約して、既存のシステムをターゲットの Pacemaker HA アーキテクチャーに再構築し、サービスプロバイダーの標準に従って Pacemaker を最上位にインストール/設定する。転換は、顧客が用意したダウンタイム時間帯に実行される。前提条件として、顧客は、ターゲットの Pacemaker/HA システムのデプロイメントに必要なすべてのインフラストラクチャーと、関連する Pacemaker パッケージ (必要に応じて、SBD、Cluster および Majority Maker) を注文する必要がある。変更依頼が必要。		*
247		SAP HANA システムレプリケーション：セカンダリタイムトラベル (TT)	SAP HANA Platform Edition 2.0 SPS 03 以降で利用可能。			
248	TO_HANA_TT_1.1.0.1	セカンダリタイムトラベル (TT) の有効化	標準サービス	セカンダリタイムトラベルは、ECS でサポートされているデプロイメントシナリオに従って、セカンダリ HANA システムでのみ有効化することができる。		*
249	TO_HANA_TT_1.1.0.2	セカンダリタイムトラベル (TT) の無効化	標準サービス	セカンダリタイムトラベル (TT) を無効化することは推奨されない。これは、この機能が再有効化され、必要なスナップショットと REDO ログが保持されるまで、この機能の目的が無効化されるためである。		*
250	TO_HANA_TT_1.1.0.3	検証のためのタイムトラベル (TT) の有効化	標準サービス	時点 (PIT) は、設定された最大保存期間内である必要がある。ECS は必要に応じてこの情報を顧客に提供することができる。その後、顧客はタイムトラベルシステムを元に戻すことができる必要な時点を選択する必要がある。注：1. プライマリシステムと TT システム間のレプリケーションが中断される。2. 設定された保存期間を過ぎると、必要な時点が利用できなくなる可能性がある。そのため、顧客は ECS に速やかに連絡する必要がある。3. TT を再有効化するには、顧客は新しい「サービス依頼」を提出しなければならない。		*
251	TO_HANA_TT_1.1.0.4	セカンダリタイムトラベル (TT) サーバーをプライマリとして切り替え	追加サービス	このサービスは、絶対に必要な場合にのみ使用すること。これは、TT サーバーが SDDR とともに追加サーバーとして動作する場合に適用される。このタスクには、初期設定/セットアップへの切り替えも含まれる。		*
252		C2 - データベース管理	SAP HANA および Sybase IQ は除外 (それぞれのセクションに記載)。			
253		データベース運用				
254	DB_1.1.1.7	データベースリリース管理に関する推奨事項の提供	標準サービス	サービスプロバイダーが、運用経験や SAP Product Development から提供された情報に基づいて、推奨されるデータベースリリースに関するガイダンスを提供する。		*
255	DB_1.1.1.9	テクニカル運用での問題を検出するための、データベースリソースの消費状況の監視 (メモリー、CPU、ストレージ)	標準サービス	タスクの出力情報はキャパシティ管理に反映される。最適化に関する推奨事項も SAP Enterprise Support サービスを介して得られる場合がある。		*

256	DB_1.1.02	データベース容量を拡大するためのデータベース拡張の実行	標準サービス	消費の増加分は契約上の合意に従って請求され、このタスクの前提条件となる場合がある。		*
257	DB_1.1.20	データベースに技術的な問題がないかを監視、データベースの技術的な障害を分析して解決	標準サービス			*
258	DB_1.1.24	問題を解決し、データベースを正常な動作状態に戻すためのシステムのトラブルシューティング（ブロックされたトランザクションなど）	標準サービス			*
259	DB_1.1.05	統計パフォーマンスデータの生成のための定期的な統計データベースコレクターのスケジュール設定	標準サービス			*
260	DB_1.1.06	データベースの断片化を排除するための再編成の実施	標準サービス			*
261	DB_1.1.07	データベースパラメーターの更新 - 静的および動的	標準サービス	ベンダーの推奨事項と標準に基づく。		*
262	DB_1.1.21	データベースの起動/停止	標準サービス			*
263	DB_1.1.11	データベースソフトウェアのアップグレードを実行する	標準サービス	プロセスフロー - 追加情報あり。「バンドルサービス」の一部として注文することができる。		*

264	DB_1.1.12	データベースパッチの適用	標準サービス	プロセスフロー - 追加情報あり。「バンドルサービス」の一部として注文することができる。		*
265	DB_1.1.13	データベースバックアップを実行する（定期的なデータベースおよびログのバックアップ）	標準サービス	バックアップポリシーに従う。		*
266	DB_1.1.14	技術的な問題が発生した後のデータベースの復元と回復	標準サービス			*
267	DB_1.1.22	データベース整合性チェック (DBCC) の実行	標準サービス			*
268	DB_1.1.25	アプリケーションテーブル用のインデックスの作成	標準サービス			*
269	DB_1.1.26	データベースの縮小	追加サービス	Sybase ASE についてののみ有効。	該当せず	n/a
270	HANA_1.1.11B	高可用性のためのスタンバイアプリケーションインスタンスの管理	標準サービス	本稼動システムについてのみ実施する。専用のスタンバイデータベースがソリューションの一部として契約に明示的に含まれている場合のみ。マルチノードセットアップについてはスコープ外。フェイルオーバーテストは、システムごとの定期的な実施は行われない。		*
271	SAP ASE データベース					
272	DB_1.1.18	クラウド内にインストール済みの SAP ASE データベース上での SAP ASE データベースの暗号化の実装	標準サービス	ダウンタイムは不要。	該当せず	n/a
273	HANA_1.1.11A	高可用性のためのスタンバイデータベースの管理 (ASE システムレプリケーション)	標準サービス	本稼動システムについてのみ実施する。専用のスタンバイデータベースがソリューションの一部として契約に明示的に含まれている場合のみ。マルチノードセットアップについてはスコープ外。フェイルオーバーテストは、システムごとの定期的な実施は行われない。		*
274	IBM DB2					
275	DB_DB2_1.1.01	Db2 クライアントのインストールおよび/または更新	標準サービス		該当せず	n/a
276	DB_DB2_1.1.02	運用時にインストール済みの Db2 データベース上での Db2 データベースの暗号化の実装	標準サービス	稼働中のシステム上で暗号化を有効にする。データベースの再インストールには、ダウンタイムが必要。利用する記憶領域を追加する場合は、変更要請 (CR) の対象となる	該当せず	n/a
277	DB_DB2_1.1.03	ビルド時にインストール済みの Db2 データベース上での Db2 データベースの暗号化の実装	標準サービス	暗号化は、システム構築時にリクエストがあった場合のみ有効化される。	該当せず	n/a
278	DB_DB2_1.1.04	高可用性のためのスタンバイデータベースの管理 (Db2 システムレプリケーション)	標準サービス	本稼動システムについてのみ実施する。専用のスタンバイデータベースがソリューションの一部として契約に明示的に含まれている場合のみ。マルチノードセットアップについてはスコープ外。フェイルオーバーテストは、システムごとの定期的な実施は行われない。	該当せず	n/a

279	DB_DB2_1.1.05	災害回復 (DR) のためのスタンバイデータベースの管理 (Db2 システムレプリケーション)	標準サービス	災害回復はオプションサービスであり、災害回復が契約/SOW/注文書に含まれている場合、および/または変更依頼で追加された場合に、管理対象サービス内でのみ提供される。	該当せず	n/a
280	DB_DB2_1.1.06	DBA コックピットでの Db2 システムの統合	標準サービス		該当せず	n/a
281	DB_DB2_1.1.07	増大するテーブルをチェックし、アーカイブまたは再編成に関する推奨事項を提供する	対象外タスク		該当せず	n/a
282	DB_DB2_1.1.08	テーブルの再編成 (技術的実行)	標準サービス	スケジュールされたジョブによって自動テーブル再編成が実行される。追加依頼は、DB_D B2_1.09 を通じて行うことができる。	該当せず	n/a
283	DB_DB2_1.1.09	テーブルの再編成 (技術的実行) - 追加依頼	追加サービス	DB_DB2_1.08 の追加依頼に使用される。ジョブによる自動再編成がスケジュールされている場合を除き、追加のテーブル再編成は手動で行う。	該当せず	n/a
284	DB_DB2_1.1.10	バックアップリストア手順の定期的なテスト	標準サービス	このタスクは顧客による発注はできない。このタスクは、手順および運用の準備態勢を確認するために使用。テストは、個別の各システムについてではなく、代表的なシナリオについて実施される。	該当せず	n/a
285	DB_DB2_1.1.11	テーブル領域の作成	標準サービス	システム構築時に最初に登録されたテーブル領域のレイアウト。	該当せず	n/a
286	DB_DB2_1.1.12	追加のテーブル領域の作成/テーブルの移動 (技術的実行)	追加サービス	テーブル領域のレイアウトおよび新しいテーブル領域構成の変更を依頼するために使用される。変更は顧客が決定し、提供する必要がある。顧客が移動するテーブルを決定し、提供する。	該当せず	n/a
287	DB_DB2_1.1.13	データストレージ: DB 固有の暗号化キー	標準サービス	キーストアのバックアップと保守	該当せず	n/a
288	DB_DB2_1.1.14	変更: DB 固有の暗号化キー	標準サービス	顧客による要求に応じて、キーを変更する。	該当せず	n/a
289	DB_DB2_1.1.15	定期的な運用に必要な DB テクニカルユーザーおよび管理ユーザーのユーザー、役割、および権限の管理	標準サービス		該当せず	n/a
290	D・コアテクニカルオペレーション					
291	システムのインストール					
292	BASIC_1.8.01	SAP の標準およびベストプラクティスに基づく、クラウド契約に明記されたクラウドソリューションランドスケープのインストール	標準サービス	完全に新規の顧客システムが、クラウド内にすでに存在する顧客システムの同機種間のコピー (データベースプラットフォームの変更なし) としてセットアップされる場合、それぞれ作業量と費用は、一般的なセットアップに含まれる。「システムコピー」に対する追加費用は生じない。クラウド内に存在しないソースシステムはこの注記の対象とはならず、別途契約されるクラウドのオンボーディングおよび移行サービスに対応する。		*
293	BASIC_1.8.25	システム引渡し後の SAP システムの再インストール	追加サービス	顧客がシステムの再構築を要請できるのは、既存のインフラストラクチャーにおいてのみ。このサービスの対象は作業のみで、必要となるインフラストラクチャーの変更は含まない。新規のまたは変更されたインフラストラクチャーが必要な場合は、このサービスの適用外となる。新規のまたは変更されたインフラストラクチャーには変更依頼が必要となるため。この ID の利用例としては、IP アドレスまたは既存のシステム SID の変更、グリーンフィールドからブラウンフィールドへの実装タイプの変更、またはその逆の変更などがある。		*
294	BASIC_1.8.25_A	システムの再構築 - SAP NetWeaver およびその他のデータベースベースのソリューション (SAP S/4HANA、SAP BW、SAP CRM、SAP BusinessObjects (BOBJ) など) グリーンフィールド/スケルトンなど	追加サービス	顧客がシステムの再構築を要請できるのは、既存のインフラストラクチャーにおいてのみ。このサービスの対象は作業のみで、必要となるインフラストラクチャーの変更は含まない。新規のまたは変更されたインフラストラクチャーが必要な場合は、このサービスの適用外となる。新規のまたは変更されたインフラストラクチャーには変更依頼が必要となるため。		*
295	BASIC_1.8.25_B	システムの再構築 - 小規模な分割 (DNS、Web ディスパッチャー、クラウドコネクタなどの非 DB ソリューション)	追加サービス	顧客がシステムの再構築を要請できるのは、既存のインフラストラクチャーにおいてのみ。このサービスの対象は作業のみで、必要となるインフラストラクチャーの変更は含まない。新規のまたは変更されたインフラストラクチャーが必要な場合は、このサービスの適用外となる。新規のまたは変更されたインフラストラクチャーには変更依頼が必要となるため。		*
296	BASIC_1.8.25_C	システムの再構築 - SAP Solution Manager (SOLMAN) Solman の分割 - グリーンフィールドおよび/またはブラウンフィールド	追加サービス	顧客がシステムの再構築を要請できるのは、既存のインフラストラクチャーにおいてのみ。このサービスの対象は作業のみで、必要となるインフラストラクチャーの変更は含まない。新規のまたは変更されたインフラストラクチャーが必要な場合は、このサービスの適用外となる。新規のまたは変更されたインフラストラクチャーには変更依頼が必要となるため。		*
297	BASIC_1.8.25_D	システムの再構築 - SAP Fiori ラウンチパッド、TMS、および/または Adobe 設定の追加/やり直しの分割	追加サービス	顧客がシステムの再構築を要請できるのは、既存のインフラストラクチャーにおいてのみ。このサービスの対象は作業のみで、必要となるインフラストラクチャーの変更は含まない。新規のまたは変更されたインフラストラクチャーが必要な場合は、このサービスの適用外となる。新規のまたは変更されたインフラストラクチャーには変更依頼が必要となるため。		*
298	BASIC_1.8.25_E	システムの再構築 - ベストプラクティスイネーブルメントまたは EML/MC デプロイメントの追加/やり直しの分割	追加サービス	顧客がシステムの再構築を要請できるのは、既存のインフラストラクチャーにおいてのみ。このサービスの対象は作業のみで、必要となるインフラストラクチャーの変更は含まない。新規のまたは変更されたインフラストラクチャーが必要な場合は、このサービスの適用外となる。新規のまたは変更されたインフラストラクチャーには変更依頼が必要となるため。		*
299	BASIC_1.8.25_F	初期構築後の SAP テンプレートソリューションのデプロイ	追加サービス	顧客がシステムの再構築を要請できるのは、既存のインフラストラクチャーにおいてのみ。このサービスの対象は作業のみで、必要となるインフラストラクチャーの変更は含まない。新規のまたは変更されたインフラストラクチャーが必要な場合は、このサービスの適用外となる。新規のまたは変更されたインフラストラクチャーには変更依頼が必要となるため。		*
300	BASIC_1.8.02	インストールされたシステムの技術的設定 (インストールの後処理) (標準バッチジョブやバックアップなどのスケジュール設定など)	標準サービス	スコープは、この「役割と責任分担」文書で決定される。		*
301	BASIC_1.8.27	ABAP または Java システム、または HANA スタンドアロンデータベース用のライセンスの変更	標準サービス	任意のデータベースまたは HANA スタンドアロンデータベースを持つ ABAP または Java システムのインストール番号および対応するライセンスをアップデートする。		*
302	BASIC_1.8.15	SAP BW/4HANA システムの基本的な技術的設定	標準サービス	ABAP のグリーンフィールドセットアップの場合のみ。		*

303	BASIC_1.8.23	SAP 提供のテンプレートソリューションから事前設定済みシステムをクラウドスケルトンシステム内にインストール	標準サービス	このサービスでは、購入された SAP 提供のテンプレートの、クラウドスケルトンシステムへのリストアを実行する。このテンプレートのビルドは、このサービスには含まれない。サービスは、初期プロビジョニングフェーズ中に依頼する必要がある。システムの初回デブリバリ後に発生するテンプレートソリューションの依頼には、追加のサービス費用が必要になる。SAP 提供の異なるテンプレートの互換性の検証は、このサービスには含まれない。基盤となるターゲットインフラストラクチャーは、事前設定されたシステムに適したサイズで適合している必要がある。SAP Cloud Appliance Library (CAL) からのイメージの場合、イメージはサンドボックスシステムのセットアップにのみ使用することができる。		
304	BASIC_1.5.01	アプリケーションのカスタマイズと設定、アプリケーションの保守、アプリケーションサポート、およびアプリケーションのトラブルシューティング	パッケージサービス	サービスプロバイダーが、技術プラットフォーム (SAP NetWeaver など) レベルで技術的に設定され、運用の準備が整ったシステムを提供する。ソリューション (SAP BW, SAP CRM, SAP EP など) または顧客に固有の設定作業は含まれておらず、それらは顧客が実施する必要がある。	アプリケーション管理、Business Data Cloud 向け CAS	F1,C2
305	BASIC_1.8.03	インストール済みシステムの、クラウド運用環境への統合	標準サービス	全く新規のシステムごとに 1 回実施。初期セットアップが移行である場合は、本稼働 (PRD) システムの 1 回の追加テスト実行が含まれる。初期セットアップが S/4HANA への交換である場合は、2 回の追加テスト実行が含まれる (非本稼働 (QAS, DEV など) システムについては 1 回、本稼働 (PRD) システムについては 1 回)。テスト実行が非本稼働システムで使用されていない場合は、非稼働タイムラインで本稼働システムに使用することができる。追加のテスト実行は、請求対象サービスとして提供される。		
306	BASIC_1.8.03A	インストール済みシステムの、クラウド運用環境への統合 - 追加テストの実行依頼	追加サービス	BASIC_1.8.03 に記載されている、追加テストの実行依頼の場合。カットオーバーモードでのブラウフィールド後処理ドライラン (PROD) の場合 (24 時間 365 日)。カットオーバーモードでの追加の PRD モックテスト、および/またはカットオーバーモード実行に対する非 PRD (DEV/QAS) システムの SAP ECS 後処理のアップグレード。		
307	BASIC_1.8.04	システム監視の有効化	標準サービス	システムコンポーネントのテクニカル監視のみをセットアップ。追加サービスで対応可能な、ソリューション、顧客設定、インターフェース、接続およびジョブの監視は含まれない。		
308	BASIC_1.8.22A	BLOB (バイナリラージオブジェクト) ストレージから管理対象サーバーへのデータのダウンロード	標準サービス	オンプレミスから管理対象環境内のターゲットサーバーへのデータのコピーに使用。オンボーディング時の、クラウドストレージ (BLOB, S3, GCP など) から管理対象サーバーへのデータ転送。		
309	BASIC_1.8.20	オンボーディング時における顧客への特別なサポートの提供 - 一般	追加サービス	顧客が技術的支援を必要とするオンボーディングプロジェクトの範囲と手法によって異なる (OS へのアクセスが必要な場合など)。この種のオンボーディングサポートは、この項目に基づいて提供可能。		
310	BASIC_1.8.20A	オンボーディング時に特別なサポートを顧客に提供する - ブラウフィールド移行後のダウンタイム最適化サービス	追加サービス	サービスプロバイダーによる評価および承認を条件とし、ケースバイケースで提供される。2 月分のリードタイムが必要。移行後に実行される後処理のタイムラインおよび作業を最適化する。マニュアル作業で並列処理を使用することで、ビジネスダウンタイムを短縮する。以下を含む: 1) 最適化可能な領域を特定するための移行後作業の分析による、一般的な移行に必要なビジネスダウンタイムの短縮、2) 該当する場合は、マニュアルでの移行後作業を行うための追加リソースのプロイメント、3) 後処理実行時に必要なアクション項目の数を削減できる事前に手配された作業。		
311	BASIC_1.8.20B	Enterprise Cloud Services のオンボーディング中に顧客に特別なサポートを提供する - 移行支援サービス	追加サービス	本稼働および非本稼働に対する移行支援サービスサポート - 追加の依頼/実行。このサービスは、顧客が ECS にシステムを移行するために移行パートナー (GSPP/VAR/非 SAP サービス) と連携している契約にのみ適用される。		
312	BASIC_1.8.20_HC	ハイパーケア - プロジェクト保護サービス	追加サービス	ハイパーケア拡張サービスパッケージは、ソリューションライフサイクルの重要なフェーズの保護を助け、本稼働開始、ビジネスカットオーバー、移行などの重要なプロジェクト期間中に顧客をサポートするための、定義済みかつ集中的なサービスとチェックの一式を提供。詳細については、別途サービス内容説明文書を参照のこと。少なくとも 10 営業日のリードタイムが必要。		
313	BASIC_1.8.20_NPA	非本稼働システムの週末サポートに対するアクティブエンタイトルメント - 初期システムセットアップ	追加サービス	サービスの利用可能性および依頼は、サービスプロバイダーとともに検証される。元の契約/初期契約のシステムセットアップに使用される。顧客は、初回契約時にこれを依頼することができる。		
314	BASIC_1.8.20_NPB	非本稼働システムの週末サポートに対するアクティブエンタイトルメント - 契約期間のサブスクリプションおよび新規システムの追加	オプションのサービス	サービスの利用可能性および依頼は、サービスプロバイダーとともに検証される。このサービスのサブスクリプションは、契約の全期間を対象とする。契約の残りの期間に、元のサブスクリプション/依頼に含まれていないシステムを追加するためにも使用される。		
315	BASIC_1.8.20_SRA	サービス依頼のアクセラレーション	追加サービス	サービスの提供中およびサービスの提供後に一連のチェックおよび監視ルーチンを実行することで、サービスソリューションライフサイクルの重要なフェーズを保護するためのサービス。このサービスは、サービス依頼のリードタイムを大幅に短縮するという顧客の要求に対応する。		
316	BASIC_1.8.20_SRA_1	サービス依頼のアクセラレーションオプション 1 : 5 営業日 - 週末のサービス依頼は含まれない	追加サービス	サービスの提供中およびサービスの提供後に一連のチェックおよび監視ルーチンを実行することで、サービスソリューションライフサイクルの重要なフェーズを保護するためのサービス。このサービスは、サービス依頼のリードタイムを大幅に短縮するという顧客の要求に対応する。		
317	BASIC_1.8.20_SRA_2	サービス依頼のアクセラレーションオプション 2 : 5 営業日と週末 - 24 時間 365 日	追加サービス	サービスの提供中およびサービスの提供後に一連のチェックおよび監視ルーチンを実行することで、サービスソリューションライフサイクルの重要なフェーズを保護するためのサービス。このサービスは、サービス依頼のリードタイムを大幅に短縮するという顧客の要求に対応する。		
318	BASIC_1.8.05	顧客によって管理される技術システムへのアプリケーション関連接続の設定	パッケージサービス	サテライトシステムへの接続を確立する。	アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS	A1,C1

319	BASIC_1.8.14	SAP Best Practices および同様のパッケージの実装	標準サービス	顧客が初期プロビジョニング中に Best Practices (BP) の有効化要件を SAP に通知する。それ以外の場合、既存のビジネスクライアントは、Best Practices の有効化から発行された新たなクライアントコピーによって上書きされる。顧客は、記入済みのベストプラクティス質問票を提出し選定した国のベストプラクティス業務を定義・選定する責任を負う。このサービスでは、BP の有効化は単一の国のみに制限される。BP の有効化を依頼できるのは、システムランドスケープごとに 1 回に限られる。Best Practices のコンテンツの有効化後に、Best Practices のシナリオごとに異なる要件を満たすために必要になることがあるすべてのカスタマイズ作業は、このサービスには含まれない。「Best Practices for SAP S/4HANA」の実装には、クライアント 000 での必要なビジネス機能の有効化、希望のクライアントセットアップ選択肢によるクライアントのプロビジョニング、およびシステム内での Best Practices スコープアイテムの有効化が含まれる（顧客から提供された Best Practices 質問表文書で求められた場合）。Best Practices のスコープアイテムのインポートおよび有効化（システム構築時に要求された場合）は、顧客へのシステム引渡し後に行われる。Fiori の技術的有効化は、（再）作成されたクライアント内で実行される。対応する SAP Fiori アプリの有効化は、このサービスの対象外。		
320	BASIC_1.8.14A	追加の国向けの SAP Best Practices および類似パッケージの実装	パッケージサービス	顧客が初期プロビジョニング中に Best Practices (BP) の有効化要件を SAP に通知する。それ以外の場合、既存のビジネスクライアントは、Best Practices の有効化から発行された新たなクライアントコピーによって上書きされる。顧客は、記入済みのベストプラクティス質問票を提出し選定した国のベストプラクティス業務を定義・選定する責任を負う。このサービスでは、BP の有効化は依頼 1 件あたり単一の国のみに制限される。BP の有効化を依頼できるのは、システムランドスケープごとに 1 回に限られる。Best Practices のコンテンツの有効化後に、Best Practices のシナリオごとに異なる要件を満たすために必要になることがあるすべてのカスタマイズ作業は、このサービスには含まれない。「Best Practices for SAP S/4HANA」の実装には、クライアント 000 での必要なビジネス機能の有効化、希望のクライアントセットアップ選択肢によるクライアントのプロビジョニング、およびシステム内での Best Practices スコープアイテムの有効化が含まれる（顧客から提供された Best Practices 質問表文書で求められた場合）。Best Practices のスコープアイテムのインポートおよび有効化（システム構築時に要求された場合）は、顧客へのシステム引渡し後に行われる。Fiori の技術的有効化は、（再）作成されたクライアント内で実行される。対応する SAP Fiori アプリの有効化は、このサービスの対象外。	アプリケーション選 用、Cloud ERP private 向け CAS	A1,C1
321	BASIC_1.8.14B	SAP Business Suite (旧 SAP 標準コンテンツ - SSC) のモデルカンパニーの有効化	オプションのサービス	旧称：SAP 標準コンテンツ (SSC)。顧客は、SAP ノート 3631601 の手順に従って、SAP Business Suite のモデルカンパニーバンドルで提供される 1 つ以上のモデルカンパニーバンドルの有効化に必要なスコープをサービスプロバイダーに通知する。DB コピーが提供される - 顧客は DB コピーをインストールする責任を負う。SAP は、新しい/クリーンなサンドボックスに DB コピーをインストールすることを推奨する。条件および利用可能なバンドルについては、SAP ノート 3631601 を参照。		*
322	BASIC_1.8.19	SAP オンラインヘルプの設定（ローカルでのインストール）	標準サービス	システムごとに 1 回。インフラストラクチャー消費の増加や追加の管理作業に対応する契約上の変更依頼 (CR) の対象となる。		*
323	BASIC_1.8.21	外部データベースへの接続のための、ODBC ドライバーのインストール	標準サービス	SLT/HANA SDS/BOBJ が対象。顧客は、クラウド内でのインストールに対する適切な使用権を含め、必要となるソフトウェアを提供する必要がある。顧客は、必要となる接続 (SSL/TLS など) に関する仕様を提供する必要がある。		*
324	BASIC_1.8.12	追加のコンポーネント（ノード、アプリケーションサーバーなど）を追加するか、既存のシステムをより大きなインフラストラクチャー（より大きなデータベースサーバーなど）に移すことにより、システム容量を増やす - インフラストラクチャーの変更が必要	オプションのサービス	インフラストラクチャー消費の増大を反映するため、契約上の変更依頼 (CR) が必要で、追加のサービス料金が適用される。これがソフトウェアまたは設定のみのタイプ変更である場合は、タスク BASIC_1.8.12A を使用する必要がある。		*
325	BASIC_1.8.10	サービスプロバイダーから顧客へのデータ引き渡し - 1 回限り	標準サービス	オフボーディング/終了プロセスの一環として、契約期間ごとに 1 回実施。契約またはシステム終了の一環としての、1 回限りのデータ引き渡し作業 (SAP 標準ツールを使用したエクスポートファイル/バックアップの作成とストレージへの転送) が、サービスに含まれる。計画、調整、ストレージへの転送、およびすべての関連コストは、顧客の責任である。アクティブな契約フェーズ中にそれ以外のデータ引き渡しが発生する場合は、BASIC_1.8.13 を使用した追加のサービスとなる。		*
326	BASIC_1.8.13	サービスプロバイダーから顧客へのデータ引き渡し - 有効な契約中の依頼の場合	追加サービス	有効な契約中の、追加のデータ引き渡しの依頼（エクスポート/バックアップの作成、または顧客のストレージへの既存のバックアップのコピー）。計画、調整、ストレージへの転送、およびすべての関連コストは、顧客の責任である。注：BASIC_1.8.10 に従い、オフボーディング/契約終了の場合、1 回の引き渡しは標準サービスとして含まれる。		*
327		インシデント管理				
328	BASIC_1.16.01	1 日 24 時間年中無休でインシデントを受け取るコールセンターの運用	標準サービス	24 時間 365 日体制のサポートは英語のみで提供する。各国言語によるサポートは顧客との明確な合意に基づいて営業時間中のみ提供。詳細は、SAP Trust Center から入手可能な「クラウドサービスのサポートスケジュール」に記載されている。		*
329	BASIC_1.16.02	インシデント処理・インシデントの適格性評価および優先順位付け ・インシデント解決に着手・インシデント解決の進捗の追跡 ・エスカレーションプロセスに定められたインシデントのエスカレーション ・インシデント解決または回避策を決定・解決策または回避策を実施 ・インシデント解決を検証・インシデント解決について顧客に通知	標準サービス			*
330	BASIC_1.16.03	解決策のサインオフ/承認およびインシデント解決の確認	対象外タスク			*
331		イベントの検出および通知（「監視」）				

332	BASIC_1.8.17	SAP システムの可用性および重大なシステム状態の監視とイベント検出	標準サービス	監視要件は、役割と責任分担および SLA に基づいて規定される。有効化された監視のメトリクスおよび使用されるしきい値は、絶え間ない変更と調整が行われる場合がある。		*
333	BASIC_1.7.07	重要なビジネストランザクションの監視	パッケージサービス	手動監視：その都度行う作業。	顧客アプリケーション監視	M2
334		一般運用				
335	BASIC_1.8.08	管理対象システムの起動/停止	標準サービス	夏時間/標準時間の調整、再起動オプションによる管理対象システムの再起動、追加アプリケーションサーバーの再起動、SAP Solution Manager 診断エージェントの再起動など、さまざまなシナリオに使用される。		*
336	BASIC_1.1.15	管理対象システムにおける技術的問題のトラブルシューティング	標準サービス	技術的な課題のみが対象。アプリケーション関連の問題は顧客が解決する必要がある。		*
337	BASIC_1.1.14	顧客の責任領域内のタスクでの顧客の支援（OS アクセスが必要な場合）	標準サービス	タスクの実行に、OS レベル内で行う作業が必要であり、それに関して本書に従い顧客が責任を有する場合。顧客には、クラウド内の管理対象サーバーへの OS アクセスは付与されない。サービスプロバイダーは、タスクを肩代わりするか、タスクを実行するためのその他の方法を提供することなどにより、顧客をサポートする。この項目は頻度の少ない臨時の支援にのみ適用される。導入、開発およびサポートのために定期的な、長期の、またはより全般的な OS アクセスが必要なプロジェクトは、この項目では対応できない。		*
338	BASIC_1.1.16	アプリケーションパラメータの更新 - 静的および動的	標準サービス	プロセスフロー - 追加情報あり。システムのパフォーマンスと可用性に影響を及ぼす可能性があるため、サービスプロバイダーがこのタスクの実行に責任を負う。プロバイダーは、技術的なシステムパラメータに関する推奨事項を提供する。プロバイダーはまた、システムの安定性やセキュリティの維持に必要な一定の標準的な設定を除き、顧客の要請によりパラメータの調整も行う。		*
339		SAP セキュリティ管理				
340	BASIC_1.2.22	アプリケーションに対するセキュリティコンセプトの定義と実装	対象外タスク	顧客は、アプリケーションに対するセキュリティ概念を定義して実装するために、他の SAP サービスを利用することができる。		*
341	BASIC_1.2.23	アプリケーションおよびインフラストラクチャーのセキュリティ概念の定義と実装	標準サービス			*
342	BASIC_1.2.19	顧客固有のセキュリティ監査ログの分析	パッケージサービス		監査準備状況	S4
343	BASIC_1.2.20	SAP システムを分析し、関連する SAP セキュリティノートを特定	標準サービス	インストール済みシステムのセキュリティノートを評価および分析して、ABAP スタックに関連する重要なノートを特定することができる。このタスクは、顧客が該当するクラウドアプリケーション (CAS) パッケージを保有している場合に、自動的に提供される。関連する CAS パッケージを待たない顧客は、SAP for Me (旧称 ONE Support Launchpad) でセキュリティノートを評価および分析する必要がある。また、顧客は関連する SAP Knowledge Base Article (KBA) を分析し、KBA を適用する必要があるかどうかを判断する責任も負う。必要に応じて、BASIC_1.2.27 を使用してサービス依頼を作成し、アプリケーションに関連しないセキュリティノートの適用を依頼することができる。		*
344	BASIC_1.2.27	SAP セキュリティノートの適用 - SAP Basis/ABAP 関連	標準サービス	SAP Basis に対する SAP セキュリティノートを手動作業なしで適用する。このタスクは、顧客が該当する CAS パッケージを保有している場合に、自動的に提供される。関連する CAS パッケージを待たない顧客は、SAP for Me (旧称 ONE Support Launchpad) でセキュリティノートを確認し、サービス依頼を作成して、ノートを実装することができる。		*
345	BASIC_1.2.28	関連する SAP セキュリティノートの適用 - アプリケーション関連 (ABAP および JAVA スタックのみ)	パッケージサービス	関連する SAP セキュリティノート (マニュアル作業ありなし) は、DEV システムで分析および適用される。OAS および PROD システムへの適用済ノートの移送を実行する (ABAP スタックの場合のみ)。Java 用の関連するセキュリティノートを分析し、顧客に代わってサービス依頼を作成して、必要な Java コンポーネントの実装を開始する。適用されたノートのテストは顧客の責任となる。	アプリケーションセキュリティのアップデート、Cloud ERP private 向け CAS	S1,C1
346	BASIC_1.2.18	ユーザーの管理 (作成、変更、削除、ロック、ロック解除)	パッケージサービス		ユーザー管理、Cloud ERP private 向け CAS	S2,C1
347	BASIC_1.2.18A	役割の管理 (役割の作成や役割の変更など)	パッケージサービス		役割と権限	S10
348	BASIC_1.2.15	クライアント 000 におけるユーザーのプロファイル、役割、権限、ソースデータおよびパスワードの更新管理	標準サービス			*
349	BASIC_1.2.16	クライアント 000 に対するアクセスを顧客に提供	標準サービス	制限された、事前定義済みのプロファイルのみ。限定されたセットのユーザーが提供される。サービスは要求に応じてのみ提供される。		*
350	BASIC_1.2.25	クラウドランドスケープ内のシステムに対するシングルサインオン (SSO) の設計/アーキテクチャー	対象外タスク	クラウド環境向けの SSO ソリューションに関連して、顧客は他の SAP のサービスを利用することができる。		*
351	BASIC_1.2.24	クラウドランドスケープ内のシステムに対するシングルサインオン (SSO) の実装	対象外タスク	クラウド環境向けの SSO ソリューションに関連して、顧客は他の SAP のサービスを利用することができる。		*
352	BASIC_1.2.21	監査ログに関する情報の顧客への提供	対象外タスク	顧客は SAP ノート 3137004 に従ってログを管理/アーカイブすることができる。監査記録ターゲットのデフォルト設定は「データベース内のレコード」であり、サポートされている唯一の方法である。ターゲットを「ファイルシステム」として記録することはできない。		*
353	BASIC_1.2.26_AE	Global Change パラメーター (SE06) およびデフォルトのシステム設定 (SCC4) の更新	標準サービス			*
354	BASIC_1.2.31	インターフェースのセキュリティ	パッケージサービス	リモートファンクションコール (RFC) モジュールへのアクセスを、RFC モジュール用のセキュアなフレームワークを実装し、必要なモジュールのみへのアクセス制限を行うことによりセキュリティを保護するためのガイダンスを提供する。	インターフェースのセキュリティ	S7

355	BASIC_1.2.32	アプリケーションセキュリティ監視	パッケージサービス	セキュリティのステータスに関する顧客のアプリケーションを監視する。セキュリティの KPI と改善作業を報告する。	アプリケーションセキュリティ監視、Cloud ERP private 向け CAS	S8,C1
356		SAP Infrastructure and Application Logging サービス (LogServ)				
357	BASIC_1.2.33	SAP ECS 内のシステムに対する SAP Infrastructure and Application Logging サービス (LogServ) の有効化	オプションのサービス	SAP ECS システムのみ。SAP Infrastructure and Application Logging サービス (LogServ) により、システム、アプリケーション、およびその他のサービスに関するログの一元化、リアルタイム収集、保存、および回復が可能になる。		*
358	BASIC_1.2.34	顧客 SIEM 上での LogServ アクティビティ	対象外タスク	サービスには、顧客の SIEM における、受信ログの検証および確認、相関ルールの作成、または攻撃やインシデントの監視の作業は含まれない。		*
359		同機種間システムコピー (システムリフレッシュともいう)		同機種間システムコピーは、次のいずれかと定義される。1) 同一のデータセンターまたはハイパースケーラーのプラットフォーム内での、ランドスケープ内の既存システムからのコピーとして構築される新規のシステム、または 2) 同一のデータセンターまたはハイパースケーラーのプラットフォーム内での、ランドスケープ内のすでに存在しているシステムのデータベースを上書きする「データリフレッシュ」。初期構築フェーズ中は、NetWeaver 以外のシステムへのコピーはできない。初期構築フェーズ後、NetWeaver 以外のシステムへのコピーは個別に評価する必要があり、すべてのケースで行えるわけではない。注記：ソースシステムとターゲットシステム全体でオペレーティングシステムバージョンとデータベースバージョンは同じである必要がある。		
360	BASIC_1.3.01	初期構築フェーズ中の NetWeaver 以外のシステムへの同機種間システムコピー (システムリフレッシュともいう)	対象外タスク	初期構築フェーズが完了し、システムが稼働中である場合にのみ使用可能である (対応するステータスですべてのツールが表示される)。		*
361	BASIC_1.3.11	PCA (コピー後の自動化) の対象ではない前処理タスク - すなわち、「旧」設定での顧客定義テーブルのエクスポート	パッケージサービス	PCA の対象ではないタスクのその他の例としては、HANA リモート接続用の設定の保存、PCA で使用するための「顧客定義設定テーブルのエクスポート」の実装、および顧客が定義したトランザクションのスクリーンショットなどがある。	アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS	A1,C1
362	BASIC_1.3.10B	ABAP システムの同機種間システムコピー - 構築後フェーズ (計画、準備、チェック、データベースバックアップ、データベース復元、技術的な後処理タスク、技術的システム機能のテスト) - 地域内 (同じ地域) でのリフレッシュのみ	標準サービス	プロセスフロー - 追加情報あり。契約年ごとに、SID あたり最大 12 回のリフレッシュが含まれる。追加のリフレッシュは有償の依頼として提供可能。初期構築フェーズが完了し、システムが稼働中である場合にのみ使用可能である (対応するステータスですべてのツールが表示される)。注: NetWeaver 以外のシステムへのコピーは個別に評価する必要があり、すべてのケースで行えるわけではない。地域内 (同一地域) のみ (例えば、地域 1 のバックアップから地域 2 のシステムを復元することはできない)。地域外 (地域間) のリフレッシュは、追加のサービスとして提供可能。データのマスクング、スクランプリングなどの作業は含まれない。顧客は、サービスを完了するためにサーバー上に十分なストレージがあることを確認する必要がある。		*
363	BASIC_1.3.10B1	ABAP システムの同機種間システムコピー - 追加要求	追加サービス	ABAP システムの BASIC_1.3.10B に記載されている権限を超える追加リフレッシュの要請		*
364	BASIC_1.3.10C	非 ABAP システムの同機種間システムコピー - 構築後フェーズ (計画、準備、チェック、データベースバックアップ、データベース復元、技術的な後処理タスク、技術的システム機能のテスト) - 地域内 (同じ地域) でのリフレッシュのみ	標準サービス	プロセスフロー - 追加情報あり。契約年ごとに、SID あたり最大 2 回のリフレッシュが含まれる。追加のリフレッシュは有償の依頼として提供可能。初期構築フェーズが完了し、システムが稼働中である場合にのみ使用可能である (対応するステータスですべてのツールが表示される)。注: NetWeaver 以外のシステムへのコピーは個別に評価する必要があり、すべてのケースで行えるわけではない。地域内 (同一地域) のみ (例えば、地域 1 のバックアップから地域 2 のシステムを復元することはできない)。地域外 (地域間) のリフレッシュは、オプションのサービスとして提供可能。データのマスクング、スクランプリングなどの作業は含まれない。		*
365	BASIC_1.3.10D	非 ABAP システムの同機種間システムコピー - 追加依頼	追加サービス	非 ABAP システムの BASIC_1.3.10C に記載されている権限を超える追加リフレッシュの依頼		*
366	BASIC_1.3.10A	同機種間システムコピー - 構築後フェーズ (計画、準備、チェック、データベースバックアップ、データベース復元、技術的な後処理タスク、技術的システム機能のテスト) - 地域外 (地域間) でのリフレッシュ	オプションのサービス	プロセスフロー - 追加情報あり。地域外 (地域間) のリフレッシュは、オプションのサービスとして提供可能。注: このサービスは、すべての地域やデータセンターで利用できるわけではなく、すべてのサービスプロバイダーから提供されるわけでもない。データのマスクング、スクランプリングなどの作業は含まれない。		*
367	BASIC_1.3.07	後処理タスク (Embedded Search、BDLS - 既存のシステムなど)	パッケージサービス	既存の本移動システム向け	アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS	A1,C1
368	BASIC_1.3.07A	後処理タスク (組込検索、BDLS - 新規ビルド、移行後のメインインスタンスへの切替など)	標準サービス	ブラウザーフィールドのシステムコピーシナリオ用の新規ビルド向け		*
369		リリース管理				
370	BASIC_1.5.13A	オンボーディング時の、初回顧客引渡後のシステム内での新規ソフトウェアエントリのインストール (アドオンやその他の種類の追加ソリューションパッケージなどに適用)	標準サービス	プロセスフロー - 追加情報あり。マネージドサービスのスコープ変更やインフラストラクチャー消費の増加の場合は、契約上の変更依頼 (CR) が必要。		*
371	BASIC_1.5.13B	オンボーディング時の、初回顧客引渡後のシステム内での新規コンテンツのインストール (言語、コンテンツパッケージなどに適用)	標準サービス	プロセスフロー - 追加情報あり。マネージドサービスのスコープ変更やインフラストラクチャー消費の増加の場合は、契約上の変更依頼 (CR) が必要。		*

372	BASIC_1.5.03	管理対象システムにおける SAP Notes、移送ベースの修正指示 (TCI, Transport-based correction instructions) やその他のタイプのマニュアル修正 (ソフトウェア修正パッケージとして提供されない修正) の適用 (アプリケーション関連の課題を解決するために必要な SAP Notes や修正)	パッケージサービス	この「役割と責任分担」文書に従い顧客の責任に該当する問題、したがって、技術的な SAP Note の適用に関するそれぞれの標準サービスの対象ではない問題の修正は、「アプリケーション」関連とみなされ、対応する SAP Notes がこのタスクで定義されたとおりに適用される。これは通常、NetWeaver のアプリケーション層および/またはプレゼンテーション層、ならびに S/4 スタックに属する。	アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS	A1,C1
373	BASIC_1.5.04	管理対象システムにおける SAP Notes、移送ベースの修正指示 (TCI, Transport-based correction instructions) やその他のタイプの手作業での修正 (ソフトウェア修正パッケージとして提供されない修正) の適用 (技術的な SAP コンポーネント関連の課題を解決するために必要な SAP Notes)	標準サービス	修復の重要度に応じて、かつ適切なサポートパッケージが利用できない場合のみ。「役割と責任」に従ってプロバイダーの責任に該当する、および/または顧客が実行できない作業を必要とする問題の修正は「テクニカル」とみなされ、対応する SAP Notes がこのタスクに定めたとおり適用される。BC+ トピック分野のサブセットのみが標準サービスの対象であるため、各 SAP Note のトピック分野は、大きな指針としてのみ有効。HEC サービスが主として適用される 2 つの分野は、BC-CST および BC-DB である。当該の SAP Note に従って必要なインストール後の本質的に技術的でないタスク (顧客のネームスペース内でのアプリケーション関連の設定/マニュアルでのコード作成や、SAP のネームスペース内で必要なマニュアル作業など) は、顧客が実施する必要がある。		*
374	BASIC_1.5.05	ライセンス監査用のアプリケーション SAP Notes の適用	標準サービス	自動 License Metering により、ユーザーおよびエンジンの消費を自動的に測定して、顧客ライセンスに対するコンプライアンスをチェックすることができる。License Metering 機能の修復の重要度に応じて、また適切なサポートパッケージが利用できない場合に限り、役割と責任分担に従って、サービスプロバイダーの責任に該当する問題を修正。これは通常、SAP NetWeaver のアプリケーション層および/またはプレゼンテーション層、ならびに S/4 スタックに属する。FI、CO などのアプリケーションコンポーネントに属する SAP Notes が含まれる。当該の SAP Note に従って必要なインストール後の本質的に技術的でないタスク (顧客のネームスペース内でのアプリケーション関連の設定/マニュアルでのコード作成や、SAP のネームスペース内で必要なマニュアル作業など) は、顧客が実施する必要がある。		*
375	BASIC_1.5.06	OS レベルで実行されているシステムソフトウェア (SAP カーネルなど) に対するパッチの適用	標準サービス	プロセスフロー - 追加情報あり。追加のシステムダウンタイムが必要になることがある。「バンドルサービス」の一部として注文することができる。		*
376	BASIC_1.5.21	Rolling Kernel Update サービスを使用したカーネルパッチの適用	標準サービス	新たなカーネルバージョンをインポートする際に業務への悪影響を最小限に抑えるため、インスタンスは 1 つずつ順番に再起動される。これにより、この手順の実行中に、少なくとも 1 つのアプリケーションサーバーのインスタンスを常に業務で使用できる。最低要件: サービスを自動的に実行し、システムダウンタイムを最小限に抑えるため、最低 2 台のアプリケーションサーバーが必要。このサービスは、SAP カーネルリリース 741 および SAP BASIS の 740 SP5 以降で使用することができる。このサービスの対象は、SAP ABAP システムに限定。このゲートウェイは ASCS インスタンスの再起動時に失敗となるため、このサービスには ASCS インスタンス内の追加ゲートウェイの設定は含まれない。		*
377	BASIC_1.5.09	標準のツールや方法論を使用した、管理対象の SAP ソリューションに対するアップデートの適用	標準サービス	プロセスフロー - 追加情報あり。「アップデート」という用語は、ホストされている SAP ソフトウェアの新規マイナーリリースに対する変更を表し、通常は主にバグフィックスや小規模の拡張を指す。かかるイベントに対する用語は、SAP ポートフォリオ内で異なる。ただし、このコンテキストで頻繁に使われる用語は「パッチ」、「サポートパッケージ」などである。この項目には S/4HANA Feature Pack Stacks (FPS) の実装も含まれるが、次のメジャーリリースへの S/4HANA のアップグレードは含まれない。各 SAP 製品に関するリリースの順序やバージョンの分類は、SAP Service Marketplace の Product Availability Matrix (PAM) に記載されている。特定の SAP コンポーネントが PAM にモデル化されていない場合、この作業は、明示的な注記がない限り当該コンポーネントに対する「アップデート」とみなすことができる。この項目には、nZDT/ZDO/ダウンタイム最小化といったより高度なアップデート手法の利用は含まれない。実装には、標準的な計画ダウンタイムが必要となる。必要なインストール後のタスクで、本質的に技術的でないもの (顧客の名称領域内でのアプリケーション関連の設定/マニュアルでのコード作成や、SAP の名称領域内で必要なマニュアル作業など) は、顧客が実施する必要がある。SAP がサービスプロバイダーである SAP Enterprise Cloud Services (ECS) 環境内で維持されているシステムについて利用可能。このサービスは、該当する場合はパートナーによる移行の完了後のみ依頼できる。		*

378	BASIC_1.5.11	管理対象の SAP ビジネスソフトウェアに対するアップデートまたはアップグレードの適用 - 保守ダウンタイム最小化サービスの一部である SUM のゼロダウンタイムオプション (ZDO) を使用した ABAP ソリューション	追加サービス	「アップデート」という用語は、ホストされている SAP ソフトウェアの新規マイナーリリースに対する変更を表し、通常は主にバグフィックスや 小規模の拡張を指す。かかるイベントに対する用語は、SAP ポートフォリオ内で異なる。ただし、このコンテキストで頻繁に使われる用語は「パッチ 」、「サポートパッケージ」などである。この項目には S/4HANA Feature Pack Stacks (FPS) の適用も含まれる。各 SAP 製品に関するリリースの順番やバージョンの分類は、SAP Service Marketplace の Product Availability Matrix (PAM) に記載されている。 注記：アップデートやアップグレードを適用する場合、追加のシステムダウンタイムや、 システムリリースに関する前提条件が必要になる場合がある（これには、追加のメモリー 、CPU、QA や、テストおよび検証を行うための本稼動前システムが含まれるが、これらに限られない ）。既存の顧客ランドスケープ内でシステムリリースが入手できない場合は、変更依頼 (CR) を通して提供される必要があり、追加のサービス料金が発生する場合がある。適用するに は、最小限の計画ダウンタイムが必要となる。必要なインストール後のタスクで、本質的 に技術的でないもの（顧客の名称領域内でのアプリケーション関連の設定/マニキュアルでの コード作成や、SAP の名称領域内で必要なマニュアル作業など）は、顧客が実施する必要がある。SAP ノート 2707731：「SUM のゼロダウンタイムオプションの前提条件と制限」に従ってサポート。		
379	BASIC_1.5.10	システム言語の継続的メンテナンス（言語補充の実行など）	標準サービス	SAP がサービスプロバイダーである SAP Enterprise Cloud Services (ECS) 環境内で維持されているシステムについて利用可能。このサービスは、該当する場合はパ ートナーによる移行の完了後のみ依頼できる。		
380	BASIC_1.1.01	SAP ソフトウェアのバージョンアップグレード/アップデート：計画と調整	パッケージサービス	SAP Store からパッケージを注文する。「アップデート」という用語は、ホストされている SAP ソフトウェアの新規マイナーリリースに対する変更を表し、通常は主にバグフィックスや 小規模の拡張を指す。かかるイベントに対する用語は、SAP ポートフォリオ内で異なる。ただし、このコンテキストで頻繁に使われる用語は「パッチ 」、「サポートパッケージ」などである。この項目には S/4HANA Feature Pack Stacks (FPS) の実装も含まれる。各 SAP 製品のリリース順序およびバージョンの分類については、SAP Service Marketplace にある製品出荷マトリクス (PAM) を参照。「バージョンアップグレード」という用語は、ホストされている SAP ソフトウェアの新規メジャーリリースに対する変更を表し、通常は機能拡張が含まれる。 アップグレード以外に、これには SAP 拡張パッケージの実装も含まれる。各 SAP 製品に関するリリースの順番やバージョンの分類は、SAP Service Marketplace の Product Availability Matrix (PAM) に記載されている。第三者ソフトウェアは除外。Maintenance Planner (stack.xml) は、顧客が作成するか、サービスプロバイダーに委任することができる。stack.xml、ター ゲットバージョン、およびアドオンの確認は顧客の責任で行う。SAP がサービスプロバイダーである SAP Enterprise Cloud Services (ECS) 環境内で維持されているシステムについて利用可能。このサービスは、該当する場合はパ ートナーによる移行の完了後のみ依頼できる。	管理対象ア ップグレー ド及び更新 のための拡 張運用サー ビス	8011051
381	BASIC_1.5.01A	テクニカルアップグレードプロジェクトのオーケストレーション	標準サービス	技術的な実行に使用される。新しいメジャー（製品）リリースまたは新しいエンハンスマ ントパッケージに対するランドスケープ全体のアプリケーションソフトウェアプロジェク トオーケストレーションのアップグレードを要請するために使用される。例：S/4HANA 2021 から 2023、EHP 7 から 8、および NetWeaver 7.4 から 7.5。アップグレードの大きなタイムライン、スコープ、前提条件、および依存関係が定 義されている場合にのみ、このサービスを要請することを推奨する。		
382	MOVE_1.1.06	SAP S/4HANA アップグレード用の SAP Readiness Check	標準サービス	サービスは、契約に示されている SAP S/4HANA ランドスケープにのみ適用可能。SAP S/4HANA アップグレード用の SAP Readiness Check の実装、対応するシステム内の SAP Notes および必要なファイルの生成（その後エクスポートファイルを顧客に引き渡す）が含ま れる。顧客は、SAP Readiness Check のレポートおよびダッシュボードの生成の要求を提出しなければならない。または、SAP が顧客に代わってこれを実施する。このサービスのターゲットシナリオは、SAP S/4HANA へのアップグレードである。		
383	BASIC_1.5.07	SAP ソフトウェアのバージョンアップグレード：テクニカルアップグレードのタスクの 実行	標準サービス	「バージョンアップグレード」という用語は、ホストされている SAP ソフトウェアの新規メジャーリリースに対する変更を表し、通常は機能拡張が含まれる。 アップグレード以外に、これには SAP 拡張パッケージの実装も含まれる。各 SAP 製品に関するリリースの順番やバージョンの分類は、SAP Service Marketplace の Product Availability Matrix (PAM) に記載されている。第三者ソフトウェアは除外。SAP がサービスプロバイダーである SAP Enterprise Cloud Services (ECS) 環境内で維持されているシステムについて利用可能。このサービスは、該当する場合はパ ートナーによる移行の完了後のみ依頼できる。		
384	BASIC_1.5.22	SAP ソフトウェアのバージョンアップグレード：BASIS の前後のタスク	パッケージサービス	SAP Store からパッケージを注文する。「アップデート」という用語は、ホストされている SAP ソフトウェアの新規マイナーリリースに対する変更を表し、通常は主にバグフィックスや 小規模の拡張を指す。かかるイベントに対する用語は、SAP ポートフォリオ内で異なる。ただし、このコンテキストで頻繁に使われる用語は「パッチ 」、「サポートパッケージ」などである。この項目には S/4HANA Feature Pack Stacks (FPS) の実装も含まれる。各 SAP 製品のリリース順序およびバージョンの分類については、SAP Service Marketplace にある製品出荷マトリクス (PAM) を参照。このサービスの例としては、シンプル化チェックの実行、オブジェクトのアノ ック、無効なオブジェクトの除去、アップデート関連 SAP Notes の適用、モディフィケーション調整のサポートなどがある。	管理対象ア ップグレー ドのための拡 張運用サー ビス	8011051

385	BASIC_1.5.22A	SAP ソフトウェアのバージョンアップグレード：BASIS の前後のタスク	パッケージサービス	SAP Store からパッケージを注文する。このサービス例には、シンプル化チェックの実行、オブジェクトのロック解除、無効なオブジェクトの削除、アップグレード関連 SAP Notes の適用、技術的な問題に対するモディファイケーション調整、Silent Data Migration のサポートと監視などがある。「バージョンアップグレード」という用語は、ホストされている SAP ソフトウェアの新規メジャーリリースに対する変更を表し、通常は機能拡張が含まれる。アップグレード以外に、これには SAP 拡張パッケージの実装も含まれる。各 SAP 製品に関するリリース予定やバージョンの分類は、SAP Service Marketplace の Product Availability Matrix (PAM) に記載されている。	管理対象アップグレード及び更新のための拡張運用サービス	8011051
386	TO_NWABAP_1.5.08	ソフトウェア変更の一環としてのリポジトリオブジェクトの調整	パッケージサービス	SAP Store からパッケージを注文する。SAP オブジェクトに対する SPDD/SPAU における調整の実行。SPDD/SPAU 内のカスタマオブジェクトは、実行中に顧客の決定が必要となる。	管理対象アップグレード及び更新のための拡張運用サービス	8011051
387	BASIC_1.5.08	アップグレードとアップデート、および変更管理のための技術的実行プロセスの一環としての、アプリケーション関連の技術的エラー処理タスクの実行	パッケージサービス	SAP Store からパッケージを注文する。テクニカルアップグレードまたはアップデート作業に関連するトラブルシューティングおよび SAP Note 修正の適用。機能に関する決定は、解決策の適用時に必要に応じて、顧客の機能チームまたは SAP の製品サポートによって確認される。	管理対象アップグレード及び更新のための拡張運用サービス	8011051
388		プロアクティブサービス				
389	BASIC_1.7.02	RTCCTOOL のメンテナンスによる SAP サービスセッションのセッションの準備	標準サービス	本稼動システムについてのみ実施。顧客の SAP Solution Manager 内で実行する必要のある作業については顧客が責任を負う。		*
390	BASIC_1.7.03	クラウド内で運用されているシステムに関する SAP サービスセッションレポート (EarlyWatch Alert を含む) を分析して、クラウドのサービス範囲内の要素に関する発見事項や推奨事項がないか確認する (技術運用)	標準サービス	本稼動システムについてのみ実施。		*
391		システムパフォーマンス管理				
392	BASIC_1.12.01	システムパフォーマンスに関する課題の初期評価	標準サービス	サービスプロバイダーが、特定または報告されたシステムパフォーマンスの課題について、潜在的な根本原因を明らかにするため、初期評価を実施する。この評価の主たるスコープは、サービスのパフォーマンスに関連する技術的ビルディングブロックを速やかにチェックすることである。これには、インフラストラクチャー、データベースおよび根本原因に関する技術的な SAP スタックが含まれる場合があり、その結果に基づいて、根本原因が技術的なものか、アプリケーションに関連するものかを判断する。		*
393	BASIC_1.12.03	SAP システムのパフォーマンスに関する課題のトラブルシューティング (サービスのスコープ内にある技術的根本原因)	標準サービス	初期評価の結果に基づいて、サービス範囲内の技術的問題に起因している状況で、システムパフォーマンスが通常かつ予測可能な振る舞い (例えば過去に同等の負荷状況で示されているなど) を逸脱している場合に限り、サービスプロバイダーによるトラブルシューティングが実施される。		*
394	BASIC_1.12.02	パフォーマンスおよびベンチマークサービス	オプションのサービス	システム動作における偏差を特定するためのパフォーマンスメトリクスおよび測定値の定義を含む。詳細なサービス内容説明の提供が可能。		*
395	BASIC_1.12.05	ロードテストの実行	パッケージサービス	ソフトウェアとハードウェアの設定に基づいて、対象 SAP システムのロード機能を実証する。対象環境に関する潜在的なスケーラビリティボトルネックを特定する。エンドユーザーの行動のシミュレーション。最大 500 人の同時接続ユーザー。	パフォーマンステスト	P1
396	BASIC_1.12.06	SAP のベストプラクティスの基準応答時間に照らして、事前に定義されたアプリケーション関連のパフォーマンス KPI を監視する	パッケージサービス		コアパフォーマンス管理, Cloud ERP private 向け CAS	P4,C1
397	BASIC_1.7.12_AE	KPI 不調の根本原因を特定し、予防・是正措置や可能な対策を定義する	パッケージサービス		コアパフォーマンス管理, Cloud ERP private 向け CAS	P4,C1
398	BASIC_1.7.08	システムのパフォーマンスと安定性を向上させるための、顧客コードのレビューと最適化	対象外タスク	顧客は、他の SAP のサービスを利用することができる。		*
399		証明書の取り扱い				
400	BASIC_1.11.01	証明書の生成、更新、拡張および/または実装	標準サービス	顧客は、プロバイダーが証明書要求ファイルを送信した後に、署名された証明書を提出する必要がある。		*
401	BASIC_1.11.02	認証機関への証明書署名依頼の送信	対象外タスク			*
402	BASIC_1.11.06	証明書の有効期間の監視	パッケージサービス	URL の証明書のみ制限される。顧客は、証明書チェック用の URL を提供する。	アプリケーションの監視, 顧客アプリケーション監視, Cloud ERP private 向け CAS	M1,M2,C1
403		災害回復		災害回復はオプションサービスであり、災害回復が契約/SOW/注文書に含まれている場合、および/または変更依頼で追加された場合に、管理対象サービス内でのみ提供される。		
404	BASIC_1.9.01	アーキテクチャーブループリントと契約仕様に従った災害回復セットアップの実装マネージドサービスの社内データセンターおよびテクニカルシステムインフラストラクチャーのテスト	オプションのサービス	本稼動システムのみについて実施する。災害復旧ソリューションが契約/SOW/「注文書」に含まれる場合のみ、サービスに含まれる管理対象ランドスケープの内部テストには追加のダウンタイムが必要。		*

405	BASIC_1.9.02	データベースおよびファイルシステムのレプリケーションのみを対象とした災害回復手順の策定と使用	オプションのサービス	本稼動システムに対してのみ実施。災害回復ソリューションが契約/SOW/「注文書」に含まれる場合のみ、サービスに含まれる。		*
406	BASIC_1.9.03	災害回復アーキテクチャーの継続的管理：トラブルシューティングを含む2次サイトへのデータレプリケーションの監視	オプションのサービス	本稼動システムに対してのみ実施。災害回復ソリューションが契約/SOW/「注文書」に含まれる場合のみ、サービスに含まれる。		*
407	BASIC_1.9.04	災害回復アーキテクチャーの継続的管理：システムの一貫性を確保するための2次サイトでのシステムの保守と変更管理（トラブルシューティングを含む）	オプションのサービス	本稼動システムに対してのみ実施。災害回復ソリューションが契約/SOW/「注文書」に含まれる場合のみ、サービスに含まれる。		*
408	BASIC_1.9.05	顧客の責任範囲内であるサービスの領域と側面に対する災害回復手順の策定と更新管理	対象外タスク	含まれている顧客インフラストラクチャー、管理対象システムへの接続、インターフェース（RFC接続、その他の統合されたシステムにおける接続の詳細を含む）、組織的対策およびプロセスなど		*
409	BASIC_1.9.06	災害回復テスト時のフェイルオーバーの実行（DB、アプリケーションおよびCNAME）- オフライン DR テスト	オプションのサービス	注：この「サービス」は、「短距離」の DR サービス、HA/DR アーキテクチャーのシナリオには適用されない。テスト中に行われた DB の挿入/更新/削除は失われる。本稼動システムのみについて実施する。要求に応じて、暦年あたり最大1回実行（それ以上のテストは有料のサービスとして請求される）。災害回復ソリューションが契約/SOW/「注文書」に含まれている場合のみ、サービスに含まれる。顧客は機能テストの作成と実行に責任を負い、インターフェースや接続などの特定の技術面に関して協力する必要がある。テスト期間中は、DR サイトからプライマリーサイトへのレプリケーションは行われない。		*
410	BASIC_1.9.10	災害回復テスト時のフェイルオーバーの実行（DB、アプリケーションおよびCNAME）- オフライン DR テスト - 追加のテスト	追加サービス	注：この「サービス」は、「短距離」の DR サービス、HA/DR アーキテクチャーのシナリオには適用されない。テスト中に行われた DB の挿入/更新/削除は失われる。本稼動システムのみについて実施する。要求に応じて、暦年あたり最大1回実行（それ以上のテストは有料のサービスとして請求される）。災害回復ソリューションが契約/SOW/「注文書」に含まれている場合のみ、サービスに含まれる。顧客は機能テストの作成と実行に責任を負い、インターフェースや接続などの特定の技術面に関して協力する必要がある。テスト期間中は、DR サイトからプライマリーサイトへのレプリケーションは行われない。		*
411	BASIC_1.9.07	サービスプロバイダーにより正式に災害が宣言された場合に、本番フェイルオーバーを実行 - すべての HA/DR アーキテクチャーのシナリオ対応	オプションのサービス	注：この「サービス」は、「短距離」および長距離の DR に適用（すべての HA/DR アーキテクチャーのシナリオに対する真の災害の宣言または「短距離」の DR に適用）。「災害」とは広範な損害/破壊をもたらす破壊的事象のことであり、一般にその範囲は単一の個別システムやランドスケープにとどまらず、インフラストラクチャーの大部分に及ぶ。したがって、災害回復はハードウェアやソフトウェアの障害に起因する孤立したシステムの機能停止を解決するための手段ではない。本稼動システムについてのみ実施する。災害回復ソリューションが契約/SOW/「注文書」に含まれている場合のみ、サービスに含まれる。		*
412	BASIC_1.9.11	混成の高可用性 (HA)災害回復 (DR)：特定の SID に対して本稼動フェイルオーバーを実行し、レプリケーションのベクトルを反転させる	オプションのサービス	注：この「サービス」は、長距離の DR には適用されない（完全な本稼動フェイルオーバーに適用される）。HA と DR の混成アーキテクチャーの場合。すべてのハイバースケーラーで利用できるわけではない。SID ごとに、1 暦年あたり最大1回、フルサイクルの顧客要請のフェイルオーバーが含まれる（「フリップフロップ」）。SAP が宣言した災害の結果であるフェイルオーバーは、回数に含まれない。顧客が要請した追加のフェイルオーバーは請求対象。災害回復ソリューションが契約/SOW/「注文書」に含まれる場合のみ、サービスに含まれる。		*
413	BASIC_1.9.12	混成の高可用性 (HA)災害回復 (DR)：特定の SID に対して本稼動フェイルオーバーを実行し、レプリケーションのベクトルを反転させる - 追加の顧客要請	追加サービス	注：この「サービス」は、長距離の DR には適用されない（完全な本稼動フェイルオーバーに適用される）。HA と DR の混成アーキテクチャーの場合。すべてのハイバースケーラーで利用できるわけではない。SID ごとに、1 暦年あたり最大1回、フルサイクルの顧客要請のフェイルオーバーが含まれる（「フリップフロップ」）。SAP が宣言した災害の結果であるフェイルオーバーは、回数に含まれない。顧客が要請した追加のフェイルオーバーは請求対象。災害回復ソリューションが契約/SOW/「注文書」に含まれる場合のみ、サービスに含まれる。		*
414		運用拡張		このサービスでは、標準のサービスのスコープを超えて、インシデント管理、変更管理およびイベント管理の領域に可能な拡張を提供する。		
415	BASIC_1.15.01	技術的問題の分析 - SAP ベーシス/顧客のクライアント	パッケージサービス	管理対象システムについてのみ実施可。	アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS	A1,C1
416	BASIC_1.15.02	変更管理：R&R の「定義」に従った「標準サービス」に含まれない、技術的システム構成の変更	パッケージサービス	管理対象システムについてのみ実施可。	アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS	A1,C1

417	BASIC_1.15.03	イベント管理、R&Rの「定義」に従った「標準サービス」に含まれない、技術的/非機能的イベントタイプの監視	パッケージサービス	管理対象システムについてのみ実施可。1回のシステム監視。	アプリケーション運用、Cloud ERP private向けCAS	A1,C1
418	BASIC_1.15.04	クラウドアプリケーションサービス - 一般的なサービス依頼：R&Rの「定義」に従った「標準サービス」に含まれない、技術的/非機能的タスクに関するサービス依頼フルフィルメントの実行	パッケージサービス	管理対象システムについてのみ実施可。	アプリケーション運用、Cloud ERP private向けCAS	A1,C1
419	BASIC_1.15.06	追加サービス - 一般的なサービス依頼：標準サービス、オプションサービスおよび/またはクラウドアプリケーションサービスの対象ではないタスク/サービスに使用される。	追加サービス	管理対象システムについてのみ実施可。		*
420	SAP Safekeeper サービス					
421	BASIC_1.18.01	SAP Safekeeper サービス	オプションのサービス	詳細については、「SAP Safekeeperのサービス内容説明」を参照されたい。サービスおよび一時的なサンドボックスインフラストラクチャを提供し、現在のS/HANAバージョンへのアップグレードを迅速化する。		*
422	E - NetWeaver の運用 (ABAP および JAVA)		技術的条件によっては、本セクションに記載されているタスクの一部は、2つのプラットフォーム (NW ABAP または NW Java) のいずれか一方にのみ適用可能。			
423	一般的な NetWeaver の運用					
424	TO_NWABAP_1.1.04	SAP システムログを分析し、サービスのスコープに含まれる技術的な障害を修正	標準サービス	顧客の支援を要する場合がある。		*
425	TO_NWABAP_1.1.06	システム運用に関する問題を回避するための、SAP ソフトウェア内のアップデートプロセスの監視	標準サービス	サービスプロバイダーが更新プロセスに関する問題を顧客に通知する。SAP Enterprise Supportによって提供されるRCA手法を、アップデートに関するアプリケーション関連の根本原因を特定するために利用可能。		*
426	TO_NWABAP_1.1.07	アップデートの終了を分析し、業務への影響と適切な措置を決定	パッケージサービス	アプリケーションの問題および影響に関して。	アプリケーション運用、Cloud ERP private向けCAS, Business Data Cloud向けCAS	A1,C1,C2
427	TO_NWABAP_1.1.10	ロックエントリーを分析し、業務への影響と適切な措置を決定	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private向けCAS, Business Data Cloud向けCAS	A1,C1,C2
428	TO_NWABAP_1.1.12	システムに関する重大な問題を検出するための ABAP ダンプのチェック	標準サービス	顧客が解決する必要があるアプリケーション関連の重大な問題が発生した場合は、サービスプロバイダーが顧客に通知する。プロバイダーの責任に関連するダンプはプロバイダーが解決する。		*
429	TO_NWABAP_1.1.22	ABAP のダンプチェックと分類	パッケージサービス	アプリケーション関連のダンプを含む。	アプリケーション運用、Cloud ERP private向けCAS, Business Data Cloud向けCAS	A1,C1,C2
430	TO_NWABAP_1.1.23	SAP アプリケーションのログを分析して、障害修正に関する推奨事項を提供	パッケージサービス	顧客は、(SLG1で) 分析する必要があるエラーを指定する。サービス要請は、チケットあたり4つのエラーに制限される。	アプリケーション運用、Cloud ERP private向けCAS, Business Data Cloud向けCAS	A1,C1,C2
431	TO_NWABAP_1.1.24	qRFC/tRFC キューの再編成	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private向けCAS, Business Data Cloud向けCAS	A1,C1,C2

432	TO_NWABAP_1.1.25	SAP システム内で急増しているテーブルをチェックし、アーカイブ作成または再編成に関する推奨事項を提供する	パッケージサービス	アプリケーション運用のコンテキストでは、このサービスは、増大率の高いテーブルに関する情報と、テーブルのアーカイブおよび再編成に関する基本的な推奨事項を提供することを目的としている。このサービスには、フルスコープのアーカイブ戦略の作成は含まれない。	アプリケーション運用、Cloud ERP private向けCAS,Business Data Cloud向けCAS	A1,C1,C2
433	TO_NWABAP_1.1.13	SAP ログオングループの管理	標準サービス	顧客はこの作業を実施することができる。サービスプロバイダーに作業の実施を依頼する場合、設計/定義は、顧客が提供する必要がある。		*
434	TO_NWABAP_1.1.26	システム - PSE (パーソナルセキュリティ環境) の作成/更新/変更	標準サービス	顧客は、便宜のためこのタスクを自ら実施すると決定できる。		*
435	TO_NWABAP_1.1.16	SAP のサポートサービスに対する準備状況を確認するためのツールの導入/アップデート	標準サービス	プロセスフロー - 追加情報あり。		*
436	TO_NWABAP_1.1.17	Web サービスランタイム (WSRT) の管理	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private向けCAS,Business Data Cloud向けCAS	A1,C1,C2
437	TO_NWABAP_1.1.18	システム運用に使用され、SAP により管理されているセントラルシステムへの技術的 RFC 接続 (TA SM59) の設定	標準サービス	技術的 RFC 接続 = すべての管理対象システムベースのシステムに同じ方法で必要な包括的 RFC 接続 (監視設定などについて)		*
438	TO_NWABAP_1.1.28_AE	RSMEMORY を使用したヒープまたは拡張メモリー割り当ての一時的な変更	標準サービス			*
439	TO_NWABAP_1.1.31	ワークプロセスの取り消し、バッチジョブのロード後分析の最適化	パッケージサービス		アプリケーションの監視、顧客アプリケーション監視、Cloud ERP private向けCAS,Business Data Cloud向けCAS	M1,M2,C1,C2
440	TO_J2EE_1.1.01	技術的な問題が発生したときの SAP J2EE のトラブルシューティング	標準サービス	技術的な課題のみが対象。アプリケーション関連の問題は顧客が解決する必要がある。		*
441	TO_J2EE_1.1.02	SAP J2EE : Java アプリケーションの調整/設定	標準サービス			*
442	TO_NWABAP_1.1.32	SAP ABAP インスタンスでのクリティカル ICF サービスの無効化	標準サービス	特定のクリティカル ICF サービス (32 ICF サービス) は、本稼働の管理対象ランドスケープ内の ABAP アプリケーションサーバーに対しては有効にしないことを推奨。		*
443		SAP クライアント運用				
444	TO_NWABAP_1.2.01	1つの SAP システム内でのクライアントのコピー (技術的問題の分析と解決を含む) - 500GB 以下	標準サービス	プロセスフロー - 追加情報あり。500 GB を超えるクライアントサイズは、技術的な制限により、TO_NWABAP_1.2.01A を使用して支援サービス依頼を通じて依頼する必要がある。計画のために SAP Enterprise Cloud Services (ECS) 担当者との調整が必要である。SAP がサービスプロバイダーである SAP Enterprise Cloud Services (ECS) 環境内で維持されているシステムについて利用可能。このサービスは、該当する場合はパートナーによる移行の完了後のみ依頼できる。顧客は、サービスを完了するためにサーバー上に十分なストレージがあることを確認する必要がある。		*
445	TO_NWABAP_1.2.01A	1つの SAP システム内でのクライアントのコピー (技術的問題の分析と解決を含む) - 500GB 超	標準サービス	500 GB を超えるクライアントサイズは、TO_NWABAP_1.2.01A を使用して支援サービス依頼を通じて依頼する必要がある。このサービスは、該当する場合はパートナーによる移行の完了後のみ依頼できる。顧客は、サービスを完了するためにサーバー上に十分なストレージがあることを確認する必要がある。		*
446	TO_NWABAP_1.2.06	1つの SAP システム内でのクライアントの削除 (技術的問題の分析と解決を含む)	標準サービス	プロセスフロー - 追加情報あり。SAP がサービスプロバイダーである SAP Enterprise Cloud Services (ECS) 環境内で維持されているシステムについて利用可能。このサービスは、該当する場合はパートナーによる移行の完了後のみ依頼できる。		*
447	TO_NWABAP_1.2.02	SAP システム間でのクライアントのエクスポート/インポートまたはリモートクライアントコピーの実行 (技術的問題の分析と解決を含む) - 300GB 以下	標準サービス	300 GB を超えるクライアントサイズは、TO_NWABAP_1.2.02A を使用して支援サービス依頼を通じて依頼する必要がある。このサービスは、該当する場合はパートナーによる移行の完了後のみ依頼できる。顧客は、サービスを完了するためにサーバー上に十分なストレージがあることを確認する必要がある。		*

448	TO_NWABAP_1.2.02A	SAP システム間でのクライアントのエクスポート/インポートまたはリモートクライアントコピーの実行（技術的問題の分析と解決を含む） - 300GB 超	標準サービス	300 GB を超えるクライアントサイズは、TO_NWABAP_1.2.02A を使用して支援サービス依頼を通じて依頼する必要がある。SAP ノート 489690 に記載されている技術的な制限があるため、システムコピーが推奨される。顧客は、SAP ノート 489690 に記載されている前提条件をチェックし、支援サービス依頼テンプレートで確認することが推奨される。このサービスは、該当する場合はパートナーによる移行の完了後にのみ依頼できる。顧客は、サービスを完了するためにサーバー上に十分なストレージがあることを確認する必要がある。		*
449	TO_NWABAP_1.2.07	処理前のタスク。すなわち、ジョブの一時停止、ユーザーのロック、「以前の」設定によるテーブルのエクスポート	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
450	TO_NWABAP_1.2.08	処理後のタスク。すなわち、Enterprise Search、FIORI ラウンチパッド、ユーザーのロック解除、ジョブのリリース	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
451	TO_NWABAP_1.2.05	アプリケーション関連の課題（特定のデータベーステーブルやフィールドなど）を調査して解決する	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
452	TO_NWABAP_1.2.09	新規クライアントの作成	標準サービス	トランザクション SCC4 内に新規エントリーを作成する。クライアントの補充は、クライアントのコピーを介して別途サービス依頼として実行。		*
453 インターフェース管理						
454	TO_NWABAP_1.3.24	バッチインプットセッションの作成、実行、およびトラブルシューティング	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
455	TO_NWABAP_1.3.25	インターフェース関連機能の設定（IDOC、インターフェースのスクリプトおよびジョブ、qRFC/rRFC/bgRFC、ALE シナリオなど）	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
456	TO_NWABAP_1.3.26	インターフェース及びインターフェース関連機能の監視	パッケージサービス	アプリケーション運用のコンテキストでは、監視活動は短期間および 1 つのインターフェースのみに制限される。	アプリケーション運用、アプリケーションの監視、顧客アプリケーション監視、Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,M1,M2,C1,C2
457 ジョブスケジューリング						
458	TO_NWABAP_1.4.09	標準ジョブ（SM36/SJOBREPO）をスケジュールする。SAP システムのバッチジョブを監視して、SAP システムの維持管理作業のベストプラクティスを推進する	標準サービス	SAP Notes 2190119 (S/4HANA) または 16083 (ECC) で規定された SAP ガイドラインに従う。追加の SAP 標準ジョブについては顧客とともにレビューし、合意する。		*
459	TO_NWABAP_1.4.14	顧客要件に従ったジョブのスケジュール/変更/削除	パッケージサービス	最大 8 つのジョブを 1 つのサービス要請で処理できる。	アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2

460	TO_NWABAP_1.4.15	アプリケーションバッチジョブの管理：・ジョブの監視 ・トラブルシューティングハンドブックに従ったトラブルシューティング	パッケージサービス		アプリケーションの監視、顧客アプリケーション監視、Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	M1,M2,C1,C2
461		移送管理				
462	TO_NWABAP_1.5.10	クライアント 000 内の移送ドメインと移送ディレクトリの作成および更新管理	標準サービス	HTC から HTA への移送方法の移行は、このタスクには含まれない。デフォルトのセットアップに限定。顧客固有のドメインまたは構成は含まれない。		*
463	TO_NWABAP_1.5.15_AE	SAP 移送管理システム (TMS) の初期セットアップと移送ルートの設定	標準サービス	デフォルトのセットアップに限定。顧客固有のドメインまたは構成は含まれない。		*
464	TO_NWABAP_1.5.16	SAP 移送用の cofile およびデータファイルのコピーおよび削除	標準サービス			*
465	TO_NWABAP_1.5.11A	移送経路の構成およびさらなる構成（自動インポート、定期インポートなど）の設定を含む SAP 移送管理システムの保守管理	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
466	TO_NWABAP_1.5.12	クライアント 000 における移送ベースの修正指示 (TCI) の初期設定	標準サービス	デフォルトのセットアップに限定。顧客固有のドメインまたは構成は含まれない。		*
467	TO_NWABAP_1.5.01	CTS+ のセットアップ	パッケージサービス	OS アクセスが必要。支援は、タスク BASIC_1.1.14 で依頼することができる。	アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
468	TO_NWABAP_1.5.03	SAP のシステム間でオブジェクトを移動するための移送の実行	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
469	TO_NWABAP_1.5.04	SAP 移送管理システムのトラブルシューティング	標準サービス	移送の内容（ロックされたオブジェクトなど）に起因する問題に関連しない、技術的な移送問題のみが対象。		*
470	TO_NWABAP_1.5.09	オブジェクト変更のテストと承認	対象外タスク			*
471		出力管理				
472	TO_NWABAP_1.7.01	SAP ソリューション内のプリンターの作成、変更及び削除	パッケージサービス	サービスプロバイダーが、SAP 発行のガイドラインに含まれているプリンタータイプのみをサポートする。	アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
473	TO_NWABAP_1.7.02	不完全な出力要求の分析（トランザクション SP01）	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
474	TO_NWABAP_1.7.03	システムをクリーンに維持するための、SAP スプールシステムの再編成	標準サービス	SAP の標準的なバッチジョブによる。		*
475	TO_NWABAP_1.7.04	印刷フォームの設計と実装	対象外タスク			*
476	TO_NWABAP_1.7.05	SAP プリンターのロック/ロック解除	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
477	TO_NWABAP_1.7.06	印刷の問題を回避するための、スプーラーテーブルの整合性チェック	標準サービス	SAP の標準的なバッチジョブによる。		*

478	TO_NWABAP_1.7.07	仮想スプールの設定（スプールプロセッサ間の負荷分散）	標準サービス			*
479	TO_NWABAP_1.7.08	技術的なスプールおよび印刷の問題のトラブルシューティング（SAP システム内）	標準サービス	SAP システム/ソリューションの範囲外に原因がある問題は顧客が解決する必要がある。		*
480	TO_NWABAP_1.7.09	ローカルでの印刷とサポート	提供なし	管理対象サーバーインスタンスでのローカル OS プリンターの作成およびサポート。		*
481		F - サーバープロビジョニング（別称 IaaS）		ベースラインサービスには含まれず、追加の SKU および/または契約が必要となる。サーバープラットフォームを提供するサービス（SAP 以外のアプリケーションのインストールと実行など（IaaS））。本セクションは、マネージドサービス対象の SAP システムランドスケープの実行に使用されるサーバーインフラストラクチャーには適用されない。インフラストラクチャーに関連するサービスは、デプロイされたインフラストラクチャープラットフォーム（ハイパースケーラーなど）により異なる場合がある。		
482		セキュリティ計画				
483	TO_SPROV_1.4.01	アプリケーション通信要件の提供	対象外タスク			*
484	TO_SPROV_1.4.02	通信およびセキュリティ要件の決定	対象外タスク			*
485	TO_SPROV_1.4.03	セキュリティポリシーの作成と更新管理	対象外タスク			*
486	TO_SPROV_1.4.04	セキュリティ戦略と実施計画の決定	対象外タスク			*
487	TO_SPROV_1.4.05	セキュリティ戦略の監視と評価	対象外タスク			*
488		ハードウェア運用				
489	TO_SPROV_1.5.03	クラウドインフラストラクチャーの保守の計画と実施	標準サービス			*
490		サーバー管理				
491	TO_SPROV_1.6.11	サーバーインフラストラクチャーのサイジング	対象外タスク	SOW/「注文書」に明記のとおり提供される仮想マシン。顧客は、サイジングが正確で、提供された VM が意図されたユースケースの要件を満たしていることを保証する必要がある。		*
492	TO_SPROV_1.6.01	サーバーインフラストラクチャーの提供	標準サービス			*
493	TO_SPROV_1.6.02	OS 用のライセンスの提供	標準サービス	ライセンスの提供および料金請求はプロバイダーが行う。		*
494	TO_SPROV_1.6.03	基本オペレーティングシステムのインストール	標準サービス	サポート対象 OS : SUSE LINUX および MS Windows Server（最新バージョン）。		*
495	TO_SPROV_1.6.04	OS のパッチおよびセキュリティ更新プログラムのインストール	対象外タスク	サーバーは、最新の入手可能なセキュリティパッチレベルとともに出荷され、引渡し後は顧客がアップデートの責任を負う。		*
496	TO_SPROV_1.6.05	ウイルス対策ソフトウェアのインストールとウイルスパターンのアップデート	対象外タスク	顧客は、ウイルス対策ソフトウェアのインストールと日次でのウイルスパターンの更新に責任を負う。		*
497	TO_SPROV_1.6.06	ウイルス対策ソフトウェアのライセンス	対象外タスク			*
498	TO_SPROV_1.6.07	ハードウェアのスケジュールされた起動/シャットダウンの実行	標準サービス	インフラストラクチャーに関連するサービスは、デプロイされたインフラストラクチャープラットフォーム（ハイパースケーラーなど）により異なる場合がある。		*
499	TO_SPROV_1.6.08	障害後のハードウェアの再起動	標準サービス	インフラストラクチャーに関連するサービスは、デプロイされたインフラストラクチャープラットフォーム（ハイパースケーラーなど）により異なる場合がある。		*
500	TO_SPROV_1.6.09	ハイパーバイザーレベルでのハードウェアの監視	標準サービス	インフラストラクチャーに関連するサービスは、デプロイされたインフラストラクチャープラットフォーム（ハイパースケーラーなど）により異なる場合がある。		*
501	TO_SPROV_1.6.10	提供された OS インスタンスのオペレーティングシステムの監視	対象外タスク			*
502		ストレージ管理				
503	TO_SPROV_1.7.01	ストレージの初期セットアップおよび継続的管理	標準サービス	記憶容量は、顧客の仕様に基づいて契約したとおりに提供される。本サービスに基づいて提供可能な記憶領域の容量に対して、技術的な制限が適用される（詳細はそれぞれのサービス内容説明に明記）。		*
504	TO_SPROV_1.7.02	データファイルとファイルシステムの管理	対象外タスク			*
505	TO_SPROV_1.7.03	バックアップ記憶域のための記憶域サイズとサイズ拡張の要求。アプリケーションと顧客のニーズに従ってバックアップを選択および実行して、バックアップデータを指定されたバックアップ記憶域に保管する。バックアップ記憶域の維持管理作業を確実に実行する	対象外タスク			*

506	TO_SPROV_1.7.04	NFS または SMB のシェアをバックアップ記憶域として提供して、顧客が定義したバックアップの保管を可能にする。バックアップ記憶域のサイズ調整は契約どおりの顧客のインフラに基づいて行われる	標準サービス			*
507	TO_SPROV_1.7.06	管理対象サーバーから IaaS サーバーへのファイルシステムのマウント	標準サービス	インフラストラクチャーに関連するサービスは、デプロイされたインフラストラクチャープラットフォーム (Hyperscaler など) により異なる場合がある。対象の顧客ランドスケープに適用可能かどうかは、それぞれの SAP アカウントマネージャーに確認する必要がある。顧客は、このマウントを使用して、管理対象のクラウドインフラストラクチャーのパフォーマンスや安定性にリスクが生じるようなタスクを実行してはならない (ネットワークサービス、大規模なデータ同期など)。		*
508	TO_SPROV_1.7.05	ストレージ容量の拡張	オプションのサービス			*
509		アプリケーション管理				
510	TO_SPROV_1.8.01	アプリケーション要件の明確化	対象外タスク			*
511	TO_SPROV_1.8.02	顧客固有のソフトウェアライセンスの提供	対象外タスク	顧客はクラウド環境でインストールされたソフトウェアを実行するための有効なライセンスを保有していることを確認する必要がある。		*
512	TO_SPROV_1.8.03	アプリケーションのインストール	対象外タスク			*
513	TO_SPROV_1.8.04	アプリケーションの運用	対象外タスク			*
514	TO_SPROV_1.8.05	パッチおよびセキュリティ更新プログラムのインストール	対象外タスク	顧客はソフトウェアライフサイクル管理に責任を負う。		*
515	TO_SPROV_1.8.06	アプリケーションの監視	対象外タスク			*
516		IaaS VM のスナップショットサービス (オフラインでのイメージバックアップ)				
517	TO_SPROV_1.10.01	サービスのセットアップ	オプションのサービス			*
518	TO_SPROV_1.10.02	ブロックデバイスのコピー用の追加ストレージの要求	対象外タスク	このボリューム (追加の記憶域) は、ブロックデバイスのバックアップを標準のバックアップソリューションに移動する前に一時的に格納するために、プロビジョニングする必要がある。		*
519	TO_SPROV_1.10.04	IaaS のスナップショット	オプションのサービス	SAP データセンターにのみ適用される。顧客の要請がある場合のみ実施。シャットダウン、rsync ブロックデバイス、および標準のバックアップソリューションへのコピー。1 か月あたり最大 2 つのスナップショット。スナップショットサービスおよび保管に必要な期間は、最低 3 か月間 (必要な場合)。保管が必要な場合は、契約期間の終了まで延長できる。		*
520	TO_SPROV_1.10.05	サーバーを再起動して顧客に通知	オプションのサービス	VM の再起動完了後、顧客に通知してチケットを更新する。		*
521	TO_SPROV_1.10.06	必要なアプリケーションをサーバー上で起動	対象外タスク	顧客は、スナップショット運用の後にアプリケーションが起動していることを確認する必要がある。		*
522		災害回復				
523	TO_SPROV_1.9.01	セカンダリデータセンター内での VM および関連ストレージの提供	オプションのサービス	契約で DR の対象として明示的に指定された IaaS サーバーのみが対象		*
524	TO_SPROV_1.9.02	セカンダリデータセンター内の専用 VM 上でアプリケーションをセットアップする。顧客の WAN ネットワークを介したプライマリおよびセカンダリのデータセンター間のファイルシステムレプリケーションを設定する。レプリケーション状況を監視して、必要な運用作業を実行。	対象外タスク			*
525		G-クラウドアプリケーションサービス				
526		クラウドアプリケーションサービス-リアクティブサービス	管理対象システムについてのみ実施可。サービスの提供については、最初に関連するアプリケーションエリアの範囲を定めることが必要で、その後タスクを実施することができる。サービス実行への移行が適用される場合がある。			
527	CAS_1.1.01	インシデント管理: SAP アプリケーションに生じた機能インシデントのトラブルシューティング	パッケージサービス	SAP は、インシデントについて、能動的にアプリケーション管理を行う。その解決手段には、サービスの復旧または根本的な問題の解決、回避策の提供、アクションプランの作成などがある。	アプリケーション管理	F1
528	CAS_1.1.02	問題管理: SAP アプリケーション内の問題の障害原因分析と解決	パッケージサービス	SAP は、障害原因分析を実行し、問題の解決策を提案する。これには、インシデントの根本原因の分析、インシデントの再発を防止する手法の提供、問題の解決、アプリケーションおよびシステムの最適化に関する推奨、必要に応じて「製品サポート」の関与の要請が含まれる。	アプリケーション管理	F1

529	CAS_1.1.03	サービス依頼管理：SAP アプリケーション内の機能タスクに関するサービス依頼の履行を行う	パッケージサービス	SAP は、サービスを依頼するための、「キーユーザー」からのチケットを受け付ける。「サービス依頼チケット」には、「合意標準サービス依頼」または実装を伴う「標準変更」、スコープの定義および商用の検証と承認を含む、標準外のスコープに対する「サービス依頼」が含まれる。	アプリケーション管理	F1
530	CAS_1.1.05	変更管理：SAP アプリケーション内の機能設定の変更	パッケージサービス	SAP は、「キーユーザー」からの非標準スコープに関するチケットを受け入れ、変更依頼の分析（スコープの定義、商用の検証と承認を含む）を提供する。	アプリケーション管理	F1
531		クラウドアプリケーションサービス - プロアクティブサービス				
532	CAS_1.2.03	マネージドオペレーションコントロールセンター	パッケージサービス		顧客アプリケーション監視	M2
533		テストサービス				
534	CAS_2.1.01	テスト管理実行の詳細計画を提供する	パッケージサービス	SAP は、顧客のテスト方針とアプローチに沿って、顧客が定めたテストスコープに関してテスト実行の日程を設定する。	回帰テスト	T1
535	CAS_2.1.02	定められたスコープに関する成果ベースの機能テストの実施、不具合の報告、および問題の報告	パッケージサービス	SAP は、顧客が提供するテストケース文書を、テスト実行のために使用する。	回帰テスト	T1
536	CAS_2.1.03	SAP Solution Manager でのテストスイートの設定	パッケージサービス	SAP は、「テスト管理ツール」の顧客のインスタンスを、テスト用の System of Record (SoR) として活用する。	回帰テスト	T1
537	CAS_2.1.05	自動インターフェーステストスクリプトの実行	パッケージサービス		回帰テスト	T1
538		セキュリティサービス				
539	CAS_2.2.01	職務分掌チェックを実行し、リスク評価および改善のための推奨事項のレポートを提供する	パッケージサービス		職務分掌の チェック,Bu siness Data Cloud 向け CAS	S3,C2
540	CAS_2.2.03	既存および新規の RFC 対応汎用モジュールの継続的な管理	パッケージサービス		インターフ ェースのセ キュリティ、 Business Data Cloud 向け CAS	S7,C2
541	CAS_2.2.04	セキュリティステータスについて顧客のアプリケーションを継続的に監視し、脆弱性を特定する	パッケージサービス	監視アラートに基づく重要な重大度セキュリティチェックのためのソリューションの提供を含む。	アプリケー ションセキ ュリティ監 視,Business Data Cloud 向け CAS	S8,C2
542	CAS_2.2.05	定期的なセキュリティ監査を準備し、定期的な監査中およびその後の問題を特定する	パッケージサービス		監査準備状 況,Business Data Cloud 向け CAS	S4,C2
543		モニタリングサービス				
544	CAS_2.3.01	設定ジョブおよび自動化の監視	パッケージサービス	監視設定作業は、本稼働開始後、および本稼働環境で監視要素が利用可能になった後に実行される。これには、監視対象の ABAP ジョブおよび BI プロセスチェーンが含まれる。顧客は、監視対象のサービス要素のリストを提供する。	アプリケー ションの監 視,顧客ア プリケーシ ョン監視,Clou d ERP private 向け CAS	M1,M2,C1
545	CAS_2.3.02	設定の統合と例外の監視	パッケージサービス	監視設定作業は、本稼働開始後、および本稼働環境で監視要素が利用可能になった後に実行される。これには、ABAP Web サービス、BDoc、ゲートウェイ、HTTP(s)、IDoc、プロセス統合、RFC/bgRFC/qRFC/trFC、SAP AIF、SLT、SAP Cloud Integration - Iflow が含まれる。顧客は、監視対象のサービス要素のリストを提供する。	アプリケー ションの監 視,顧客ア プリケーシ ョン監視,Clou d ERP private 向け CAS	M1,M2,C1
546	CAS_2.3.03	URL 監視の設定（証明書および可用性）	パッケージサービス	顧客は、設定用の URL を提供する。設定作業の監視は、本稼働開始後、および本稼働環境で監視要素が利用可能になった後に実行される。	アプリケー ションの監 視,顧客ア プリケーシ ョン監視,Clou d ERP private 向け CAS	M1,M2,C1
547	CAS_2.3.04	リアルユーザー監視の設定	パッケージサービス	設定作業の監視は、本稼働開始後、および本稼働環境で監視要素が利用可能になった後に実行される。	顧客アプ リケーシ ョン 監視	M2
548	CAS_2.3.05	技術システム監視の設定	パッケージサービス	監視のセットアップ作業は、本稼働環境内で実行される。SAP は、技術システム監視用の標準テンプレートを適用する。	顧客アプ リケーシ ョン 監視	M2

549	CAS_2.3.06	監視レポートの生成	パッケージサービス		アプリケーションの監視、顧客アプリケーション監視、Cloud ERP private 向け CAS	M1,M2,C1
550		H - システムの変換および移行のための移動サービス				
551		トランスフォーメーションディスカバリー - 技術的準備サービス				
552	MOVE_1.1.02	SAP Readiness Check for SAP S/4HANA	標準サービス	サービスは、契約に示されている ECC ランドスケープにのみ適用可能。SAP S/4HANA 用の SAP Readiness Check の実装、対応するシステム内の SAP Notes および必要なファイルの生成（その後エクスポートファイルを顧客に引き渡す）が含まれる。顧客は、SAP Readiness Check のレポートおよびダッシュボードの生成の要求を提出しなければならない。または、SAP が顧客に代わってこれを実施する。このサービスのターゲットシナリオは、SAP ECC システムからの SAP S/4HANA 変換である。		*
553	MOVE_1.1.03	カスタムコード分析 - セットアップ	標準サービス	このサービスは、ECC から SAP S/4HANA への変換または SAP S/4HANA ソリューションランドスケープのアップグレード時にも適用できる。ERP システムランドスケープ全体が評価され、カスタムコード分析を設定するための適切なアプローチが決定される。必要な SAP Notes が実装される。所定のアプローチに基づいて、サービスの終了時に、顧客はローカルの S/4HANA システム、リモートセントラル ATC システム、またはカスタムコード移行アプリでの機能的な SAP S/4HANA カスタムコード分析設定の引き渡しを受ける。		*
554	MOVE_1.1.04	SAP Signavio Process Insights, discovery edition	標準サービス	サービスは、契約に示されている SAP ECC および SAP S/4HANA ランドスケープにのみ適用可能。対応するシステム内への SAP Signavio Process Insights, discovery edition 用の技術的前提条件の実装と、顧客に引き渡される ZIP ファイルの生成が含まれる。		*
555	MOVE_1.1.07	SAP BW/4HANA 用の SAP Readiness Check	標準サービス	サービスは、契約に示されている SAP BW ランドスケープにのみ適用可能。SAP BW/4HANA 用の SAP Readiness Check の実装、対応するシステム内の SAP Notes および必要なファイルの生成（その後エクスポートファイルを顧客に引き渡す）が含まれる。顧客は、SAP Readiness Check のレポートおよびダッシュボードの生成の要求を提出しなければならない。または、SAP が顧客に代わってこれを実施する。このサービスのターゲットシナリオは、SAP BW システムからの SAP BW/4HANA 変換である。		*
556	MOVE_1.1.08	SAP Datasphere 用の SAP Readiness Check、SAP BWブリッジ	標準サービス	サービスは、契約に示されている SAP BW ランドスケープにのみ適用可能。SAP Datasphere 用の SAP Readiness Check の実装、対応するシステム内の SAP BW bridge Notes および必要なファイルの生成（その後エクスポートファイルを顧客に引き渡す）が含まれる。顧客は、SAP Readiness Check のレポートおよびダッシュボードの生成の要求を提出しなければならない。または、SAP が顧客に代わってこれを実施する。このサービスのターゲットシナリオは、SAP BW から SAP Datasphere、SAP BWブリッジへの移行である。		*
557	MOVE_1.1.09	BW4/HANA 変換用のスターターツールの設定	標準サービス	このサービスは、複数のツール設定のバンドルであり、契約に示されている SAP BW ランドスケープにのみ適用できる。これには、a) SAP BW/4HANA Transfer Cockpit、b) SAP Note Analyzer、c) SAP BW Starter Add-on のツール環境を実行するための対応するシステムへの技術要件の実装が含まれる。ツールと成果物の簡潔な説明：a) BW/4HANA Transfer Cockpit は、変換に関連するツールのコレクションである。ツールは、準備フェーズと実装フェーズにグループ化されている。これには、SAP BW/4HANA と互換性がないオブジェクトを処理するための事前チェック、サイジング、コードスキャン、範囲転送、および権限転送ツールが含まれる。b) SAP BW および SAP BW/4HANA ノートアナライザでは、サポートパッケージを適用せずに SAP BW または SAP BW/4HANA の特定のコンポーネントまたはプロセスを更新するための明確で整合性のあるプロセスが提供される。ノートアナライザは、特定のコンポーネントまたはプロセスに必要なすべてのツールおよび更新をインストールするために使用される。c) インプレース変換プロセスの最初のステップは、SAP BW/4HANA スタータアドオンのインストール。インストール後、SAP BW システムでは、SAP BW/4HANA へのロードマップを定義する複数のモードを使用することができる (BW、互換性、B4H、および変換準備完了モード)。あるモードから次のモードに SAP BW システムを移行するために、システム全体の非互換性をスキャンし、To-Do リストを作成するプログラムが用意されている。		*
558		エンドツーエンドの変換計画				
559	MOVE_1.6.01	変換計画および調整 (エンドツーエンド)	対象外タスク	SAP 製品のエンドツーエンドシステム変換計画とは、既存の SAP システムを新しいソフトウェアプラットフォームに変換するプロセスを指す。これは、ビジネスプロセス、データ移行、セキュリティ設定、他のシステムとの統合など、システムのすべての側面を考慮する必要がある複雑なタスクである。このようなシステム変換を計画するには、既存のシステムの徹底的な分析と新しい SAP ソリューションに移行するための詳細なロードマップが必要である。これには、必要なシステム調整および設定の特定および優先順位付け、アプリケーションテストおよびプロセス検証の計画および実行、従業員のトレーニング計画の作成および文書化、ならびにロールアウト戦略の定義が含まれる。ただし、エンドツーエンドのシステム変換計画には非常に専門的な知識が必要であり、プロバイダーレポートフォリオに含まれていない点に注意すること。		*
560		変換の準備				

561	MOVE_1.3.01	サンドボックスコンバージョンプロジェクト環境のセットアップと運用	オプションのサービス	プライベートクラウドランドスケープ内でサンドボックスシステムを構築するために使用。顧客は、これらの一時システムを使用して、S/4HANA 変換プロジェクトを円滑に実行することができる。アプリケーションは、S/4HANA 変換のトライアル実行、本稼働データを使用した S/4HANA 変換のテスト、プロセスを理解するための複数の技術的反复の実行、現実的な S/4HANA 変換期間の決定などのシナリオに使用される。これらのサンドボックスシステムは、顧客のプロジェクトのニーズに応じて、必要な期間、注文することができる。	
562		ECC および BW システムの変換の実行			
563	MOVE_1.3.04	SAP ERP および SAP BW システムから SAP S/4HANA および SAP BW/4HANA への技術的なシステム変換の計画および調整	追加サービス	このサービスは、技術的なシステム変換に加えて強く推奨される。この管理対象システムの変換アプローチは、技術的な変換の本稼働カットオーバー計画を含むシステム変換の技術的実行のための専任チーム、部分的な計画および調整を顧客に提供する。したがって、このサービスには、技術的な計画ワークショップと、顧客の全体的な計画に対する技術的なシステム変換作業の統合が含まれる。システム変換（機能変換、変換前および変換後の作業）の全体的な責任は顧客に委ねられており、このサービスには含まれない。このサービスは、変換の実行ごとに個別に注文する必要がある。この計画および調整サービスがシステム変換の実行に対して実施されたら、変換プロジェクトの期間全体にわたり、それ以降のすべての変換の実行に対して依頼する必要がある。このサービスは、SAP ECC および SAP BW システムに適用される。	
564	BASIC_1.5.20	SAP ERP および SAP BW の各システムから SAP S/4HANA および SAP BW/4HANA への技術的なシステム変換	追加サービス	「システム変換」という用語は、以前の SAP ERP から現在の SAP S/4HANA リリース、または以前の SAP BW リリースから現在の SAP BW/4HANA リリースへの移行を意味する。このサービスコンポーネントは、単独では非管理対象システムの変換アプローチであり、SAP による計画および調整なしで技術的実行のサポートのみを顧客に提供する。したがって、すべての関係者間の通信はチケットベースでのみ行われる。任意のデータベースから SAP HANA へのデータベース移行に関連する Database Migration Option は、このサービスには含まれず、必要に応じて別途依頼する必要がある。このサービスには、SAP のみが提供できるタスクなど、システム変換のための SUM ツールの準備および実行が含まれる。システム変換（機能変換、変換前および変換後の作業）の全体的な責任は顧客に委ねられており、このサービスには含まれない。この項目には、nZDT/ZDO/ダウンタイム最小化など、より高度なシステム変換アプローチの使用は含まれない。この標準システム変換アプローチでは、標準的な計画ダウンタイムが必要である。このサービスコンポーネントは、単独では管理対象外かつチケットベースのシステム変換アプローチであるため、対応する計画サービスの追加（技術的なシステム変換の計画および調整）が必要である。他の SAP サービスの統合（機能的な変換および変換前と変換後の作業）も推奨される。このサービスは、システム変換の実行ごとに個別に注文する必要がある。SAP ECC および SAP BW システムにのみ適用できる。	
565		NetWeaver ベースシステムの変換の実行			
566	MOVE_1.7.01	SAP S/4HANA Foundation への技術的なシステム変換の計画および調整	追加サービス	このサービスは、技術的なシステム変換に加えて強く推奨される。この管理対象システムの変換アプローチは、技術的な変換の本稼働カットオーバー計画を含むシステム変換の技術的実行のための専任チーム、部分的な計画および調整を顧客に提供する。したがって、このサービスには、技術的な計画ワークショップと、顧客の全体的な計画に対する技術的なシステム変換作業の統合が含まれる。システム変換（機能変換、変換前および変換後の作業）の全体的な責任は顧客に委ねられており、このサービスには含まれない。このサービスは、変換の実行ごとに個別に注文する必要がある。この計画および調整サービスがシステム変換の実行に対して実施されたら、変換プロジェクトの期間全体にわたり、それ以降のすべての変換の実行に対して依頼する必要がある。このサービスは、SAP GTS 11.0 に適用される。その他の SAP 製品は、要求があった場合のみ変更されることがある。	
567	MOVE_1.7.02	NetWeaver システムから SAP S/4HANA Foundation への技術的なシステム変換	追加サービス	「システム変換」という用語は、従来の SAP NetWeaver ベースのシステムから現在の SAP S/4HANA Foundation リリースへの移行を意味する。このサービスコンポーネントは、単独では非管理対象システムの変換アプローチであり、SAP による計画および調整なしで技術的実行のサポートのみを顧客に提供する。したがって、すべての関係者間の通信はチケットベースでのみ行われる。任意のデータベースから SAP HANA へのデータベース移行に関連する Database Migration Option は、このサービスには含まれず、必要に応じて別途依頼する必要がある。このサービスには、SAP のみが提供できるタスクなど、システム変換のための SUM ツールの準備および実行が含まれる。システム変換（機能変換、変換前および変換後の作業）の全体的な責任は顧客に委ねられており、このサービスには含まれない。この項目には、nZDT/ZDO/ダウンタイム最小化など、より高度なシステム変換アプローチの使用は含まれない。この標準システム変換アプローチでは、標準的な計画ダウンタイムが必要である。このサービスコンポーネントは、単独では管理対象外かつチケットベースのシステム変換アプローチであるため、対応する計画サービスの追加（技術的なシステム変換の計画および調整）が必要である。他の SAP サービスの統合（機能的な変換および変換前と変換後の作業）も推奨される。このサービスは、システム変換の実行ごとに個別に注文する必要がある。SAP GTS 11.0 に適用できる。その他の SAP 製品は、要求があった場合のみ変更されることがある。	
568		機能変換作業			
569	MOVE_1.3.03	機能変換および変換プロジェクト管理	対象外タスク	機能変換のすべてのコンポーネント、変換前の作業、変換後の作業、ならびにプロジェクトおよび計画の全体的な責任は除外される。システム変換のサービスには、顧客のビジネスプロセスの調整および再設計、または顧客固有の機能要件に対する変更もしくは調整は含まれない。これには、顧客ベンダー統合、元帳の変更と移行、シンプル化項目の処理、カスタムコードの改善などのタスクが含まれる。また、システム変換サービスには、技術的変換の前後の作業は含まれない。これには、変換後に発生する可能性があるユーザー権限または特別な要件の準備およびクリーンアップ作業、プロセスの最適化、トレーニングおよびカスタマイズは含まれない。これらの作業は、サービスのスコープに含まれない。顧客は、変換プロジェクトと、結果として生じる全体的な計画について全体的な責任を負う。	

570		I - DBAAS - Database as a Service (別称 DBaaS)	このサービスでは、SAP 以外のアプリケーションのインストールと実行 (IaaS) などのためのデータベースを提供する。本セクションは、管理対象の SAP システムランドスケープの実行に使用されるサーバーインフラストラクチャーには適用されない。インフラストラクチャーに関連するサービスは、デプロイされたインフラストラクチャープラットフォーム (ハイパーケーラーなど) により異なる場合がある。		
571		DBaaS カスタム (SAP 以外の) アプリケーション管理			
572	TO_DBAAS_1.1.01	アプリケーション要件の明確化	対象外タスク		該当せず n/a
573	TO_DBAAS_1.1.02	顧客固有のソフトウェアライセンスの提供	対象外タスク		該当せず n/a
574	TO_DBAAS_1.1.03	アプリケーションのインストール	対象外タスク		該当せず n/a
575	TO_DBAAS_1.1.04	アプリケーションの運用	対象外タスク		該当せず n/a
576	TO_DBAAS_1.1.05	パッチおよびセキュリティ更新プログラムのインストール	対象外タスク		該当せず n/a
577	TO_DBAAS_1.1.06	アプリケーションの監視	対象外タスク		該当せず n/a
578		DBaaS SAP Adaptive Server Enterprise (ASE)			
579	TO_DBAAS_1.2.01	データベースリリース管理に関する推奨事項の提供	標準サービス	運用経験や SAP Product Development から提供された情報に基づいて、推奨されるデータベースリリースに関するガイダンスを提供する。	該当せず n/a
580	TO_DBAAS_1.2.02	データベース容量を拡大するためのデータベース拡張の実行	オプションのサービス		該当せず n/a
581	TO_DBAAS_1.2.03	データベースの起動/停止	標準サービス		該当せず n/a
582	TO_DBAAS_1.2.04	データベースソフトウェアのアップグレードを実行する	標準サービス		該当せず n/a
583	TO_DBAAS_1.2.05	ASE へのデータベースパッチの適用	標準サービス		該当せず n/a
584	TO_DBAAS_1.2.06	データベースバックアップを実行する (定期的なデータベースおよびログのバックアップ)	標準サービス	バックアップポリシーとデータベース保持ポリシーに従う。システムとユーザーのデータベース用に十分なコピーが維持されるようにする。	該当せず n/a
585	TO_DBAAS_1.2.07	技術的な問題が発生した後のデータベースの復元と回復	標準サービス		該当せず n/a
586	TO_DBAAS_1.2.08	dbcc (データベース整合性チェック) を実行する	標準サービス	顧客が dbcc 整合性チェックを可能とする保守時間帯を確実に提供するようにする。	該当せず n/a
587	TO_DBAAS_1.2.09	設定のセットアップ/変更に対するデータベースの適応	対象外タスク		該当せず n/a
588	TO_DBAAS_1.2.10	古いログファイルのクリーンアップ	標準サービス		該当せず n/a
589	TO_DBAAS_1.2.11	サーバーレベルの設定パラメータの更新管理	標準サービス	標準の変更管理ポリシーに従う。	該当せず n/a
590	TO_DBAAS_1.2.12	テクニカル運用での問題を検出するための、データベースリソースの消費状況の監視 (メモリー、CPU、ストレージ)	標準サービス	タスクの出力情報はキャパシティ管理に反映される。最適化に関する推奨事項も SAP Enterprise Support サービスを介して得られる場合がある。	該当せず n/a
591	TO_DBAAS_1.2.13	データベースに技術的な問題がないかを監視、データベースの技術的な障害を分析して解決	標準サービス		該当せず n/a
592	TO_DBAAS_1.2.14	問題を解決し、データベースを正常な動作状態に戻すためのシステムのトラブルシューティング (ブロックされたトランザクションなど)	対象外タスク		該当せず n/a
593	TO_DBAAS_1.2.15	統計パフォーマンスデータの生成のための定期的な統計データベースコレクターのスケジュール設定	対象外タスク		該当せず n/a
594	TO_DBAAS_1.2.16	データベースの断片化を排除するための再編成の実施	対象外タスク		該当せず n/a
595	TO_DBAAS_1.2.17	データベースパラメーターの更新 - 静的および動的	対象外タスク		該当せず n/a
596	TO_DBAAS_1.2.18	オブティマイザー統計を作成してチェックし、データベースパフォーマンスを維持する	対象外タスク		該当せず n/a
597	TO_DBAAS_1.2.19	SAP ASE データベース上での SAP ASE データベースの暗号化の実施	標準サービス		該当せず n/a
598	TO_DBAAS_1.2.21	テクニカル運用での問題を検出するための、データベースリソースの消費状況の監視	標準サービス	タスクの出力情報はキャパシティ管理に反映される。最適化に関する推奨事項も SAP Enterprise Support サービスを介して得られる場合がある。	該当せず n/a
599	TO_DBAAS_1.2.22	テーブルの増大を監視して運用上の問題を未然に防止し、サービスが契約上のサイズ範囲に収まるようにする	対象外タスク		該当せず n/a
600	TO_DBAAS_1.2.23	テーブル管理 - ロックスキーム、パーティショニングテーブル (技術的実行)	対象外タスク		該当せず n/a
601	TO_DBAAS_1.2.24	テーブルの分割 (技術的実行) - 追加要求	対象外タスク		該当せず n/a
602	TO_DBAAS_1.2.25	問題を回避するためのテーブル拡張パラメーターの監視	対象外タスク		該当せず n/a
603	TO_DBAAS_1.2.26	アプリケーションテーブル用のインデックスの作成	対象外タスク		該当せず n/a
604	TO_DBAAS_1.2.27	データベースの縮小	対象外タスク		該当せず n/a
605	TO_DBAAS_1.2.28	ASE 環境向けの監視、アラート、バックアップ、分析の目的での、サードパーティーツール、クライアントソフトウェア (ODBC、JDBC など) の管理、トラブルシューティング	対象外タスク		該当せず n/a
606		DBaaS SAP Replication Server (SRS)			
607	TO_DBAAS_1.3.01	新規の Replication Server (SRS) のインストール	標準サービス	契約に、ソリューションの一部として専用のスタンバイデータベースが明示的に含まれている場合に限る。マルチノードセットアップについてはスコープ外。	該当せず n/a

608	TO_DBAAS_1.3.02	Sybase HA/DR Always-On オプションを使用して、ASE と ASE 間に同期レプリケーションをセットアップ	標準サービス		該当せず	n/a
609	TO_DBAAS_1.3.03	Multi-Site Availability (MSA) を使用して、ASE と ASE 間に非同期レプリケーションをセットアップ	標準サービス		該当せず	n/a
610	TO_DBAAS_1.3.04	レプリケーションソフトウェアのアップグレードの実行	標準サービス	運用経験や SAP Product Development から提供された情報に基づいて、推奨されるデータベースリリースに関するガイダンスを提供する。	該当せず	n/a
611	TO_DBAAS_1.3.05	RSSD データベースサーバーの管理	標準サービス		該当せず	n/a
612	TO_DBAAS_1.3.06	高可用性を確保するためのスタンバイデータベースの管理	標準サービス		該当せず	n/a
613	TO_DBAAS_1.3.07	顧客の要請に応じて、高可用性のためのスタンバイデータベースをテストする (DR フェイルオーバーテスト)	追加サービス		該当せず	n/a
614	TO_DBAAS_1.3.08	レプリケーション環境向けの監視、アラートの目的での、サードパーティーツールの管理、トラブルシューティング	対象外タスク		該当せず	n/a
615	TO_DBAAS_1.3.09	データベーススキーマのエクスポート/インポート	対象外タスク		該当せず	n/a
616		DBaaS SAP IQ				
617	TO_DBAAS_1.4.01	データベースリリース管理に関する推奨事項の提供	標準サービス	SAP HANA での運用経験や SAP Product Development から提供された情報に基づいて、推奨されるデータベースリリースに関するガイダンスを提供する。	該当せず	n/a
618	TO_DBAAS_1.4.02	データベース容量を拡大するためのデータベース拡張の実行	標準サービス		該当せず	n/a
619	TO_DBAAS_1.4.03	データベースの起動/停止	標準サービス		該当せず	n/a
620	TO_DBAAS_1.4.04	IQ 用の初期設定/パラメーター設定	標準サービス		該当せず	n/a
621	TO_DBAAS_1.4.05	IQ 用のデータベースキャパシティ管理	標準サービス		該当せず	n/a
622	TO_DBAAS_1.4.06	データベースソフトウェアのアップグレードを実行する	標準サービス		該当せず	n/a
623	TO_DBAAS_1.4.07	IQ へのデータベースパッチの適用	標準サービス		該当せず	n/a
624	TO_DBAAS_1.4.08	IQ 用の dbcc (データベース整合性チェック)	標準サービス	顧客が dbcc 整合性チェックを可能とする保守時間帯を確実に提供するようにする。	該当せず	n/a
625	TO_DBAAS_1.4.09	シンプレックスおよびマルチプレックス環境に対する IQ 上の技術的なデータベースの問題のトラブルシューティング	標準サービス	IQ インスタンスのクラッシュに限定。	該当せず	n/a
626	TO_DBAAS_1.4.10	データベースバックアップを実行する (定期的なデータベースおよびログのバックアップ)	標準サービス		該当せず	n/a
627	TO_DBAAS_1.4.11	古いログファイルのクリーンアップ	標準サービス		該当せず	n/a
628	TO_DBAAS_1.4.12	IQ での障害後のバックアップの復元	標準サービス		該当せず	n/a
629	TO_DBAAS_1.4.13	IQ でのオンデマンドのバックアップの復元	標準サービス		該当せず	n/a
630	TO_DBAAS_1.4.14	IQ でのデータベース接続の監視	標準サービス	顧客はアプリケーション側からの接続を確認する必要がある。	該当せず	n/a
631	TO_DBAAS_1.4.15	テクニカル運用での問題を検出するための、IQ データベースリソースの消費状況の監視 (メモリー、CPU、ストレージ)	標準サービス	タスクの出力情報はキャパシティ管理に反映される。最適化に関する推奨事項も SAP Enterprise Support サービスを介して得られる場合がある。	該当せず	n/a
632	TO_DBAAS_1.4.16	データベースに技術的な問題がないかを監視、IQ データベースの技術的な障害を分析して解決	標準サービス		該当せず	n/a
633	TO_DBAAS_1.4.17	システムのトラブルシューティングにより問題を解決し、データベースを正常な動作状態に戻す	標準サービス		該当せず	n/a
634	TO_DBAAS_1.4.18	統計パフォーマンスデータの生成のための定期的な統計データベースコレクターのスケジュール設定	対象外タスク		該当せず	n/a
635	TO_DBAAS_1.4.19	データベースパラメーターの更新 - 静的および動的	標準サービス	ベンダーの推奨事項とプロバイダーの標準に基づく。ユーザーデータベースに対する変更の維持。	該当せず	n/a
636	TO_DBAAS_1.4.21	テクニカル運用での問題を検出するための、データベースリソースの消費状況の監視	標準サービス	タスクの出力情報はキャパシティ管理に反映される。最適化に関する推奨事項も SAP Enterprise Support サービスを介して得られる場合がある。	該当せず	n/a
637	TO_DBAAS_1.4.22	テーブルの増大を監視して運用上の問題を未然に防止し、サービスが契約上のサイズ範囲に収まるようにする	標準サービス	監視およびアラートは自動システムを介して実行される。データの増大制限に関する推奨事項も SAP Enterprise Support サービスを介して得られる場合がある。	該当せず	n/a
638	TO_DBAAS_1.4.23	マルチプレックス環境向けの IQ の管理	標準サービス		該当せず	n/a
639	TO_DBAAS_1.4.24	IQ 環境向けの監視、アラート、バックアップ、分析の目的での、サードパーティーツールの管理、トラブルシューティング	対象外タスク		該当せず	n/a
640	TO_DBAAS_1.4.25	SAP IQ データベースアーキテクチャーの変更	オプションのサービス	シンプレックスからマルチプレックスへ、またはその逆。ノードの追加/削除。	該当せず	n/a
641		DBaaS SAP HANA				
642	TO_DBAAS_1.5.01	データベースリリース管理に関する推奨事項の提供	標準サービス	サービスプロバイダーが、運用経験や SAP Product Development から提供された情報に基づいて、推奨されるデータベースリリースに関するガイダンスを提供する。	該当せず	n/a
643	TO_DBAAS_1.5.02	バックアップ作業などのための、ファイルシステムの拡張の計画と実行	標準サービス	追加のインフラストラクチャー消費は CR が必要。	該当せず	n/a
644	TO_DBAAS_1.5.03	HANA ログおよびトレースファイル (トレース、統計ファイルなど) をクリーンアップしてキャパシティを解放し、HANA システムをクリーンで正常な状態に維持	標準サービス		該当せず	n/a
645	TO_DBAAS_1.5.04	SAP HANA および SAP HANA XS の技術的設定パラメーターの、標準や推奨に基づく更新管理	標準サービス		該当せず	n/a
646	TO_DBAAS_1.5.05	データベースの起動/停止	標準サービス		該当せず	n/a

647	TO_DBAAS_1.5.06	SAP HANA データベースソフトウェアのアップデート	標準サービス	メンテナンスのための追加のダウンタイムが必要。HA ノードのあるシステムでは、デフォルトで ZDO/ダウンタイム最小化などの高度なアップデート手法の使用を含む。「アップデート」という用語は、ホストされている SAP ソフトウェアの新規マイナーリリースに対する変更を表し、通常は主にバグフィックスや小規模の拡張を指す。データベースクライアントの更新は、SAP アプリケーションカーネルの更新手法に統合されている。	該当せず	n/a
648	TO_DBAAS_1.5.07	SAP HANA のバージョンアップグレード	標準サービス	HANA システムから、最新のサポートバックレベルにある HANA MDC システムへ。また、レプリケーションモードを CLR に設定。「バージョンアップグレード」という用語は、ホストされている SAP ソフトウェアの新規メジャーリリースへの変更を表し、通常は機能の拡張を含む。SAP HANA での運用経験や SAP Product Development から提供された情報に基づいて、推奨されるデータベースリリースに関するガイダンスを提供する。	該当せず	n/a
649	TO_DBAAS_1.5.08	データベース整合性チェック (DBCC) の実行	標準サービス	顧客が dbcc 整合性チェックを可能とする保守時間帯を確実に提供するようにする。	該当せず	n/a
650	TO_DBAAS_1.5.09	システムデータベースに対するデータベースバックアップの実行 (定期的なフルバックアップおよびログバックアップ)	標準サービス	バックアップポリシーに従ったバックアップスケジュール	該当せず	n/a
651	TO_DBAAS_1.5.10	ユーザーデータベースに対するデータベースバックアップの実行 (定期的なフルバックアップおよびログバックアップ)	標準サービス	バックアップポリシーに従ったバックアップスケジュール	該当せず	n/a
652	TO_DBAAS_1.5.11	技術的な問題が発生した後の SAP HANA システムデータベースの復元と回復	標準サービス		該当せず	n/a
653	TO_DBAAS_1.5.12	技術的な問題が発生した後の SAP HANA ユーザーデータベースの復元と回復	標準サービス	顧客の要請による復元は追加費用で提供される。	該当せず	n/a
654	TO_DBAAS_1.5.13	テクニカル運用での問題を検出するための、データベースリソースの消費状況の監視	標準サービス	タスクの出力情報はキャパシティ管理に反映される。最適化に関する推奨事項も SAP Enterprise Support サービスを介して得られる場合がある。	該当せず	n/a
655	TO_DBAAS_1.5.14	テーブルの分割 (技術的実行)	標準サービス	大量のテーブル増大の結果として必要な場合。SID ごとに 1 つのテーブルでの年 1 回の実行が含まれる。それ以上の要請は別途請求される。	該当せず	n/a
656	TO_DBAAS_1.5.15	テーブルの分割 (技術的実行) - 追加要求	追加サービス	追加のテーブル分割依頼の作業。	該当せず	n/a
657	TO_DBAAS_1.5.16	テーブル配置ルールに基づくデータベーステーブルの再配分 (技術的実行)	標準サービス	アプリケーションの依存関係が関わる要件の場合 (1 つのホストから別のホストへのマニュアルでのテーブル移動やテーブル分割など)	該当せず	n/a
658	TO_DBAAS_1.5.17	行ストア/列ストアの移行の実行: 技術的実行のみ	標準サービス	顧客の要請に応じて。実行当事者はサービスプロバイダーと顧客の間で相互に合意される。大きな SAP テーブルの移行はサービスプロバイダーによって実行される。顧客は希望に応じて自身のテーブルに対するタスクを実行できる。顧客の承認に基づいて追加のダウンタイムが必要となる。	該当せず	n/a
659	TO_DBAAS_1.5.18	データベースのデフラグメンテーション (データボリュームの再生利用)	標準サービス		該当せず	n/a
660	TO_DBAAS_1.5.19	データベースロストアの断片化	標準サービス		該当せず	n/a
661	TO_DBAAS_1.5.20	データベースに技術的な問題がないかを監視、データベースの技術的な障害を分析して解決	標準サービス		該当せず	n/a
662	TO_DBAAS_1.5.21	SAP HANA の容量を調整するための、SAP HANA のノードの追加/削除	オプションのサービス	HANA のスケールアウト構成のみが対象。キャビネット内に追加のハードウェアが必要となる場合があり、それをプロビジョニングする必要がある。	該当せず	n/a
663	TO_DBAAS_1.5.22	既存の SAP HANA データマートに対する追加のスキーマの作成	標準サービス	テナント内のスキーマはデフォルトでは顧客の責任となり、それ以外の場合は請求対象。	該当せず	n/a
664	TO_DBAAS_1.5.24	SAP HANA データベースアーキテクチャの変更 (シングルノードからマルチノードへ、またはその逆)	オプションのサービス	シングルノードからマルチノードへ、およびその逆の場合は、HANA サービスの追加/削除などの追加ステップが必要となり、ハードウェアの移行として扱われる。	該当せず	n/a
665	TO_DBAAS_1.5.25	高可用性のためのスタンバイデータベースの管理 (HANA システムレプリケーション)	標準サービス	本稼動システムについてのみ実施する。専用のスタンバイデータベースがソリューションの一部として契約に明示的に含まれている場合のみ。マルチノードセットアップについてはスコープ外。フェイルオーバーテストは、システムごとの定期的な実施は行われない。	該当せず	n/a
666	TO_DBAAS_1.5.27	問題を解決し、SAP HANA を正常な動作状態に戻すためのシステムのトラブルシューティング (ブロックされたトランザクションなど)	対象外タスク		該当せず	n/a
667	TO_DBAAS_1.5.28	ユーザー、役割、および権限の管理 (技術系ユーザーおよび管理ユーザー)	標準サービス		該当せず	n/a
668	TO_DBAAS_1.5.29	暗号化された HANA データベースのセットアップと運用	標準サービス		該当せず	n/a
669	TO_DBAAS_1.5.30	SAP HANA データベース上での SAP HANA データベースの暗号化の実施	標準サービス	データベースの再インストールには、ダウンタイムが必要。使用するストレージを追加する場合は、変更依頼 (CR) の対象となる。	該当せず	n/a
670	TO_DBAAS_1.5.31	SAP HANA データベース上での SAP HANA ログの暗号化の実施	標準サービス		該当せず	n/a
671	TO_DBAAS_1.5.32	SAP HANA System Replication (HSR) 上でのセキュアな通信の設定	標準サービス	HANA 2.0 ではデフォルトで利用可能。HANA 1.0 についてののみ、EarlyWatch Alert により System Replication の通信のセキュリティ保護が推奨されているか、テナントを別のシステムに移す必要がある場合に、明示的に必要となる。	該当せず	n/a
672	TO_DBAAS_1.5.33	SAP HANA 高速再起動オプションの有効化	標準サービス		該当せず	n/a
673	TO_DBAAS_1.5.34	SAP HANA 高速再起動オプションの無効化	標準サービス		該当せず	n/a
674	TO_DBAAS_1.5.35	SAP HANA XS の技術的設定パラメーターの、SAP の標準と推奨に基づく更新管理	標準サービス		該当せず	n/a
675	TO_DBAAS_1.5.36	アプリケーションランタイム設定の更新管理	標準サービス		該当せず	n/a
676	TO_DBAAS_1.5.37	信頼関係の管理	標準サービス		該当せず	n/a

677	TO_DBAAS_1.5.38	SAML プロバイダーの更新管理	標準サービス		該当せず	n/a
678	TO_DBAAS_1.5.39	SMTP サーバー設定の更新管理	標準サービス		該当せず	n/a
679	TO_DBAAS_1.5.40	SAP HANA への HTTP アクセスの更新管理	標準サービス		該当せず	n/a
680	TO_DBAAS_1.5.41	ユーザーのセルフサービスツールの更新管理	標準サービス		該当せず	n/a
681	TO_DBAAS_1.5.42	SAP HANA XS アプリケーション用の HTTP トレースの更新管理	標準サービス		該当せず	n/a
682	TO_DBAAS_1.5.43	HANA サーバーと併せてインストール	オプションのサービス		該当せず	n/a
683	TO_DBAAS_1.5.44	すでにインストールされている HANA サーバーのアドオンとしての、XSA コンポーネントのインストール	オプションのサービス		該当せず	n/a
684	TO_DBAAS_1.5.45	XSA サービスおよびそのアプリケーションの監視	オプションのサービス	選択された場合、上位集合が監視に含まれる。	該当せず	n/a
685	TO_DBAAS_1.5.46	論理データベースのセットアップ (テナントデータベースの登録)	標準サービス		該当せず	n/a
686	TO_DBAAS_1.5.47	XSA 用の初期管理ユーザーのセットアップ	オプションのサービス		該当せず	n/a
687	TO_DBAAS_1.5.48	XSA 固有ファイルのバックアップおよび復元	オプションのサービス	災害回復サービスパッケージが必要。	該当せず	n/a
688	TO_DBAAS_1.5.48X	XSA のアップグレード	オプションのサービス	アドオンが含まれる。	該当せず	n/a
689	TO_DBAAS_1.5.48X1	XSA のアップグレードに対する顧客固有の事前/事後作業	対象外タスク		該当せず	n/a
690	TO_DBAAS_1.5.49	サービスプロバイダーがインストールし、顧客が構築したアプリケーション用の Web ディスパッチャーの設定	標準サービス		該当せず	n/a
691	TO_DBAAS_1.5.50	ファイルシステムストレージを使用している場合の、カスタムアプリケーションのバックアップ	対象外タスク		該当せず	n/a
692	TO_DBAAS_1.5.51	ファイルシステムストレージを使用した顧客構築アプリケーションの復元、ただしその前にバックアップが有効化されていることが前提	対象外タスク		該当せず	n/a
693	TO_DBAAS_1.5.52	データプロビジョニングサーバーのイネーブルメント	オプションのサービス	データプロビジョニングサーバーはネイティブの SAP HANA プロセスである。データプロビジョニングサーバーは、SAP HANA のクラスターで実行されるインデックスサーバーのバリエーションとして構築され、その他の SAP HANA サービスと同様に管理および監視される。データプロビジョニングサーバーは SAP HANA サーバーと共にインストールされるが、SAP HANA サーバー内で有効化されなければならない。	該当せず	n/a
694	TO_DBAAS_1.5.53	データプロビジョニングエージェントのインストール、設定および登録	オプションのサービス		該当せず	n/a
695	TO_DBAAS_1.5.54	Smart Data Quality (SDQ) のセットアップ	オプションのサービス	SDQ をデプロイし、SAP Service Market Place から Address and Data Cleansing パッケージをダウンロードして、SAP HANA サーバーから設定をダウンロードする。顧客が自分でアドレスディレクトリをアップロードできるように、SFTP アクセスがセットアップされる。	該当せず	n/a
696	TO_DBAAS_1.5.55	Agile Data Preparation (ADP) のセットアップ	オプションのサービス	ADP については、SDQ、ESS、および HRF がデプロイされ、関連するユーザーおよび権限のセットアップが行われる必要がある。	該当せず	n/a
697	TO_DBAAS_1.5.56	DP エージェント - 高可用性のセットアップ	オプションのサービス	DP エージェントは、追加ノード上でシャドウインスタンスをプロビジョニングすることによって、「高可用性」でセットアップできる。ただし、契約に明示的に記載されている場合にのみ実行される。	該当せず	n/a
698	TO_DBAAS_1.5.57	SAP HANA に対するカスタムアダプターのデプロイ	オプションのサービス	標準アダプターおよびカスタムアダプターのリストについては、SAP Help Portal にある SDI ガイドを参照	該当せず	n/a
699	TO_DBAAS_1.5.59	高可用性のためのスタンバイアプリケーションインスタンスの管理	標準サービス	本稼働システムについてのみ実施する。専用のスタンバイデータベースがソリューションの一部として契約に明示的に含まれている場合のみ。マルチノードセットアップについてはスコープ外。フェイルオーバーテストは、システムごとの定期的な実施は行われない。	該当せず	n/a
700	TO_DBAAS_1.5.60	データベーススキーマのエクスポート/インポート	対象外タスク		該当せず	n/a
701	TO_DBAAS_1.5.61	顧客側での HANA 開発用の XSA のセットアップ/設定	対象外タスク		該当せず	n/a
702	TO_DBAAS_1.5.62	HANA 開発用の XS-CLI ツールの設定	対象外タスク		該当せず	n/a
703	TO_DBAAS_1.5.63	HANA 開発向けのユーザー管理	対象外タスク		該当せず	n/a
704	TO_DBAAS_1.5.64	顧客が構築したアプリケーションのサポート	対象外タスク		該当せず	n/a
705	TO_DBAAS_1.5.65	顧客が構築したアプリケーションの可用性監視	対象外タスク		該当せず	n/a
706	TO_DBAAS_1.5.66	復元後のタスク確認およびカスタムアプリケーションの接続	対象外タスク		該当せず	n/a
707	TO_DBAAS_1.5.67	FlowGraph ジョブのバックアップ	対象外タスク		該当せず	n/a
708	TO_DBAAS_1.5.68	レプリケーションタスクのバックアップ	対象外タスク		該当せず	n/a
709	TO_DBAAS_1.5.70	SAP HANA Studio における HANA モデリングのためのユーザーの作成/変更	パッケージサービス		アプリケーション運用	A1
710	TO_DBAAS_1.5.71	ユーザー、役割、および権限の管理 (非技術ユーザー)	パッケージサービス	顧客は、SAP HANA のロール CUST_USER_ROLE_ADMIN について、そのオーナーとなり責任を負う。	アプリケーション運用、ユーザー管理	A1,S2

711	TO_DBAAS_1.5.72	XS ジョブのスケジュール設定	パッケージサービス		アプリケーション運用	A1
712	TO_DBAAS_1.5.73	Agile Data Preparation (ADP) の管理	パッケージサービス	エクスポートオプション、ワークシートの有効期限、パスワード機能、ウェアハウスワークスペース、およびキューのサイズとポリシーを設定。	アプリケーション運用	A1
713	TO_DBAAS_1.5.74	レプリケーション、フェデレーション、および変換のセットアップ	パッケージサービス		アプリケーション運用	A1
714	TO_DBAAS_1.5.75	SAP HANA に対する標準アダプターのデプロイ	標準サービス	標準アダプターおよびカスタムアダプターのリストについては、SAP Help Portal にある SDI ガイドを参照	該当せず	n/a
715	TO_DBAAS_1.5.76	データプロビジョニングのタスクとリモートサブスクリプションの監視	パッケージサービス		アプリケーション運用	A1
716	TO_DBAAS_1.5.77	リモートサブスクリプションの例外の処理	パッケージサービス		アプリケーション運用	A1
717	TO_DBAAS_1.5.79	サーバーへのログインを作成、ユーザーデータベースに追加	パッケージサービス		アプリケーション運用、ユーザー管理	A1,S2
718	TO_DBAAS_1.5.80	ユーザー、役割、および権限の管理 (データベースユーザー)	パッケージサービス	顧客は、ユーザーの役割に対する所有権と責任を有する。	アプリケーション運用、ユーザー管理	A1,S2
719	TO_DBAAS_1.5.81	HANA プラグインのインストールまたは更新	標準サービス	選択した HANA データベースでの HANA プラグインのインストールまたは更新に使用される。	該当せず	n/a
720	TO_DBAAS_1.5.82	SAP HANA クライアントのインストールまたはアップデート	標準サービス	アプリケーションインスタンスおよび非 SAP HANA システムで SAP HANA クライアントソフトウェアをインストールまたは更新する。本稼動システムおよび非本稼動システムに適用される。	該当せず	n/a
721		X1 - サードパーティソフトウェア				
722		サードパーティソフトウェア (パートナーのアドオン、ライブラリー、クライアントソフトウェアなど。本書の他のセクションおよび顧客の契約で明示的にマネージドサービスと示されているソリューションには適用されない)	ベースラインサービスには含まれず、追加の SKU および/または契約が必要となる。顧客は、管理対象システムを使用するため、該当するサードパーティソフトウェアの適切なライセンスを確保する責任があります。管理対象システムにおけるサードパーティソフトウェアとは、SAP が知的財産権を保有していないすべてのソフトウェアソリューションを指します。各サードパーティソリューションの SAP との技術的および運用上の互換性は、顧客が個別に確認する必要があります。サービスプロバイダーは、これらのサードパーティソリューションによって生じた管理対象システムおよび基盤インフラプラットフォームへの悪影響については、一切責任を負いません。			
723		管理対象のサードパーティ ABAP アドオン				
724	TO_PA_1.1.01	インストール	標準サービス			*
725	TO_PA_1.1.02	設定	対象外タスク			*
726	TO_PA_1.1.03	アプリケーションの監視	対象外タスク			*
727	TO_PA_1.1.04	アップデートの適用	標準サービス			*
728	TO_PA_1.1.05	アプリケーションのトラブルシューティング (パートナーのサポート組織とのエンゲージメントを含む)	対象外タスク			*
729	TO_PA_1.1.06	ABAP アドオンのアンインストール	標準サービス			*
730		管理対象外のサードパーティ ABAP アドオン				
731	TO_PA_1.2.01	インストール	対象外タスク			*
732	TO_PA_1.2.02	設定	対象外タスク			*
733	TO_PA_1.2.03	アプリケーションの監視	対象外タスク			*
734	TO_PA_1.2.04	アップデートの適用	対象外タスク			*
735	TO_PA_1.2.05	アプリケーションのトラブルシューティング (パートナーのサポート組織とのエンゲージメントを含む)	対象外タスク			*
736		その他の管理対象外のサードパーティソフトウェア	管理対象のインフラストラクチャー上に全体としてまたは部分的にインストールすることを求められたいかなるタイプのサードパーティソフトウェアも、事前の評価を受ける必要がある。このプロセスの詳細および条件は、それぞれのサードパーティソフトウェアポリシーに記載されている。			
737	TO_PA_1.3.01	サードパーティソフトウェアの評価	標準サービス	このタスクは、完了までに数週間を要する可能性がある。以前に完了した評価の結果は再利用され、プロセス実行時間の削減につながる。		*
738	TO_PA_1.3.02	顧客による実行が不可能な複雑なサードパーティソフトウェアのインストール	追加サービス	例: OS エージェント (プリンタードライバー、Java アドオンなど)		*
739		X2 - Business Connector				
740		運用				
741	TO_BC_1.1.01	SSL 有効化	標準サービス			*
742	TO_BC_1.1.02	SAP Business Connector パラメーターの更新	標準サービス			*
743	TO_BC_1.1.03	SAP Business Connector の管理者ユーザーの作成/リセット	標準サービス	顧客がログインに使用するユーザー CUST_BC_ADMIN を作成/リセットする。		*
744	TO_BC_1.1.04	メッセージストアの再編成	対象外タスク	タスクには顧客データの編集、変更、および/または操作が含まれ、顧客のみが実行する必要がある。		*
745	TO_BC_1.1.05	宛先の作成	対象外タスク			*
746		X4 - SAP Data Services (DS)				
747		運用				

748	TO_DS_1.1.22	権限付与 - ユーザーと権利の管理	パッケージサービス		アプリケーション運用, Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
749	TO_DS_1.1.06	Data Services ジョブの作成/変更	パッケージサービス		アプリケーション運用, Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
750	TO_DS_1.1.07	Data Services ジョブのスケジュール設定	パッケージサービス		アプリケーション運用, Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
751	TO_DS_1.1.08	データベース接続の設定	パッケージサービス		アプリケーション運用, Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
752	TO_DS_1.1.09	ジョブの監視	パッケージサービス	手動監視：その都度行う作業。	アプリケーション運用, Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
753	TO_DS_1.1.10	DS および BOE のリポジトリバックアップ	標準サービス		該当せず	n/a
754	TO_DS_1.1.11	バッチジョブ履歴の削除	パッケージサービス		アプリケーション運用, Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
755	TO_DS_1.1.12	ジョブサーバーとアクセスサーバーが稼動中であることを確認	標準サービス		該当せず	n/a
756	TO_DS_1.1.13	古くなったリポジトリコンテンツの削除	標準サービス		該当せず	n/a
757	TO_DS_1.1.14	DS ジョブに関する問題のトラブルシューティング	パッケージサービス		アプリケーション運用, Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
758	TO_DS_1.1.23	追加のリポジトリの作成/管理	標準サービス	システムにはデフォルトのリポジトリが付属している。OS アクセスが必要。支援は、タスク BASIC_1.1.14 で依頼することができる。	該当せず	n/a
759	TO_DS_1.1.26	バックアップ：オンデマンド - BI データベースとファイルリポジトリの同期	追加サービス		該当せず	n/a
760	TO_DS_1.1.27	復元：オンデマンド - BI データベースとファイルリポジトリの同期	追加サービス		該当せず	n/a
761	TO_DS_1.1.28	認証のセットアップおよびシングルサインオン (SSO) の設定	対象外タスク	クラウド環境向けの SSO ソリューションに関して、顧客は他の SAP のサービスを利用することができる。	該当せず	n/a
762	TO_DS_1.1.29	Data Services アダプターのインストールと設定	標準サービス	OS アクセスが必要。支援は、タスク BASIC_1.1.14 で依頼することができる。	該当せず	n/a

763	TO_DS_1.1.30	負荷分散のための追加のジョブサーバー/ジョブグループの追加と設定	オプションのサービス	サイジングによっては、追加のインフラストラクチャーが必要となる場合がある。	該当せず	n/a
764	TO_DS_1.1.31	ランタイムリソースの設定	標準サービス		該当せず	n/a
765	TO_DS_1.1.32	SMTP Eメールの設定	標準サービス		該当せず	n/a
766	TO_DS_1.1.33	サービスの開始/停止	標準サービス		該当せず	n/a
767	TO_DS_1.1.34	拡張移送/修正システム (CTS+) 統合のセットアップ	標準サービス	OS アクセスが必要。支援は、タスク BASIC_1.1.14 で依頼することができる。	該当せず	n/a
768	TO_DS_1.1.35	Data Services (DS) Object Promotion Management による移送依頼の設定	標準サービス		該当せず	n/a
769	TO_DS_1.1.36	インポート/エクスポートツールを使用したデータサービスリポジトリのバックアップ	標準サービス		該当せず	n/a
770	X6 - SAP BusinessObjects Business Intelligence (BI)					
771	運用					
772	TO_BI_1.1.06	バックアップ (フルコンテンツバックアップ/BIAR バックアップ)	標準サービス		該当せず	n/a
773	TO_BI_1.1.07	すべてのリポジトリエラーのスキャン/修復および圧縮	標準サービス		該当せず	n/a
774	TO_BI_1.1.11	Repository Diagnostic Tool 用に作成された空のディレクトリーのクリーンアップ	標準サービス		該当せず	n/a
775	TO_BI_1.1.26	キャッシュのクリーンアップおよびメンテナンス - Tomcat, Web Intelligence, ログファイル	標準サービス		該当せず	n/a
776	TO_BI_1.1.17	プログラムオブジェクトアクション: インポートおよび実行	パッケージサービス	OS アクセスが必要。支援は、タスク BASIC_1.1.14 で依頼することができる。	アプリケーション管理, Business Data Cloud 向け CAS	F1,C2
777	TO_BI_1.1.18	環境間での BI オブジェクトのプロモート/デプロイ	パッケージサービス		アプリケーション運用, Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
778	TO_BI_1.1.19	接続とユニバースの作成、名称変更、削除	対象外タスク		該当せず	n/a
779	TO_BI_1.1.21	ユーザーアクセスを提供し、権限を更新管理する	パッケージサービス		アプリケーション運用, Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
780	TO_BI_1.1.47	SAML 設定	パッケージサービス	OS アクセスが必要。支援は、タスク BASIC_1.1.14 で依頼することができる。	アプリケーション管理, Business Data Cloud 向け CAS	F1,C2
781	TO_BI_1.1.27	ハードウェア変更のためのテンプレートおよびシステム構成のデプロイ	標準サービス		該当せず	n/a
782	TO_BI_1.1.29	ドライバーセットアップの監査/監視および監査報告の設定	パッケージサービス	OS アクセスが必要。支援は、タスク BASIC_1.1.14 で依頼することができる。	アプリケーション管理, Business Data Cloud 向け CAS	F1,C2

783	TO_BI_1.1.30	ERP 統合のセットアップと設定の実行	パッケージサービス	OS アクセスが必要。支援は、タスク BASIC_1.1.14 で依頼することができる。	アプリケーション管理、Business Data Cloud 向け CAS	F1,C2
784	TO_BI_1.1.33	バックアップ：オンデマンド - BI データベースとファイルリポジトリの同期	追加サービス		該当せず	n/a
785	TO_BI_1.1.34	復元：オンデマンド - BI データベースとファイルリポジトリの同期	追加サービス		該当せず	n/a
786	TO_BI_1.1.35	認証のセットアップおよびシングルサインオン (SSO) の設定	対象外タスク	クラウド環境向けの SSO ソリューションに関連して、顧客は他の SAP のサービスを利用することができる。	該当せず	n/a
787	TO_BI_1.1.37	Web アプリケーションの設定 - リバースプロキシの設定	標準サービス		該当せず	n/a
788	TO_BI_1.1.38	負分散のための、追加の BI サーバーの追加と設定	オプションのサービス	追加のインフラストラクチャーを要する場合がある。	該当せず	n/a
789	TO_BI_1.1.39	サーバープロセスとサーバーグループの管理	標準サービス		該当せず	n/a
790	TO_BI_1.1.40	BI レポートのバージョン管理のための技術的タスクのセットアップ/サポート	標準サービス	顧客はレポートバージョンの更新に責任を負う。	該当せず	n/a
791	TO_BI_1.1.41	拡張移送/修正システム (CTS+) 統合のセットアップ	パッケージサービス	OS アクセスが必要。支援は、タスク BASIC_1.1.14 で依頼することができる。	アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS、Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
792		X7 - SAP PI				
793		SAP PI の導入				
794	TO_PI_1.1.01	SAP から提供されるアダプターとソフトウェアコンポーネントのインストール	標準サービス	契約/注文書に明示的に指定された項目についてのみ含まれる。これには、SAP からの次のような追加のオフリングに対しても有効：ADAPTERS for SAP NW PI 1.1、SAP NW Process Integration、business-to-business add-on 1.0、SAP NW Process Integration Secure Connectivity Add-on 1.0 これには、TPZ ファイルの ESR へのインポートのような、コンテンツの取り扱いに関する作業は含まれない。		*
795	TO_PI_1.1.02	外部パートナーによって提供されるアダプターのインストール	標準サービス	アダプターのソフトウェアとライセンスを提供する必要がある。これには、TPZ ファイルの ESR へのインポートのような、コンテンツの取り扱いに関する作業は含まれない。		*
796	TO_PI_1.1.04	SSL ビューと PSE の作成	対象外タスク			*
797		SAP PI の運用				
798	TO_PI_2.1.02	アプリケーションに固有の PI 機能の監視（メッセージング、キューなど）	パッケージサービス		アプリケーションの監視、顧客アプリケーション監視、Cloud ERP private 向け CAS	M1,M2,C1
799	TO_PI_2.1.03	PI 内でのメッセージ処理の監視（成否とパフォーマンス）	パッケージサービス		アプリケーション管理	F1
800	TO_PI_2.1.04	PI (AEX) の通信チャンネル、キュー、バックログの監視	パッケージサービス		アプリケーション管理	F1
801	TO_PI_2.1.05	BPM プロセスの監視（成否とパフォーマンス）	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS	A1,C1
802	TO_PI_2.1.06	アダプターの設定	対象外タスク			*
803	TO_PI_2.1.07	不適切なメッセージへの対処	対象外タスク			*
804	TO_PI_2.1.08	メッセージアーカイブの設定	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS	A1,C1

805	TO_PI_2.1.27	メッセージアーカイブの実行と監視	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS	A1,C1
806	TO_PI_2.1.11	役割/権限の更新管理 (SAP と初期顧客管理者の役割を除く)	パッケージサービス		アプリケーション管理	F1
807	TO_PI_2.1.16	ユーザーの更新管理を行う (SAP と初期顧客管理者の役割を除く)	パッケージサービス		ユーザー管理	S2
808	TO_PI_2.1.17	PI/BPM/AEX のハウスキーピングのセットアップ	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS	A1,C1
809	TO_PI_2.1.28	PI/BPM/AEX のハウスキーピング作業の監視	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS	A1,C1
810	TO_PI_2.1.19	PO/PI/AEX のパラメータの調整と設定	標準サービス	設定には、統合シナリオの実現化 (コンテンツ開発) は含まれない。		*
811	TO_PI_2.1.21	システムランドスケープディレクトリ (SLD) の保守管理	パッケージサービス	PI シナリオに関連。	アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS	A1,C1
812	TO_PI_2.1.21A	ECS システムランドスケープディレクトリー (SLD) から顧客の SLD へのブリッジの構成	標準サービス	SLD データは、顧客が定義する SLD インスタンスに転送される。SLD データはフィルタリングできない。		*
813	TO_PI_2.1.22	Enterprise Service Repository (ESR) に対する SAP の基本アプリケーションコンテンツアップデートの適用	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS	A1,C1
814	TO_PI_2.1.23	エラーの処理と、PI (AEX) での不適切なメッセージ処理の根本原因の分析	対象外タスク			*
815	TO_PI_2.1.24	変更 (アップグレード、パッチ、ノート) 後における PI/PO/AEX の準備状況のチェック	対象外タスク			*
816	TO_PI_2.1.25	パートナーシステムへの必要なシステム接続の設定	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS	A1,C1
817	TO_PI_2.1.26	PI オブジェクトの移送管理	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS	A1,C1
818		X8 - エンタープライズポータル				
819		運用				
820	TO_EP_1.1.01	ポータル、Unifier、Unification Server、PCD、および CM に対するアプリケーションサービスの監視	標準サービス	アプリケーションサービスのみを監視。顧客はポータルコンテンツを監視する責任を負う。		*
821	TO_EP_1.1.03	LDAP (Novell、ADS、iPlanet など) の更新管理	対象外タスク			*
822	TO_EP_1.1.04	ポータルシステムのログの分析と、発生した障害の修正	標準サービス	プロバイダーが必要な支援内容を顧客に通知する		*
823	TO_EP_1.1.05	システムランドスケープの保守、外部システム (SAP など) の接続	パッケージサービス	ポートの接続が必要。	アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS	A1,C1
824	TO_EP_1.1.07	ユーザーのマッピング	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS	A1,C1
825	TO_EP_1.1.08	役割/チャネル/iPanel の割り当て	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS	A1,C1
826	TO_EP_1.1.09	コンテンツの管理	対象外タスク			*
827	TO_EP_1.1.10	ポータルユーザーのソースデータのセットアップと更新管理	パッケージサービス		ユーザー管理	S2
828	TO_EP_1.1.11	ポータルユーザーのソースデータのロックと削除	パッケージサービス		ユーザー管理	S2
829	TO_EP_1.1.12	ロックされたポータルユーザーのリリース	パッケージサービス		ユーザー管理	S2
830	TO_EP_1.1.13	顧客固有のポータル権限プロファイルの設定と変更	パッケージサービス		役割と権限	S10

831	TO_EP_1.1.14	コンテンツリポジトリの管理	対象外タスク			*
832	TO_EP_1.1.20	POEのカスタマイズとアップグレード (すべてのコンポーネントを含む)	対象外タスク	J2EE のパスワードの設定、Java ホートの設定、サービスパックの追加。		*
833	TO_EP_1.1.22	ページ、役割、静的 HTML コンテンツのアップグレード	対象外タスク			*
834	TO_EP_1.1.23	Java サービスのメンテナンス	標準サービス	顧客は新規の Java サービスを開発し、また既存の Java サービスをカスタマイズする責任を負う。		*
835		X9 - Sybase IQ (NLS、ILM またはサードパーティーアーカイブソリューションのデータ永続化のために使用)				
836		データベースのインストール/設定				
837	TO_SIQ_1.1.01	システム要件の確認/準備 (BW リリース、SAP Notes、ソース/ターゲットのセットアップ)	対象外タスク		該当せず	n/a
838	TO_SIQ_1.1.03	初期設定/パラメーター設定	標準サービス		該当せず	n/a
839	TO_SIQ_1.1.06	BW/NLS と Sybase IQ 間の接続の初期化	標準サービス	プロバイダーが必要なセットアップを行う。顧客は、BW 側からの NLS 接続を設定する必要がある。	該当せず	n/a
840		データベースの運用				
841	TO_SIQ_1.2.02	データベースのキャパシティ管理	標準サービス		該当せず	n/a
842	TO_SIQ_1.2.04	データベース整合性チェック (DBCC) の実行	標準サービス		該当せず	n/a
843	TO_SIQ_1.2.05	データベースの技術的問題のトラブルシューティング	標準サービス		該当せず	n/a
844	TO_SIQ_1.2.06	バックアップのセットアップ	標準サービス		該当せず	n/a
845	TO_SIQ_1.2.07	バックアップの復元	標準サービス		該当せず	n/a
846	TO_SIQ_1.2.08	データベース接続の監視	標準サービス	顧客は BW 側からの接続を確認する必要がある。	該当せず	n/a
847		アプリケーション				
848	TO_SIQ_1.5.01	アーカイブソリューションサーバー用のサーバーのプロビジョニング	オプションのサービス	パートナーのソリューションで追加のサーバーが必要な場合は、この文書の「サーバープロビジョニング」セクションで詳細を確認すること。	該当せず	n/a
849		Sybase IQ に関する SAP Information Lifecycle Management (ILM)				
850	TO_SIQ_1.6.01	システム要件の確認および準備 (サイジング、SAP ノート)	対象外タスク		該当せず	n/a
851	TO_SIQ_1.6.02	NetWeaver での ILM ストアの有効化	標準サービス		該当せず	n/a
852	TO_SIQ_1.6.03	SAP IQ での ILM ストア用のパラメーターの設定	標準サービス		該当せず	n/a
853	TO_SIQ_1.6.09	ICM パラメーターのチェック	標準サービス		該当せず	n/a
854	TO_SIQ_1.6.14	本稼働システムに対するライセンスの生成とデプロイメント	標準サービス			*
855		X11 - SAP Cloud Connector				
856		インストールと設定				
857	TO_SCC_1.1.02	設定 - ロードバランサーを介したアウトバウンド接続の有効化	標準サービス	Cloud Connector から SAP Business Technology Platform のアプリケーションドメイン/IP 範囲、または SAP Business Network のドメイン/IP 範囲 (Ariba、LBN、AIN など) への接続を可能にする。		*
858	TO_SCC_1.1.04	設定 - 顧客が SAP Business Technology Platform - BTP (旧称 SAP Cloud Platform) で使用したいオンプレミスのリソース (OData サービス)	パッケージサービス	X43 - SAP Forms by Adobe (Adobe Document Services/ADS) の場合のみ : ABAP バックエンドシステム用の接続先を作成 (バーチャルから社内システムへのマッピング)。アクセス可能なリソース /sap/bc/tp および /sap/bc/fpads を設定	アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS、Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2

859	TO_SCC_1.1.11	SAP Cloud Connector 用の SNC 設定	追加サービス	サービスプロバイダーは、設定に関連するオペレーティングシステムレベルの活動を実施する。顧客は、設定の一部としてユーザーインターフェース (UI) レベルの活動を実施する。顧客は、PSE ファイルを提供しない場合、証明書プロパティを提供することができる。そのような場合、サービスプロバイダーは CSR (証明書署名要求) を生成し、署名のために顧客と共有する。顧客が SNC 設定時に使用する PSE ファイルを提供する場合、サービスプロバイダーは設定時に提供された PSE ファイルを使用する。		*
860		X12 - SAP Business Technology Platform - BTP (旧称 SAP Cloud Platform) の統合 - Data Services Agent (BTPI-DS) (旧称 HCI-DS)				
861		インストールと設定				
862	TO_BTPIIDS_1.1.01	SAP BTPI のインストール - データサービスエージェント	標準サービス	インストールは、既存のサブスクリプションもしくは関連するサブスクリプション、および/または契約の一部に含まれている必要がある。		*
863	TO_BTPIIDS_1.1.02	設定 - ロードバランサーを介してアウトバウンド接続を有効にし、BTPI と接続	標準サービス			*
864	TO_BTPIIDS_1.1.03	設定 - 顧客のクラウドアカウントへの接続の確立	標準サービス	BTPI ポータルへのアクセスが必要、またはサービスプロバイダーが構成ファイルを顧客に要求する。設定は OS レベルで実施。プロバイダーが、エージェントのステータスが BTPI ポータル内でグリーンであることを検証する。		*
865	TO_BTPIIDS_1.1.04	設定 - BTPI の消費に対するビジネスバックエンドの準備ステップ	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
866		監視のセットアップ				
867	TO_BTPIIDS_1.2.01	プロセスレベルの可用性に対する監視のセットアップ - Nagios	標準サービス			*
868		データの取扱いとデータサービス				
869	TO_BTPIIDS_1.3.01	データストア間でのデータの移行または複製	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
870		X13 - SAP Fiori				
871		インストールと設定				
872	TO_FIORI_1.1.01	それぞれの SAP システム内でアプリケーション固有のパッケージをインストール	標準サービス	管理対象システムにおける初期セットアップ		*
873	TO_FIORI_1.1.03	設定 - Web ディスパッチャの Fiori アプリへのリダイレクト	標準サービス	このタスクについては SSL が前提条件。当初のプロビジョニングの際の範囲には、当初の契約で規定されたすべてのシステムが含まれる。さらにシステムを追加する場合は変更依頼 (CR) が必要で、追加料金が適用される場合がある。SAP がサービスプロバイダーである環境に移行されたシステムについては、移行されたシステムに対して Web ディスパッチャを設定することは顧客の責任である。この設定は、別途契約でのクラウドのオンボーディングおよび移行サービスを通じて実施可能。		*
874	TO_FIORI_1.1.10_AE	設定 - Web ディスパッチャの Fiori アプリへのリダイレクト - 追加依頼	パッケージサービス	追加依頼に対する作業。SSL の設定および証明書処理を含み、追加クライアントまたは SAP S/4HANA 以外の製品のみに対する SAP Fiori ラUNCHPAD の技術的な有効化に限定。	アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
875	TO_FIORI_1.1.05	設定 - HANA XS Engine の Web ディスパッチャ	パッケージサービス	このタスクについては SSL が前提条件。当初のプロビジョニングの際の範囲には、当初の契約で規定されたすべてのシステムが含まれる。	アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2

876	TO_FIORI_1.1.09	すべての必要な接続のセットアップを含む、Fiori ラウンチパッドの初期有効化	標準サービス	グリーンフィールドデプロイメント用に、SAP S/4HANA または SAP Global Trade Services for SAP S/4HANA (GTS E4G) システムごとに 1 つのクライアント (クライアント 100) に対する SAP Fiori ラウンチパッドの有効化が含まれる。これには、SAP Fiori ラウンチパッドの有効化を検証するための、事前定義されたサンプル SAP Fiori アプリの有効化が含まれる。サービスプロバイダーとして SAP を使用する環境に移行されたシステムについては、既存の SAP Fiori アプリを有効化することは顧客の責任であり、別途契約されるクラウドのオンボーディングおよび移行サービスの対象となる。		*
877	TO_FIORI_1.1.06	すべての必要な接続のセットアップを含む、Fiori ラウンチパッドの再有効化	パッケージサービス	SAP Enterprise Search の再有効化、必要な接続設定の調整、および標準アプリのアクティベーションが含まれる。	アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
878	TO_FIORI_1.1.07	設定 - Fiori アプリケーション	対象外タスク	状況によっては、サービスプロバイダーがアプリケーション管理サービスを利用して顧客をサポートできる場合もあるが、想定されるシナリオは多岐にわたるため、この項目は一般的にサービスの対象外とされている。顧客は、他の SAP サービスを通じて支援を求める必要がある。		*
879	TO_FIORI_1.1.11_AE	追加のビジネスクライアント、ブラウフィールド/移行のデプロイメントまたは S/4HANA 以外の SAP 製品向けの、標準 Fiori アプリケーション用の Fiori ラウンチパッドの有効化	パッケージサービス	サンプルの Fiori カタログ、サンプルの Fiori グループとサンプルの PFCG ロールが含まれる。	アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
880	TO_FIORI_1.1.13	SAP ビジネスロールに基づく標準 Fiori アプリケーションの有効化	パッケージサービス	対象は、SAP 標準ビジネス (テンプレート) の役割、つまり、命名規則 SAP_BR_<...> に従った SAP 提供の役割に基づく標準 SAP Fiori アプリケーションの有効化。最大 4 つの SAP 標準ビジネスの役割を選択できる。アクティベーションを行うパッケージを定義できる。アクティベーションは、トライアル/サンドボックスおよび開発システムにのみ適用できる。カスタムの役割またはカスタムアプリケーションは、アクティベーションから除外される。単一アプリのアクティベーションを行うことはできない。	アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
881	X15 - Web ディスパッチャー					
882	Web ディスパッチャーの運用					
883	TO_WD_1.1.01	Web ディスパッチャーおよびその SSL に関するオプション内でのシステムの登録/削除	標準サービス	当初のプロビジョニングの際のスコープには、初期契約で規定されたすべてのシステムが含まれる。		*
884	TO_WD_1.1.02	一般的なメモリー管理の定義	標準サービス			*
885	TO_WD_1.1.03	一般的なセキュリティパラメーターの定義	標準サービス			*
886	TO_WD_1.1.04	パラメーターファイル内、または Admintool にある PSE メンテナンスツール内でのサポート SSL に対する一般的設定 (HTTPS 要求の対応)	標準サービス			*
887	TO_WD_1.1.05	SSL を使用した、メッセージサーバー/アプリケーションサーバーとの通信	標準サービス			*
888	TO_WD_1.1.06	HTTP 要求の変更	標準サービス			*
889	TO_WD_1.1.07	エラー処理のセットアップ	標準サービス			*
890	TO_WD_1.1.08	認証ファイルの更新管理	標準サービス			*
891	TO_WD_1.1.09	Web ディスパッチャー (HTTPURLLOC) に関連するバックエンドシステムのクライアント 000 における変更	標準サービス			*
892	TO_WD_1.1.10	ストラテジーのログと追跡	標準サービス			*
893	TO_WD_1.1.11	暗号化ポリシー (プロトコル、暗号スイート、キー長さ)	標準サービス			*
894	TO_WD_1.1.12	接続カウント	標準サービス			*
895	TO_WD_1.1.13	SSL を使用したメタデータの交換	標準サービス			*
896	TO_WD_1.1.14	ポート範囲の確定	標準サービス			*
897	TO_WD_1.1.15	Web ディスパッチャーに対するロードバランサーの設定	標準サービス	設定の詳細 (ルーティングのルール、リダイレクト情報、バックエンドシステムの詳細など) は、顧客が提供する必要がある。サービスプロバイダーが、それに応じてロードバランサーと Web ディスパッチャーをアップデートする。		*
898	TO_WD_1.1.16	Web ディスパッチャーサービスに対する DNS の変更	対象外タスク	DNS をパーソナライズするためのオプションはなし。		*
899	TO_WD_1.1.17	K8s (Kubernetes) での Web ディスパッチャーバージョンの更新	標準サービス			*
900	TO_WD_1.1.18	K8s (Kubernetes) での Web ディスパッチャーの再起動	標準サービス			*
901	TO_WD_1.1.19	K8s (Kubernetes) での Web ディスパッチャータイムゾーンの更新	標準サービス			*
902	TO_WD_1.1.20	K8s (Kubernetes) での Web ディスパッチャーの T シャツサイズ (容量) の更新	オプションのサービス			*

903		X16 - ロードバランサー			
904		ロードバランサーの運用			
905	TO_LRP_1.1.01	ロードバランサーインスタンスのセットアップ	標準サービス	既存のロードバランサーの場合のみ。要求された場合、追加のロードバランサーおよび/または追加のインフラストラクチャーの費用は含まれない。契約された数量を超える追加のロードバランサーの設定は、変更要請の対象となる。	*
906	TO_LRP_1.1.02	ロードバランサー内でのシステムの登録/削除	標準サービス		*
907	TO_LRP_1.1.03	アプリケーションサーバーへの負荷配分の設定	標準サービス		*
908	TO_LRP_1.1.04	インターネットに接続するシナリオのための、外部 IP の提供	標準サービス		*
909	TO_LRP_1.1.05	SSL オフローディングの設定 (暗号化)	標準サービス		*
910	TO_LRP_1.1.07	顧客自身のドメイン用の DNS 処理の実施	対象外タスク		*
911	TO_LRP_1.1.08	SSL を有効にするための、顧客ドメイン用の X.509 証明書の提供	対象外タスク		*
912	TO_LRP_1.1.08A	WebDispatcher および関連バックエンドで Amazon Web Services (AWS) の ALB の X.509 証明書を有効化	追加サービス	Amazon Web Services (AWS) でのみ使用可能である。mTLS (Mutual Transport Layer Security) により、ネットワーク通信の保護に使用される TLS プロトコルが拡張される。通常、TLS は、認証、データの機密性、および完全性を確保し、インターネット経由で安全な接続を確立するために使用される。ただし、従来の TLS では、片側でのみ認証が行われる。つまり、サーバー自体はクライアントに対して認証されるが、クライアントの ID は検証されない。	*
913	TO_LRP_1.1.09	SAP 自身の URL (* .xxx.ondemand.com など) のドメイン用の X.509 証明書の提供	標準サービス		*
914	TO_LRP_1.1.10	顧客の X.509 証明書のインストール	標準サービス		*
915	TO_LRP_1.1.11	Web アプリケーションのファイアウォールの設定	標準サービス		*
916	TO_LRP_1.1.12	パーシスタンス処理の設定	標準サービス		*
917	TO_LRP_1.1.14	ヘルスチェックの設定	標準サービス		*
918	TO_LRP_1.1.15	URL/IP ベースのブロックリストおよび許可リストのフィルタリングの設定	標準サービス		*
919	TO_LRP_1.1.16	Sorry ページの機能の設定	標準サービス		*
920	TO_LRP_1.1.17	インターネットへのアウトバウンド接続の設定	標準サービス		*
921	TO_LRP_1.1.18	管理対象システムからインターネットパブリックドメインへのアクセスの有効化	標準サービス	アウトバウンドのロードバランサーを使用してサポートされる。その他のクラウドまたは顧客のパブリックサービスなどに管理対象システムを統合するために使用。	*
922		X17 - OpenText ソリューション			
923		データのアーカイブおよび文書アクセス : ERP + アーカイブ + ストレージ			
924	TO_OT_1.1.01	アーカイブサーバーへの接続のセットアップ	標準サービス		*
925		アーカイブサーバー部分 (コンテンツリポジトリ)			
926	TO_OT_1.2.01	アーカイブサーバーの DB のインストール	標準サービス		*
927	TO_OT_1.2.02	アーカイブサーバーのインストール	標準サービス		*
928	TO_OT_1.2.03	アーカイブストレージの設定	標準サービス		*
929	TO_OT_1.2.04	アーカイブサーバーへのストレージの割り当て	標準サービス		*
930	TO_OT_1.2.05	アーカイブサーバーの設定	標準サービス		*
931		既存アーカイブのプライベートクラウドへの移行			
932	TO_OT_1.6.01	OpenText アーカイブシステムのアーカイブ済データのデータ移行	パッケージサービス	コンサルティングプロジェクトが必要。	アプリケーション管理 F1
933	TO_OT_1.6.02	非 OpenText アーカイブシステムのアーカイブ済データのデータ移行	パッケージサービス	コンサルティングプロジェクトが必要。	アプリケーション管理 F1
934		管理タスクアーカイブサーバー			
935	TO_OT_1.7.01	標準的なバックアップ (ストレージ処理)	標準サービス		*
936	TO_OT_1.7.02	標準的な監視	標準サービス		*
937	TO_OT_1.7.03	管理タスク (新規アーカイブの作成)	標準サービス	顧客の要請時。	*
938		アーカイブ : アプリケーション管理			
939	TO_OT_1.8.01	権限付与のコンセプト	対象外タスク		*
940	TO_OT_1.8.03	データのアーカイブ	対象外タスク		*
941	TO_OT_1.8.04	データの削除	対象外タスク		*
942		スキヤニングとバイブライン			
943	TO_OT_1.3.01	オンプレミスでのインストール (スキヤンクライアント)	対象外タスク		*

944	TO_OT_1.3.02	スキャンの設定	対象外タスク			*
945	TO_OT_1.3.03	オンプレミスでのバイブラインのインストール	対象外タスク			*
946	TO_OT_1.3.04	オンプレミスでのバイブラインの設定	対象外タスク			*
947		VIM : SAP ERP 内での SAP コンポーネントのインストール	VIM がソリューションスコープの一部である場合			
948	TO_OT_1.4.01	VIM 用のアドオンのインストール	標準サービス			*
949	TO_OT_1.4.02	SAP Business Workflow エンジンの有効化 (基本的な設定)	標準サービス			*
950	TO_OT_1.4.03	ビジネスコンフィグレーション	対象外タスク	RDS を利用可能。		*
951	TO_OT_1.4.04	ArchiveLink のカスタマイズ	標準サービス			*
952		VIM : Invoice Capture Center (ICC)	VIM がソリューションスコープの一部である場合			
953	TO_OT_1.5.01	VIM サーバーのインストール	標準サービス			*
954	TO_OT_1.5.02	基本的な設定と接続	標準サービス			*
955	TO_OT_1.5.03	基本的なビジネスコンフィグレーション	対象外タスク	RDS を利用可能。		*
956	TO_OT_1.5.04	顧客固有の拡張	対象外タスク			*
957		StreamServe	StreamServe がソリューションスコープの一部である場合			
958	TO_OT_1.9.01	StreamServe のインストール	標準サービス	OS レベルで実施。		*
959	TO_OT_1.9.02	StreamServe サーバーへの接続のセットアップ	標準サービス			*
960	TO_OT_1.9.03	StreamServe ベースの設定	標準サービス	顧客は、OpenText サーバーの FQDN を提供する。		*
961	TO_OT_1.9.05	アプリケーション固有の設定	対象外タスク	プリントフォームの調整、BAPI 機能など。		*
962		SAP S/4HANA 共通タスク				
963	TO_OT_1.10.1	OpenText Cloud Edition アドオンのインストール	標準サービス	SAP Archiving and Document Access by OpenText (ADA)、SAP Vendor Invoice Management (VIM)、SAP Extended Enterprise Content Management by OpenText (xECM) を含む。	該当せず	n/a
964	TO_OT_1.10.2	アプリの有効化/アップデートのために必要な ICF ノードの有効化/維持管理	標準サービス		該当せず	n/a
965	TO_OT_1.10.3	アプリの有効化/アップデートのために必要な OData サービスの有効化/維持管理	標準サービス		該当せず	n/a
966		Vendor Invoice Management for SAP Solutions (VIM)				
967	TO_OT_1.11.1	OpenText Core Capture for SAP Solutions (IES Cloud)/OT2 へのセキュアな接続の確立/維持管理	標準サービス	S/4HANA SM59 からの接続の作成と維持管理 Admin Center からのクライアント ID と秘密のパスワードを提供する必要がある	該当せず	n/a
968		Extended Enterprise Content Management for SAP Solutions (xECM)				
969	TO_OT_1.12.1	OpenText Cloud (OTK) へのセキュアな接続の確立/維持管理	標準サービス	S/4HANA SM59, STRUST からの、および xECM の IMG 階層「Create HTTP Connections」内での接続の作成と維持管理	該当せず	n/a
970		Archiving and Document Access for SAP Solutions (ADA)				
971	TO_OT_1.13.1	OpenText Core Archive Connector と Document Pipeline のインストール	標準サービス	アプリケーションのインストールのみ。	該当せず	n/a
972	TO_OT_1.13.2	OpenText Core Archive for SAP Solutions (ADA Cloud)/OT2 へのセキュアな接続の確立/維持管理	標準サービス	初期設定と顧客テナントの登録。	該当せず	n/a
973	TO_OT_1.13.3	SAP S/4HANA システム接続の追加/維持管理	標準サービス		該当せず	n/a
974	TO_OT_1.13.7	コアアーカイブコネクタ設定の維持管理	標準サービス	作業には、証明書とプライベートキーの差し替え/生成が含まれる。	該当せず	n/a
975	TO_OT_1.13.8	ユーザー管理	パッケージサービス		機能的アプリケーション管理	F1
976		ソフトウェアライフサイクル管理				
977	TO_OT_1.14.1	管理対象の OT Core Archive Connector ソリューションに対する顧客固有アップデートの適用 (SAP Service Marketplace 経由で一般的に入手可能ではないソフトウェアパッケージ)	標準サービス		該当せず	n/a
978		X17A - OpenText Extended Enterprise Content Management (OT xECM)				
979		インストール				
980	TO_OT_XECM_1.1.1	OT xECM コンポーネント (コンテンツサーバー、アーカイブサーバー、AppWorks、OTDS サーバー、データベースリポジトリ) のインストール	標準サービス	コンテンツサーバー、アーカイブサーバー、AppWorks、OTDS サーバー、データベースリポジトリ。	該当せず	n/a
981	TO_OT_XECM_1.1.2	OT xECM NetWeaver ABAP アドオンのインストール	標準サービス	S4HANA システムに OT xECM、OT ADA、および OTA Fiori アドオンをインストール。	該当せず	n/a
982	TO_OT_XECM_1.1.3	HA 用の追加の OT xECM アプリケーションサーバーデプロイメントのインストール	標準サービス	HA のオプションについては変更依頼 (CR) が必要となる場合がある。	該当せず	n/a
983		セットアップと設定				

984	TO_OT_XECM_1.2.1	インストール後の設定	標準サービス		該当せず	n/a
985	TO_OT_XECM_1.2.2	監視	標準サービス		該当せず	n/a
986	TO_OT_XECM_1.2.3	アプリケーションの設定	標準サービス		該当せず	n/a
987	TO_OT_XECM_1.2.4	データのアーカイブ	対象外タスク		該当せず	n/a
988	TO_OT_XECM_1.2.5	S4HANA の統合と接続	標準サービス		該当せず	n/a
989	TO_OT_XECM_1.2.7	Windows AD による SSO	対象外タスク	クラウド環境向けの SSO ソリューションに関連して、顧客は他の SAP のサービスを利用することができる。	該当せず	n/a
990	X18 - SAP Information Steward					
991	運用					
992	TO_IS_1.1.02	既存のインフラストラクチャーでの負荷分散のための追加の IS ジョブサーバーの追加	標準サービス	既存のインフラストラクチャーへの追加サーバーの追加。追加のインフラストラクチャーをデプロイする必要がある場合は、変更依頼 (CR) が必要となる。		*
993	TO_IS_1.1.13	新規インフラストラクチャーでの負荷分散のための追加の IS ジョブサーバーの追加	オプションのサービス	新規インフラストラクチャーへの追加サーバーの追加。変更依頼 (CR) が必要。		*
994	TO_IS_1.1.03	ユーザーとアクセスの管理	パッケージサービス		ユーザー管理、Cloud ERP private 向け CAS	S2,C1
995	TO_IS_1.1.08	IS リポジトリとファイルシステムのバックアップ	標準サービス			*
996	TO_IS_1.1.09	IS の Job Server とサービスの監視	標準サービス			*
997	X21 - SAP Identity Management IDM					
998	設定					
999	TO_IDM_1.0.01	オペレーティングシステムへのアクセスが必要な IDM 関連タスクでの顧客の支援	標準サービス			*
1000	TO_IDM_1.0.02	初期クラウド環境インストールの一環としての IDM ディスパッチャーのインストール	標準サービス			*
1001	TO_IDM_1.0.03	IDM システムへの IDM UI の接続	標準サービス	SSL の設定は、このタスクの対象外。		*
1002	X22 - SAP Financial Consolidation (FC)					
1003	データソースの管理					
1004	TO_FC_1.1.01	データソースに対する管理者パスワードおよびアクティビティビューの開始/中止/設定	標準サービス			*
1005	TO_FC_1.1.02	Web サービスの追加	パッケージサービス		アプリケーション運用	A1
1006	TO_FC_1.1.03	既存のインフラストラクチャーへの FC アプリケーションサーバー/Web サーバーの追加	パッケージサービス		アプリケーション運用	A1
1007	TO_FC_1.1.15	新規インフラストラクチャーへの FC アプリケーションサーバー/Web サーバーの追加	オプションのサービス			*
1008	TO_FC_1.1.04	データソースの移行とフィルタリング	対象外タスク			*
1009	TO_FC_1.1.05	ソフトウェア設定のインストール	対象外タスク			*
1010	TO_FC_1.1.06	エンドユーザーへのメッセージの送信/ブロードキャスト	対象外タスク			*
1011	TO_FC_1.1.07	アプリケーションサーバーに対するログ設定の定義	対象外タスク			*
1012	TO_FC_1.1.08	マシンおよびインスタンスに対して使用可能なコマンドの定義	対象外タスク			*

1013	TO_FC_1.1.09	FC 管理コンソール内でのマシンのアクティブ化/非アクティブ化	パッケージサービス		アプリケーション運用	A1
1014	TO_FC_1.1.10	FC 管理コンソール内でのインスタンスの起動/停止	パッケージサービス		アプリケーション運用	A1
1015	TO_FC_1.1.11	サーバーの起動/停止に関するスケジュールの作成	パッケージサービス	OS アクセスが必要。支援は、タスク BASIC_1.1.14 で依頼することができる。	アプリケーション運用	A1
1016	TO_FC_1.1.12	データソースの作成/削除	パッケージサービス	OS アクセスが必要。支援は、タスク BASIC_1.1.14 で依頼することができる。	アプリケーション運用	A1
1017	TO_FC_1.1.13	FC 移送フォルダーの作成	標準サービス			*
1018	TO_FC_1.1.14	FC プラットフォームの定期的な再起動	標準サービス			*
1019		監視				
1020	TO_FC_1.2.04	SID あたり 1 つの FC アプリケーション URL の監視	標準サービス	SID あたり 1 つの URL に限定。顧客は監視対象の URL を提供する必要がある。		*
1021	TO_FC_1.2.03	追加の FC アプリケーション URL の監視	パッケージサービス	顧客は監視対象の URL を提供する必要がある。	アプリケーション運用	A1
1022		HANA データベースの管理				
1023	TO_FC_1.3.01	Cube Designer での SAP HANA Modeling Views の作成に関する前提条件	対象外タスク	顧客は、HANA Studio へのアクセスを必要とし、HANA Customer Administration の権限も必要である。		*
1024	TO_FC_1.3.02	Cube のデプロイメント時に作成された権利の削除	対象外タスク	顧客は、HANA Studio へのアクセスを必要とし、HANA Customer Administration の権限も必要である。		*
1025		SAP Financial Consolidation Web サイトの設定				
1026	TO_FC_1.4.01	自動的に再接続	標準サービス			*
1027	TO_FC_1.4.02	SAP Financial Consolidation Web テクニカルログの有効化	標準サービス			*
1028	TO_FC_1.4.03	ファイアウォールを使用した長期 HTTP セッションのサポート	標準サービス			*
1029	TO_FC_1.4.04	URL を介した文書の公開	パッケージサービス	OS アクセスが必要。支援は、タスク BASIC_1.1.14 で依頼することができる。	アプリケーション運用	A1
1030	TO_FC_1.4.05	HTTPS の設定	パッケージサービス	OS アクセスが必要。支援は、タスク BASIC_1.1.14 で依頼することができる。	アプリケーション運用	A1
1031	TO_FC_1.4.06	SAP Financial Consolidation Web サイトのホームページのカスタマイズ	パッケージサービス	OS アクセスが必要。支援は、タスク BASIC_1.1.14 で依頼することができる。	アプリケーション運用	A1
1032		SAP Financial Consolidation HTML5 サイトの設定				
1033	TO_FC_1.5.01	SAP Financial Consolidation Web HTML5 サイトの詳細設定の設定/カスタマイズ	パッケージサービス	OS アクセスが必要。支援は、タスク BASIC_1.1.14 で依頼することができる。	アプリケーション運用	A1
1034		SAP Financial Consolidation HTML5 サイトの設定				
1035	TO_FC_1.5.01	SAP Financial Consolidation Web HTML5 サイトの詳細設定の設定/カスタマイズ	パッケージサービス	OS アクセスが必要。支援は、タスク BASIC_1.1.14 で依頼することができる。	アプリケーション運用	A1
1036		アーカイブツール				
1037	TO_FC_1.6.01	アーカイブツールのインストールとアクセス	標準サービス			*
1038	TO_FC_1.6.02	アーカイブ処理の実行	パッケージサービス	OS アクセスが必要。支援は、タスク BASIC_1.1.14 で依頼することができる。	アプリケーション運用	A1
1039		アーカイブツール				
1040	TO_FC_1.6.01	アーカイブツールのインストールとアクセス	標準サービス			*
1041	TO_FC_1.6.02	アーカイブ処理の実行	パッケージサービス	OS アクセスが必要。支援は、タスク BASIC_1.1.14 で依頼することができる。	アプリケーション運用	A1
1042		SAP Financial Consolidation Cube Designer でインフォキューブをデプロイするための、SAP NetWeaver BW サーバーのインストールと設定				
1043	TO_FC_1.8.01	SAP NetWeaver BW サーバーへの FPM Basis コンポーネントのインストール	標準サービス			*

1044	TO_FC_1.8.02	Cube Designer でインフォキューブをデプロイするための BW NetWeaver の役割の作成	対象外タスク		*	
1045	TO_FC_1.8.03	BOE プラットフォームへの SAP EPM Solutions Connection Manager のインストール	標準サービス		*	
1046	TO_FC_1.8.04	SAP Cube Designer 用の Central Management Console の設定	対象外タスク		*	
1047	TO_FC_1.8.05	分散インストール用の Central Management Server の設定	標準サービス	初期構築時に要求された場合、これは標準サービスとして設定される。	*	
1048	TO_FC_1.8.06	リバースプロキシの設定	標準サービス		*	
1049	TO_FC_1.8.07	NetWeaver BW キューブ、SAP PCM、SAP SSM、SAP HANA と SAP Financial Consolidation の EPM 接続の作成	対象外タスク		*	
1050		Financial Information Management				
1051	TO_FC_1.9.01	フラットファイルプレビュー内の行数の設定	標準サービス		*	
1052	TO_FC_1.9.02	タイムアウトパラメーターの設定	標準サービス		*	
1053		Financial Information Management				
1054	TO_FC_1.9.01	フラットファイルプレビュー内の行数の設定	標準サービス		*	
1055	TO_FC_1.9.02	タイムアウトパラメーターの設定	標準サービス		*	
1056		X28 - GK ソフトウェア	2026 年 7 月までに非推奨になる予定。			
1057		セットアップと設定				
1058	TO_GK_1.1.01	GK ソフトウェアディレクトリーのセットアップと管理	標準サービス	該当せず	n/a	
1059	TO_GK_1.1.02	ソースデータファイルのアップロード用のディレクトリーの作成（すでに利用可能でない場合）	標準サービス	該当せず	n/a	
1060	TO_GK_1.1.03	GK ソフトウェア設定に関連する各種ファイルの、ファイルシステムディレクトリーへのコピーの支援	標準サービス	該当せず	n/a	
1061	TO_GK_1.1.04	構造内での動的引き継ぎのセットアップ	対象外タスク	該当せず	n/a	
1062	TO_GK_1.1.05	構造レベルの上書きのセットアップ	対象外タスク	該当せず	n/a	
1063	TO_GK_1.1.06	NetWeaver Config ツールのディレクトリー構造のセットアップ	標準サービス	該当せず	n/a	
1064	TO_GK_1.1.07	インストール後の言語の変更	標準サービス	該当せず	n/a	
1065	TO_GK_1.1.08	システムレベルの上書き（システムタイプ）のセットアップ	対象外タスク	該当せず	n/a	
1066	TO_GK_1.1.09	顧客固有の組織構造の設定	対象外タスク	該当せず	n/a	
1067	TO_GK_1.1.10	基本的な Store Manager ノードの設定	標準サービス	該当せず	n/a	
1068	TO_GK_1.1.11	ストアテンプレートのインストール	対象外タスク	プロバイダーが、ファイルを OS レベルにコピーするためのシェアを提供。	該当せず	n/a
1069	TO_GK_1.1.12	Store Manager へのストアテンプレートのインポート	対象外タスク	該当せず	n/a	
1070	TO_GK_1.1.13	主たる Store Manager 構造へのテンプレートの割り当て	対象外タスク	該当せず	n/a	
1071	TO_GK_1.1.14	Hybrid Infoserver への config のインポート	対象外タスク	該当せず	n/a	
1072	TO_GK_1.1.15	HANA JDBC データソースの接続プーリングの設定	標準サービス	該当せず	n/a	
1073	TO_GK_1.1.16	SAP NetWeaver Portal への EPA ファイルのデプロイ	標準サービス	該当せず	n/a	
1074	TO_GK_1.1.17	顧客のストア構造の作成	対象外タスク	該当せず	n/a	
1075	TO_GK_1.1.18	GK Store Manager の設定	対象外タスク	該当せず	n/a	
1076	TO_GK_1.1.19	Store Manager（データコンテナ）に対するグローバル設定のインポート	対象外タスク	該当せず	n/a	
1077	TO_GK_1.1.20	ストアまたは国レベルでのオーバーライドのための GK Software Store Manager の設定	対象外タスク	例：指向先の POS サーバーまたは LPS の設定。	該当せず	n/a
1078	TO_GK_1.1.21	ソースデータのインポート	対象外タスク	該当せず	n/a	
1079	TO_GK_1.1.22	データインポート用の GK ECON の設定（IDoc のインポート用の xml ファイルの定義）	対象外タスク	該当せず	n/a	
1080	TO_GK_1.1.23	レファレンスストア（国、地区、ストア）の作成とカスタマイズ	対象外タスク	該当せず	n/a	

1081	TO_GK_1.1.24	SAP NetWeaver データソースの作成	標準サービス		該当せず	n/a
1082	TO_GK_1.1.25	データコンテナの設定と割り当て (税金、作業グループ、トランザクションの理由など)	対象外タスク		該当せず	n/a
1083	TO_GK_1.1.26	SDC データコンテナの設定 (バリエーションの割り当てなど)	対象外タスク		該当せず	n/a
1084	TO_GK_1.1.27	テンプレートをインポートしてマニュアルでアクティブ化 (EC 設定テンプレート、ハートビートモニターなど)	対象外タスク		該当せず	n/a
1085	TO_GK_1.1.28	参照顧客の組織構造の設定 (インストール時)	標準サービス	セットアップ手順に従い、基本的な構造のみ。詳細な機能構造は、顧客/プロジェクトチームの責任。	該当せず	n/a
1086		運用				
1087	TO_GK_1.2.01	顧客の責任領域内のタスクでの顧客の支援 (OS アクセスが必要な場合)	パッケージサービス	タスクの実行に、OS レベル内で行う作業が必要であり、それに関して本書に従い顧客が責任を有する場合。顧客および GK 導入パートナーには、クラウド環境内の管理対象サーバーへの OS アクセスは付与されない。サービスプロバイダーは、タスクを肩代わりするか、タスクを実行するためのその他の方法を提供することなどにより、顧客をサポートする。この項目は頻度の少ない臨時的支援にのみ適用される。導入、開発およびサポートのために定期的な、長期の、またより全般的な OS アクセスが必要なプロジェクトは、この項目では対応できない。追加のサービス料は、サーバーごとに計算。	機能的アプリケーション管理	F1
1088	TO_GK_1.2.02	アプリケーションレベルの JDBC データソースの設定	標準サービス	SAP NetWeaver 上の各セントラルアプリケーションは、データソースエントリーによりデータベースにリンクされる必要がある。このエントリーは、アプリケーションごとに 1 回 NetWeaver Administrator により設定される必要があり、関連アプリケーションの初回起動の前に利用可能となっていないなければならない。	該当せず	n/a
1089	TO_GK_1.2.03	HTTP 要求の変更	標準サービス		該当せず	n/a
1090	TO_GK_1.2.04	引渡し後のアプリケーションサーバーのパラメータ変更	標準サービス	変化する顧客要件に合わせた標準設定値の修正。	該当せず	n/a
1091	TO_GK_1.2.05	SSL を使用した、メッセージサーバー/アプリケーションサーバーとの通信の管理	標準サービス		該当せず	n/a
1092	TO_GK_1.2.06	ポート範囲の確定	標準サービス		該当せず	n/a
1093	TO_GK_1.2.07	ポータル管理を通じた GK ホストの設定	標準サービス		該当せず	n/a
1094	TO_GK_1.2.08	CDPL ツールによるアップデート (ストアコンポーネントに対するセントラルデプロイメントのアップデート)	対象外タスク		該当せず	n/a
1095	TO_GK_1.2.09	クライアントの再構築	標準サービス	スクリプトの実行には OS アクセスが必要。	該当せず	n/a
1096	TO_GK_1.2.10	GK ソフトウェアユーザーの管理	対象外タスク		該当せず	n/a
1097	TO_GK_1.2.11	GK ソフトウェアユーザーの、SAP NetWeaver のユーザー管理へのマッピング	対象外タスク		該当せず	n/a
1098	TO_GK_1.2.12	バックアップと復元 - 標準の HANA および NW	標準サービス		該当せず	n/a
1099	TO_GK_1.2.13	バックアップと復元 - DB 復元後の同期	対象外タスク		該当せず	n/a
1100	TO_GK_1.2.14	データベース回復後のソースデータの同期	対象外タスク		該当せず	n/a
1101	TO_GK_1.2.15	古いコンテンツデータとテンプレートのクリーンアップ	対象外タスク		該当せず	n/a
1102	TO_GK_1.2.16	ログおよびトレース戦略の確定と実施	標準サービス		該当せず	n/a
1103	TO_GK_1.2.17	クラウド監視環境を使用した基本的な技術的機能の監視	標準サービス		該当せず	n/a
1104	TO_GK_1.2.18	Enterprise Cockpit を使用した GK アプリケーションの監視	対象外タスク		該当せず	n/a
1105	TO_GK_1.2.19	GK ビジネスプロセスの監視	対象外タスク		該当せず	n/a
1106	TO_GK_1.2.20	ソリューションパフォーマンスの監視 (GK パフォーマンスモニターを使用したノードレベルのパフォーマンス)	対象外タスク	プロバイダーが、作業ディレクトリへのファイルのコピーをサポート。	該当せず	n/a
1107	TO_GK_1.2.21	GK_PMON、GK_STATS を使用したデータベースの分析	対象外タスク		該当せず	n/a
1108		GK 用のソフトウェアライフサイクル管理				
1109	TO_GK_1.3.01	管理対象の GK ソリューションに対するアップデートの適用 (SAP Service Marketplace 経由で一般的に入手可能なソフトウェアパッケージ)	標準サービス		該当せず	n/a
1110	TO_GK_1.3.02	管理対象の GK ソリューションに対する顧客固有アップデートの適用 (SAP Service Marketplace 経由で一般的に入手可能ではないソフトウェアパッケージ)	追加サービス		該当せず	n/a
1111	TO_GK_1.3.03	管理対象の GK ソリューションの、1 段階上の主要ソフトウェアバージョンへのアップグレード	追加サービス		該当せず	n/a
1112		X29 - SAP TREX				
1113		TREX の運用				
1114	TO_TREX_1.1.14	インストール後の設定および TREX とアプリケーション (Java または ABAP) の接続	標準サービス	これには、正式な製品ドキュメンテーション (help.sap.com) に記載のとおり、インストール後の設定および TREX とアプリケーション (Java または ABAP) 間の接続の作業が含まれる。		*
1115	TO_TREX_1.1.15	TREX インデックスの管理	対象外タスク			*
1116	TO_TREX_1.1.16	分類の管理	対象外タスク			*
1117		X31 - SAP Solution Manager				

1118		インストールと設定				
1119	TO_SOLM_1.1.01	SAP Solution Manager 内での ITSM のセットアップと設定	パッケージサービス		アプリケーション管理, Cloud ERP private 向け CAS	F1,C1
1120	BASIC_1.8.07	監視のセットアップ: Solution Manager Diagnostics (SMD) エージェントをインストールし、本稼働フェーズと構築フェーズの両方のシステムで顧客の Solution Manager システムと統合する。	標準サービス	新たにインストールした Solution Manager Diagnostics (SMD) エージェントを、クラウドで運用されている顧客所有の SAP Solution Manager システムに統合する。注記: これは、サービスプロバイダーが所有する中核の SAP Solution Manager システムとは異なる。		*
1121	BASIC_1.8.18	クラウド内に所在する Customer Solution Manager による監視のセットアップ: 顧客の SAP Solution Manager システム内での監視の設定	パッケージサービス	サービス料はサーバーごとに計算。監視のセットアップは SAP Solution Manager の標準テンプレートのみを使用して行われ、顧客固有の設定や調整は含まれない。	顧客アプリケーション監視	M2
1122	BASIC_1.8.26	Solution Manager の設定: Focused Insight の標準ダッシュボード	パッケージサービス	顧客固有の設定や調整は含まれない。	アプリケーション運用, 顧客アプリケーション監視, Cloud ERP private 向け CAS	A1,M2,C1
1123		X33 - SAP Test Data Migration Server (TDMS)				
1124		インストールと設定				
1125	TO_TDMS_1.1.01	コントロールシステム (TDMS サーバー) のセットアップと受信側システム (ターゲットサーバー) のセットアップ	標準サービス			*
1126	TO_TDMS_1.1.02	送信システム (ソースシステム) のバッチ適用	標準サービス			*
1127	TO_TDMS_1.1.03	TDMS の初期設定、クライアント作成、RFC 接続のセットアップ、権限付与のセットアップ、シェルの作成	標準サービス			*
1128	TO_TDMS_1.1.04	スクランブル用データの設定、カスタマイズ、BPL モデラーを使用	対象外タスク			*
1129		X34 - SAP PowerDesigner				
1130		運用上のセットアップ				
1131	TO_PWR_1.1.01	コンポーネントのインストール (Portal、Repo、プロキシ)	標準サービス	SAP PowerDesigner リポジトリのインストールとセットアップ (あらゆるサポートパッケージおよびパッチの更新を含む)。SAP ASE データベースはリポジトリサーバーとしてセットアップされる。リモート Web アクセスを目的とした、ポータルサーバーへの Apache Tomcat サーバーのインストールと設定。初期デプロイメントのためのステージングサーバーとしての、SAP PowerDesigner admin サーバーのインストールと設定。ポータルサーバーへの、SAP PowerDesigner Web アプリケーションファイルのエクスポート/インポート。		*
1132	TO_PWR_1.1.02	プロキシのインストール	標準サービス	SAP PowerDesigner プロキシサーバーのインストールと設定 - SAP PowerDesigner admin サーバーと同一のサーバーにインストールされる。これは、オプションのコンポーネント。		*
1133	TO_PWR_1.1.03	セットアップと設定	標準サービス	データソースとしての SAP HANA 用の ODBC ドライバーのインストールとセットアップ。追加のデータソースのセットアップには、追加のサービス料が発生する。ポータルサーバーおよびリポジトリサーバーの認証機能のセットアップと設定。権限のセットアップ - SAP PowerDesigner ポータルおよびリポジトリへのアクセスのための、固有のユーザーと役割のプロビジョニング。		*
1134	TO_PWR_1.1.04	SSL/TLS 設定 - ポータルのセットアップ	標準サービス	SSL/TLS 構成によるセキュア通信のセットアップ。		*
1135	TO_PWR_1.1.05	Windows Active Directory によるシングルサインオン (SSO)	対象外タスク	クラウド環境向けの SSO ソリューションに関連して、顧客は他の SAP のサービスを利用することができる。		*
1136		X36 - SAP Billing and Revenue Innovation Management				
1137		一般運用				
1138	TO_BRIM_CC_1.0.01	管理ユーザーの管理 (ロック解除/リセット)	標準サービス	SAP Convergent Charging および SAP Convergent Mediation by Digital Route アプリケーションの「管理ユーザー」管理。	該当せず	n/a
1139		SAP Convergent Charging				
1140	TO_BRIM_CC_1.1.01	SAP Convergent Charging データベースのインストール	標準サービス		該当せず	n/a

1141	TO_BRIM_CC_1.1.02	SAP Convergent Charging コアサーバーのインストール	標準サービス		該当せず	n/a
1142	TO_BRIM_CC_1.1.03	インストール後のステップ - Convergent Charging コックピットおよびコアツールのインストール	標準サービス		該当せず	n/a
1143		運用				
1144	TO_BRIM_CC_1.2.01	システムの起動/停止	標準サービス		該当せず	n/a
1145	TO_BRIM_CC_1.2.02	アップデートの適用	標準サービス		該当せず	n/a
1146	TO_BRIM_CC_1.2.03	バージョンアップグレード	標準サービス		該当せず	n/a
1147	TO_BRIM_CC_1.2.04	監視	標準サービス		該当せず	n/a
1148	TO_BRIM_CC_1.2.05	標準の技術パラメータの設定および再起動による有効化	標準サービス	SAP Note、製品サポートチーム、または最重要問題に関して必要な場合。	該当せず	n/a
1149	TO_BRIM_CC_1.2.06	追加パラメーターの設定	標準サービス	OS アクセスが必要。支援は、タスク BASIC_1.1.14 で依頼することができる。	該当せず	n/a
1150	TO_BRIM_CC_1.2.07	追加インスタンスのインストール	追加サービス		該当せず	n/a
1151	TO_BRIM_CC_1.2.08	システムリフレッシュ	標準サービス		該当せず	n/a
1152	TO_BRIM_CC_1.2.09	移送の設定	標準サービス		該当せず	n/a
1153	TO_BRIM_CC_1.2.10	SSL サービスの有効化	標準サービス		該当せず	n/a
1154	TO_BRIM_CC_1.2.11	パラメーター更新	標準サービス		該当せず	n/a
1155		SAP Convergent Mediation by DigitalRoute				
1156	TO_BRIM_CM_1.1.01	SAP Convergent Mediation データベースのインストール	標準サービス		該当せず	n/a
1157	TO_BRIM_CM_1.1.02	SAP Convergent Mediation Control Zone のインストールと Execution Zone のセットアップ	標準サービス		該当せず	n/a

1158	TO_BRIM_CM_1.1.03	インストール後の手順	標準サービス		該当せず	n/a
1159	TO_BRIM_CM_1.1.04	SAP Convergent Mediation Execution Control Standalone (ECSA) セットアップのインストール	標準サービス		該当せず	n/a
1160		運用				
1161	TO_BRIM_CM_1.2.01	イベントの再処理のための災害回復の手順とテスト	対象外タスク		該当せず	n/a
1162	TO_BRIM_CM_1.2.02	チェックポイントバッチ後の収集されたファイルの削除	対象外タスク		該当せず	n/a
1163	TO_BRIM_CM_1.2.03	顧客の sFTP サーバーからクラウド環境の sFTP サーバーへのデータレコードのプッシュ	対象外タスク		該当せず	n/a
1164	TO_BRIM_CM_1.2.04	システムの起動/停止	標準サービス		該当せず	n/a
1165	TO_BRIM_CM_1.2.05	特定の Pico インスタンスの起動/停止	標準サービス		該当せず	n/a
1166	TO_BRIM_CM_1.2.06	監視	標準サービス	可用性監視のみ。	該当せず	n/a
1167	TO_BRIM_CM_1.2.07	標準の技術パラメータの設定および再起動による有効化	標準サービス	SAP Note、製品サポートチーム、または最重要問題に関して必要な場合。	該当せず	n/a
1168	TO_BRIM_CM_1.2.08	追加パラメーターの設定	標準サービス	OS アクセスが必要。支援は、タスク BASIC_1.1.14 で依頼することができる。	該当せず	n/a
1169	TO_BRIM_CM_1.2.09	Pico インスタンスのインストール、追加、およびアップグレード	追加サービス		該当せず	n/a
1170	TO_BRIM_CM_1.2.10	ワークフロー設定のインポート/エクスポート	標準サービス		該当せず	n/a
1171	TO_BRIM_CM_1.2.11	外部参照ファイルの更新管理	標準サービス		該当せず	n/a
1172	TO_BRIM_CM_1.2.12	ライセンスのインストール	標準サービス		該当せず	n/a
1173	TO_BRIM_CM_1.2.13	システムリフレッシュ	標準サービス			*
1174	TO_BRIM_CM_1.2.15	CM への CA 署名付き証明書のインストール	標準サービス		該当せず	n/a

1175	TO_BRIM_CM_1.2.16	OAuth2 サービスの設定	標準サービス		該当せず	n/a
1176		X37 - SAP Manufacturing Integration and Intelligence				
1177		導入と設定				
1178	TO_MII_1.1.01	SAP の OEE (Overall Equipment Effectiveness : 総合設備効率) 機能に対する Plant Connectivity (PCo) のセットアップ	対象外タスク			*
1179	TO_MII_1.1.02	ALE ユーザーのセットアップ	パッケージサービス		アプリケーション運用, Cloud ERP private 向け CAS	A1,C1
1180	TO_MII_1.1.03	顧客の ERP システムへの ALE 接続の確立	パッケージサービス		アプリケーション運用, Cloud ERP private 向け CAS	A1,C1
1181	TO_MII_1.1.04	SAP Overall Equipment Effectiveness (OEE) Management に対する CTC テンプレートの実行 : SAP NetWeaver	対象外タスク			*
1182	TO_MII_1.1.05	SAP Overall Equipment Effectiveness (OEE) Management に対する CTC テンプレートの実行 : 統合インターフェース	対象外タスク			*
1183	TO_MII_1.1.06	SAP Overall Equipment Effectiveness Management の設定	対象外タスク			*
1184	TO_MII_1.1.07	XMII ユーザーの作成とロール割り当ての実行	パッケージサービス		アプリケーション運用, Cloud ERP private 向け CAS	A1,C1
1185		X38 - SAP Manufacturing Execution				
1186		運用上のセットアップ				
1187	TO_ME_1.1.01	SAP NetWeaver エンジン構成用の CTC テンプレートの実行	標準サービス			*
1188	TO_ME_1.1.02	SAP データベースのセットアップ用 CTC テンプレートの実行	標準サービス			*
1189	TO_ME_1.1.03	SAP ME 構成用の CTC テンプレートの実行	対象外タスク			*
1190	TO_ME_1.1.04	SAP ME スクリプトの実行	対象外タスク			*
1191	TO_ME_1.1.05	SAP ME と ERP の統合の実行	対象外タスク			*
1192	TO_ME_1.1.06	Adobe Document Service のインストール	オプションのサービス			*
1193		X39 - R Integration				
1194		運用上のセットアップ				
1195	TO_RINT_1.1.02	R 統合コンポーネントのインストール	標準サービス	R, R サーバー、および付属パッケージは、SAP HANA データベースから個別にインストールされる。		*
1196	TO_RINT_1.1.03	インストール後の技術的タスクの実行	標準サービス	R 統合のための、インデックスおよび XS エンジンパラメータに対する SAP HANA 構成のセットアップ。R サーバーの認証および権限のセットアップ。R 統合のための、クラウド環境固有のユーザーと役割のプロビジョニング。各テナントデータベースに対する R 統合ノードの設定とセットアップ (サービスの初期化、コックピットアクセス、デリバリーユニット、検証を含む)。		*
1197	TO_RINT_1.1.04	R 統合 - 高可用性 (HA) のための追加ホストのセットアップ	オプションのサービス	R 統合追加ノードの追加とセットアップ。高可用性のセットアップと構成は、シングルテナントまたはマルチテナントのデータベースのセットアップ (R 統合グループのセットアップを含む) を伴う。R 統合ロードバランサーのセットアップについては、R&R の「ロードバランサー」セクションを確認すること。		*
1198		X40 - SAP SQL Anywhere - Mobilink				
1199		導入と設定				

1200	TO_SQLA_ML_1.1.01	SQLAnywhere Mobilink サービスのインストールと有効化	標準サービス	SQLA Mobilink サーバーのインストールとセットアップ（あらゆるサポートパッケージおよびパッチの更新を含む）。統合データベースへの Mobilink システムオブジェクトのインポート。注：Mobilink のインストールに先立って、SAP HANA データベースが統合データベースとしてプロビジョニングされていなければならない。	該当せず	n/a
1201	TO_SQLA_ML_1.1.02	インストール後の技術的タスクの実行	標準サービス	監視および運用に向けた、Mobilink のロール、特権およびオブジェクトアクセスの有効化。クラウド環境固有のユーザーと役割のプロビジョニングSAP HANA の各テナントデータベースに対する Mobilink ノードの構成とセットアップ（サービスの初期化、デリバリーユニットおよび検証を含む）。	該当せず	n/a
1202	TO_SQLA_ML_1.1.03	Mobilink - シングルサインオン (SSO) のセットアップ	対象外タスク	クラウド環境向けの SSO ソリューションに関連して、顧客は他の SAP のサービスを利用することができる。	該当せず	n/a
1203	TO_SQLA_ML_1.1.04	Mobilink - 高可用性 (HA) のための追加ホストのセットアップ	オプションのサービス	高可用性のセットアップのために追加ホストを追加し、設定する。マルチテナントのセットアップでは、Mobilink ノードは各テナントデータベース専用追加される。Mobilink ロードバランサーのセットアップについては、R&R の「ロードバランサー」セクションを確認すること。	該当せず	n/a
1204	TO_SQLA_ML_1.1.05	同期スクリプトのセットアップと設定	対象外タスク	リモートデータベースと統合データベース間のデータのアップロードとダウンロードのための同期スクリプトを作成する。	該当せず	n/a
1205		X41 - SAP Analytics Cloud				
1206		SAP Analytics Cloud テナント				
1207	TO_SAC_1.1.01	SAP Analytics Cloud と管理対象システム間の接続の確立	標準サービス		該当せず	n/a
1208	TO_SAC_1.1.02	SAP Analytics Cloud から SAP S/4HANA への、Principle Propagation によるシングルサインオン (SSO) 通信のセットアップ	対象外タスク	クラウド環境向けの SSO ソリューションに関連して、顧客は他の SAP のサービスを利用することができる。	該当せず	n/a
1209	TO_SAC_1.1.03	ユーザー/役割または ID プロバイダーとしての SAP の作成または変更	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS,Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
1210		SAP Analytics Cloud エージェント				
1211	TO_SAC_1.2.01	SAP Analytics Cloud エージェントのインストール	標準サービス		該当せず	n/a
1212	TO_SAC_1.2.02	SAP Analytics エージェントの設定 - クラウドコネクター	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS,Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
1213	TO_SAC_1.2.02A	SAP Analytics の設定 - Java コネクター	標準サービス		該当せず	n/a
1214	TO_SAC_1.2.03	SAP S/4HANA、ERP などの SAP Analytics エージェントが必要な接続での SAP Analytics Cloud の設定	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS,Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
1215		SAP Analytics Cloud 向けの SAP S/4HANA タスク				
1216	TO_SAC_1.3.01	SSL 設定のための STRUST の設定	標準サービス		該当せず	n/a
1217	TO_SAC_1.3.03	Analytics Cloud 用の INA の有効化	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS,Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
1218	TO_SAC_1.3.04	CORS Analytics Cloud の有効化と許可リストの編集	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS,Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
1219		X42 - SAP Business Technology Platform - BTP (旧称 SAP Cloud Platform)				
1220		グローバルアカウントおよびサブアカウント				

1221	TO_BTP_1.1.02	グローバルアカウント内のエンタイトルメントの作成または変更	パッケージサービス		アプリケーション運用, SAP BTP コアオペレーション, Cloud ERP private 向け CAS, SAP Integration Suite 向け CAS	A1,A3,C1,C3
1222	TO_BTP_1.1.06	証明書の管理 (発行、インポート、エクスポート)	パッケージサービス		アプリケーション運用, SAP BTP コアオペレーション, Cloud ERP private 向け CAS, SAP Integration Suite 向け CAS	A1,A3,C1,C3
1223	TO_BTP_1.1.07	カスタムアプリケーションのドメイン設定の作成または変更	パッケージサービス		アプリケーション運用, SAP BTP コアオペレーション, Cloud ERP private 向け CAS, SAP Integration Suite 向け CAS	A1,A3,C1,C3
1224	TO_BTP_1.1.08_PCE	BTP スターターパック用の S/4 PCE システムに関連するサブアカウントの作成	標準サービス	非本稼働層用に 1 つと、本稼働層用に 1 つに制限。Cloud Foundry の有効化と Default Space の作成、およびコアサービスの有効化が含まれる。		*
1225	TO_BTP_1.1.09_PCE	S/4 HANA PCE との統合および接続を確立するためのアプリケーションサブスクリプションとサブアカウントの設定	標準サービス	例: LBN 荷主、LBN 運送業者サブアカウント関連の作業。		*
1226		ID プロバイダー				
1227	TO_BTP_1.2.01	ローカルのプロバイダー設定の設定	パッケージサービス		アプリケーション運用, Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
1228	TO_BTP_1.2.02	外部 ID プロバイダー (Microsoft、Okta など) に対する信頼関係とフェデレーション設定の設定	パッケージサービス		アプリケーション運用, Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
1229	TO_BTP_1.2.03	SAP の ID 認証テナントに対する信頼関係とフェデレーション設定の設定	パッケージサービス		アプリケーション運用, Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
1230	TO_BTP_1.2.04	Principle Propagation Business Technology Platform、SAP Cloud Connector、および SAP S/4HANA の設定	パッケージサービス		アプリケーション運用, Cloud ERP private 向け CAS, Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2

1231	TO_BTP_1.2.05	クライアントベースの認証を目的とした CERTRULE の有効化	パッケージサービス	統合用に既存の SAP S/4HANA システムが使用される場合。	アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS,Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
1232	TO_BTP_1.2.06	Business Technology Platform の ID 認証テナントへのユーザーの移行	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS,Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
1233	SAP Business Technology Platform - BTP (旧称 SAP Cloud Platform) 向けの SAP S/4HANA タスク					
1234	TO_BTP_1.3.02	サンプルアプリのイネーブルメントに必要な ICF ノードの有効化	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS,Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
1235	TO_BTP_1.3.03	サンプルアプリのイネーブルメントに必要な OData サービスの有効化	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS,Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
1236	TO_BTP_1.3.04	エンタープライズサーチのイネーブルメント (ESH)	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS,Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
1237	TO_BTP_1.3.05	OData 処理のための、バックエンドシステムでの権限ロールの作成	パッケージサービス	関連するサンプルアプリが対象。	アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS,Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
1238	TO_BTP_1.3.06	Analytical Fiori アプリ用の埋め込み BW コンテンツの有効化	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS,Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
1239	TO_BTP_1.3.07	Analytical SAP Fiori アプリ用の INA のイネーブルメント	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS,Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
1240	ポータル					
1241	TO_BTP_1.4.01	SAP Fiori ラウンチパッドサイトの作成または変更 (サイトのディレクトリーおよびサイトの設定)	パッケージサービス		アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS,Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2

1242	TO_BTP_1.4.02	役割の作成または変更	パッケージサービス		アプリケーション運用, Cloud ERP private向け CAS, Business Data Cloud向け CAS	A1,C1,C2
1243	TO_BTP_1.4.03	グループの作成または変更 (ロール割り当てを含む)	パッケージサービス		アプリケーション運用, Cloud ERP private向け CAS, Business Data Cloud向け CAS	A1,C1,C2
1244	TO_BTP_1.4.04	カタログの作成または変更 (ロール割り当てを含む)	パッケージサービス		アプリケーション運用, Cloud ERP private向け CAS, Business Data Cloud向け CAS	A1,C1,C2
1245	TO_BTP_1.4.05	SAP Fiori サンプルアプリの有効化と必要な接続設定の実施	パッケージサービス		アプリケーション運用, Cloud ERP private向け CAS, Business Data Cloud向け CAS	A1,C1,C2
1246	SAP Integration Suite					
1247	TO_BTP_1.5.01	SAP Business Technology Platform - BTP (旧称 SAP Cloud Platform) 統合の、毎回のアップデートに対するテスト実行	パッケージサービス	SAP Cloud Platform のアップデートが行われるたびに回帰テストスクリプトの自動実行を実施。	クラウド統合テスト, SAP Integration Suite向け CAS	T2,C3
1248	TO_BTP_1.5.02	SAP Business Technology Platform - BTP (旧称 SAP Cloud Platform) 用のテスト自動化スクリプトの作成	パッケージサービス	入力および出力メッセージのサンプルを使用して、顧客の iFlow に基づいて自動テストスクリプトを作成する。	クラウド統合テスト, SAP Integration Suite向け CAS	T2,C3
1249	TO_BTP_1.5.03	変更の適用 (テスト自動化スクリプトの修正)	パッケージサービス	テスト自動化スクリプトの修正を実行する。	クラウド統合テスト, SAP Integration Suite向け CAS	T2,C3
1250	Azure 向け SAP BTP Private Link					
1251	TO_BTP_1.6.01	Azure プライベートリンクサービスを作成し、「ResourceID」を顧客と共有	標準サービス			*
1252	TO_BTP_1.6.02	BTP プライベートリンクサービスを設定するための BTP のステップ	対象外タスク			*
1253	TO_BTP_1.6.03	Azure Portal での SM による接続承認 - 24 時間以内	標準サービス			*
1254	X43 - SAP Forms by Adobe (Adobe Document Services/ADS)					
1255	インストールと設定					
1256	TO_ADS_1.1.04	文書セキュリティの設定 - 顧客アカウント	パッケージサービス	SAP Forms by Adobe (Adobe Document Services/ADS) が、顧客所有の BTP アカウント内に設定されている場合に適用。	アプリケーション運用, Cloud ERP private向け CAS	A1,C1
1257	TO_ADS_1.1.04A	文書セキュリティの設定 - SAP アカウント	標準サービス	2024 年 7 月 15 日より前に署名された契約に適用される。SAP 所有のグローバル BTP アカウント内に SAP Forms by Adobe (Adobe Document Services/ADS) が設定されている場合にのみ適用。		*

1258	TO_ADS_1.1.05	ジョブプロファイルの設定 - 顧客アカウント	パッケージサービス	SAP Forms by Adobe (Adobe Document Services/ADS) が、顧客所有の BTP アカウント内に設定されている場合に適用。	アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS	A1,C1
1259	TO_ADS_1.1.05A	ジョブプロファイルの設定 - SAP アカウント	標準サービス	2024 年 7 月 15 日より前に署名された契約に適用される。SAP 所有のグローバル BTP アカウント内に SAP Forms by Adobe (Adobe Document Services/ADS) が設定されている場合にのみ適用。		*
1260	TO_ADS_1.1.06	S/4HANA システム向けの、SAP BTP サービスである SAP Forms by Adobe のエンドツーエンドのイネーブルメント - SAP 管理対象の BTP アカウントのみ	標準サービス	2024 年 7 月 15 日より前に署名された契約に適用される。すべての必要な二次的ステップと作業を含む、SAP Forms by Adobe (Adobe Document Services/ADS) のイネーブルメント : AS ABAP 内に SAP Forms by Adobe 用の RFC 接続先を作成して設定。SAP Forms by Adobe との HTTP 通信を可能にするための ICF サービスを設定。サービスユーザー ADS_AGENT を作成。SAP 所有のグローバル BTP アカウント内に SAP Forms by Adobe (Adobe Document Services/ADS) が設定されている場合にのみ適用。		*
1261	TO_ADS_1.1.07	顧客所有の BTP グローバルアカウントを使用した NetWeaver ベースシステム向けの SAP BTP サービスである SAP Forms by Adobe のエンドツーエンドのイネーブルメント	パッケージサービス	すべての必要な二次的ステップと作業を含む、SAP Forms by Adobe (Adobe Document Services/ADS) のイネーブルメント : AS ABAP 内に SAP Forms by Adobe 用の RFC 接続先を作成して設定。SAP Forms by Adobe との HTTP 通信を可能にするための ICF サービスを設定。サービスユーザー ADS_AGENT を作成。顧客は、使用する BTP グローバル/サブアカウントの認証情報を提供する。	アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS	A1,C1
1262		X45 - Zscaler ZPA Connector				
1263		導入と設定				
1264	TO_ZPA_1.1.01	ZPA Connector と必要な OS パッケージのインストール	オプションのサービス			*
1265	TO_ZPA_1.1.02	ZPA Connector の設定	オプションのサービス			*
1266	TO_ZPA_1.1.03	ロードバランサー内での ZPA Connector の IP アドレスの許可リストへの登録	オプションのサービス			*
1267	TO_ZPA_1.1.04	ZPA の管理コンソール内でのコネクタの設定	対象外タスク			*
1268	TO_ZPA_1.1.05	ZPA Connector のプロビジョニングキーのプロビジョニング	対象外タスク			*
1269	TO_ZPA_1.1.06	クライアントソフトウェアのインストール	対象外タスク			*
1270	TO_ZPA_1.1.07	クライアントおよびエンドユーザーのサポート	対象外タスク			*
1271	TO_ZPA_1.1.08	コネクタの必要数のサイジング	対象外タスク			*
1272	TO_ZPA_1.1.09	顧客の IDP (SAML) との統合	対象外タスク			*
1273	TO_ZPA_1.1.10	プロビジョニングキーのインストール	オプションのサービス			*
1274		X46 - SAP Omnichannel Banking (OCB)				
1275		導入と設定				
1276	TO_OCB_1.1.01	Tomcat のインストール	オプションのサービス			*
1277	TO_OCB_1.1.02	OCB ソフトウェア Retail Banking または Business Banking (デジタル) のインストール	標準サービス			*
1278	TO_OCB_1.1.03	Business Central のデプロイト、カスタマイズされた WAR ファイルでのプラットフォームのデプロイ	対象外タスク	プロバイダーが、SAP 製品の WAR ファイルおよび顧客が提供するカスタマイズされた WAR ファイルについて、顧客のためにタスクを実施		*
1279	TO_OCB_1.1.04	WAR ファイルの作成	対象外タスク			*
1280		X48 - Redwood RunMyJobs				
1281		インストールと設定				
1282	TO_RMJ_1.1.01	Redwood プラットフォームエージェントをインストールし、セキュアゲートウェイとして設定	標準サービス	専用 VM 上でのセキュアゲートウェイエージェントのインストールと設定管理対象システムで実行中のサーバーにセキュアゲートウェイエージェントをインストールすることは許可されていません。	該当せず	n/a
1283	TO_RMJ_1.1.01A	Redwood OS プラットフォームエージェントのインストール (セキュアゲートウェイ機能を除く)	標準サービス	SAP アプリケーションサーバー VM への OS プラットフォームエージェントのインストールおよび設定このエージェントをセキュアゲートウェイとして使用することは想定されていない。	該当せず	n/a
1284	TO_RMJ_1.1.02	RunMyJobs プラットフォームエージェントの監視	標準サービス		該当せず	n/a
1285	TO_RMJ_1.1.03	RunMyJobs プラットフォームエージェントの再起動	標準サービス		該当せず	n/a
1286	TO_RMJ_1.1.04	ジョブのスケジュール設定	対象外タスク		該当せず	n/a
1287	TO_RMJ_1.1.05	プロセス定義のマニュアルでの設計と実装	対象外タスク		該当せず	n/a
1288	TO_RMJ_1.1.06	Redwood RunMyJobs Cloud への SAP システムの統合	パッケージサービス	ビジネスクライアントを顧客テナントに接続する。通信用のテクニカルユーザーは顧客が提供する必要がある。	アドバンストジョブ管理	M3
1289	TO_RMJ_1.1.07	Redwood ソリューションへの SAP システムの統合	パッケージサービス	ビジネスクライアントを顧客テナントに接続する。通信用のテクニカルユーザーは顧客が提供する必要がある。	アドバンストジョブ管理	M3

1290	TO_RMJ_1.1.08	Redwood ソリューションへの SAP オブジェクトのインポート	パッケージサービス	例: SAP_[BW_]MA_[PI_]Import* で始まる事前定義済みのプロセス定義の実行。関連するソースオブジェクトおよび Redwood 内の保管場所を顧客が提供する必要がある	アドバンス トジョブ管理, Business Data Cloud 向け CAS	M3,C2
1291	TO_RMJ_1.1.09	監視対象のジョブおよび KPI としきい値レベルを調整、Redwood Solution での監視設定を含む	パッケージサービス	ジョブは顧客が指定。監視コンセプトは、顧客とサービスプロバイダーが共同で策定する。	アドバンス トジョブ管理	M3
1292	TO_RMJ_1.1.10	サービスの可用性および Redwood テナントへのサービス接続の監視	パッケージサービス		アドバンス トジョブ管理	M3
1293	TO_RMJ_1.1.11	設計された監視コンセプトに基づくジョブ監視の運用	パッケージサービス		アドバンス トジョブ管理	M3
1294	TO_RMJ_1.1.12	ジョブエラー発生時の技術的障害原因分析 (RCA) と必要な変更の実装	パッケージサービス		アドバンス トジョブ管理	M3
1295	TO_RMJ_1.1.13	Redwood Solution 内のユーザーおよび役割管理	パッケージサービス	Redwood テナントへのアクセスが顧客によって提供されている場合にのみ適用。	アドバンス トジョブ管理	M3
1296		X49 - Office365 への SMTP リレー				
1297		インストールと設定				
1298	TO_SMTP_1.1.01	SMTP リレーおよび必要な OS パッケージのインストール	標準サービス			*
1299	TO_SMTP_1.1.02	SMTP リレーサーバーとロードバランサーの設定	標準サービス			*
1300	TO_SMTP_1.1.03	ロードバランサーおよび NSG 内での SMTP リレー IP/FQDN の許可リストへの登録	標準サービス			*
1301	TO_SMTP_1.1.04	TLS および認証用の証明書のプロビジョニング	対象外タスク			*
1302	TO_SMTP_1.1.05	SMTP リレーサーバーを使用するためのシステムの設定	パッケージサービス		アプリケー ション運用, Cloud ERP private 向け CAS, Busine ss Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
1303	TO_SMTP_1.1.06	O365 内の O365 コネクタの設定	対象外タスク			*
1304	TO_SMTP_1.1.07	証明書のインストール	標準サービス			*
1305	TO_SMTP_1.1.08	失敗後の再起動	標準サービス			*
1306	TO_SMTP_1.1.09	SMTP リレーサービスの監視	標準サービス			*
1307		X50 - SAP Data Custodian (SDC) - 統合サービス		ケースバイケースでの利用可能状況による。SDC は、それぞれ個別に発注されるコンポーネントのサブセットを提供。		
1308		Transparency and Control サービス (SAP S/4 HANA, ECC)				
1309	TO_SDC_1.1.01	SAP S/4HANA または ECC へのインストール	標準サービス	SDC 統合のために顧客が提供した必須バージョンとともに、既存の SAP S/4 HANA または ECC システムにインストール。		*
1310	TO_SDC_1.1.02	SAP システムプロファイルパラメータ	標準サービス	システムのパフォーマンスと可用性に影響を及ぼす可能性があるため、サービスプロバイ ダーがこのタスクの実行に責任を負う。技術システムパラメータに関する推奨事項が含ま れる。プロバイダーはまた、システムの安定性やセキュリティの維持に必要な一定の標準 的な設定を除き、顧客の要請によりパラメータの調整も行う。SAP Data Custodian Transparency and Control が機能するには、サービスプロバイダーがプロファイルパラメータを設定する必要がある 。システム再起動のためにダウンタイムが必要。		*
1311	TO_SDC_1.1.03	ロードバランサーを介したアウトバウンド接続の有効化	標準サービス	SDC テナントへのアウトバウンド接続を許可する。アウトバウンド接続を可能にするために顧 客が SDC テナントの URL を提供する。顧客はこれを、オンボーディングプロセス中に顧客の SDC チームから取得する。		*
1312		インフラストラクチャーの透明性および管理サービス (ハイパースケーラー)				
1313	TO_SDC_1.1.04A	それぞれのハイパースケーラーでのインフラストラクチャーコンポーネントの作成	標準サービス	各ハイパースケーラーごとに、統合サービスの有効化に必要なインフラストラクチャーコ ンポーネント (EventHub、PUB/SUB,S3 など) がある。		*
1314	TO_SDC_1.1.04	オンボーディング作業 (プリンシパルマスキングによるテナントの設定、評価/質問 表などを含む)	対象外タスク	顧客の SDC チームが実行。		*
1315	TO_SDC_1.1.05	SAP S/4HANA システムでのテナントの設定	対象外タスク			*

1316	TO_SDC_1.1.06	Principal[User] 属性に対するアプリケーション同期の設定	対象外タスク		*
1317	TO_SDC_1.1.07	Data Custodian テナントでのユースケースポリシーの更新管理	対象外タスク		*
1318	TO_SDC_1.1.08	テナント内での不正アクセスに対するインシデントの是正	対象外タスク		*
1319	TO_SDC_1.1.09	アクセスログおよびその他のレポートの生成	対象外タスク		*
1320		外部キー管理 (KMS) の統合			
1321	TO_SDC_1.2.01	HANA LSS のインストールとキー移行	追加サービス	HANA 2.0 SP06 以降および HANA 暗号化が有効化されている必要がある。	*
1322		Data Custodian への統合			
1323	TO_SDC_1.3.01	Data Custodian KMS への HANA の統合	追加サービス	顧客は、Data Custodian KMS のサブスクリプションを取得し、オンボーディングを完了している必要がある。HANA LSS のインストールが必要。	*
1324	TO_SDC_1.3.01A	HANA LSS のインストールとキー移行および Data Custodian KMS への HANA の統合	追加サービス	HANA 2.0 SP06 以降および HANA 暗号化が有効化されている必要がある。顧客は、Data Custodian KMS のサブスクリプションを取得し、オンボーディングを完了している必要がある。HANA LSS のインストールが必要。	*
1325		統合のアンインストール/リンク解除/取り消し			
1326	TO_SDC_1.4.01A	LSS のアンインストールおよび/または KMS 統合のリンク解除/取消	追加サービス	ダウンタイムが必要	*
1327		X51 - SAP Disclosure Management (DM)			
1328		インストール			
1329	TO_SDM_1.1.01	DM コンポーネントのインストール	標準サービス	IIS Web サーバー、DM アプリケーションサーバー、タスクエンジン、XBRL サービス、および MS-SQL DB。	*
1330	TO_SDM_1.1.02	DM BW Connector のインストール	標準サービス		*
1331	TO_SDM_1.1.03	DM コンテンツパッケージのインストール	標準サービス	シナリオに基づく。	*
1332		セットアップと設定			
1333	TO_SDM_1.2.01	インストール後の設定	標準サービス		*
1334	TO_SDM_1.2.03	DM アプリケーションサーバーの SSL/TLS セキュア通信の設定	標準サービス	OS アクセスが必要。支援は、タスク BASIC_1.1.14 で依頼することができる。	*
1335	TO_SDM_1.2.04	Windows AD による DM アプリケーションサーバー SSO の設定	対象外タスク	クラウド環境向けの SSO ソリューションに関連して、顧客は他の SAP のサービスを利用することができる。	*
1336		X52 - SAP 3D Visual Enterprise Generator (VEG)			
1337		インストール			
1338	TO_VEG_1.1.01	VEG コンポーネントのインストール	標準サービス	IIS Web サーバー、MSMQ サーバー、埋め込み MS-SQL Express DB を伴う アプリケーションサーバー（ソース）。	*
1339	TO_VEG_1.1.02	追加の VEG 下位ホストのインストール	標準サービス		*
1340		セットアップと設定			
1341	TO_VEG_1.2.01	インストール後の設定	標準サービス		*
1342	TO_VEG_1.2.02	VEG SSL/TLS のセキュア通信の設定	標準サービス	OS アクセスが必要。支援は、タスク BASIC_1.1.14 で依頼することができる。	*
1343	TO_VEG_1.2.03	ERP/ECC/S4HANA との統合	標準サービス	OS アクセスが必要。支援は、タスク BASIC_1.1.14 で依頼することができる。	*
1344	TO_VEG_1.2.04	Windows AD による SSO の設定	対象外タスク	クラウド環境向けの SSO ソリューションに関連して、顧客は他の SAP のサービスを利用することができる。	*
1345		X53 - SAP コンテンツサーバー			
1346		インストールと運用			

1347	TO_SCS_1.1.01	コンテンツサーバーのインストール	標準サービス				*
1348	TO_SCS_1.1.02	特定のパラメーター定義のインストール	標準サービス				*
1349	TO_SCS_1.1.03	コンテンツサーバー - システムコピー	標準サービス		SID あたり、契約年あたり最大 6 回のリフレッシュが含まれる。追加のリフレッシュは、TO_SCS_1.1.03A を介して有償で利用可能。初期構築フェーズの完了後にのみ可能。注：顧客は追加情報を提供する必要があり、その情報は要求の処理中に調整される。		*
1350	TO_SCS_1.1.03A	コンテンツサーバー - システムコピー - 追加依頼	追加サービス		TO_SCS_1.1.03 に記載のエンタイトルメントを超える追加のリフレッシュ。初期構築フェーズの完了後にのみ可能。注：顧客は追加情報を提供する必要があり、その情報は要求の処理中に調整される。		*
1351		リポジトリの設定					
1352	TO_SCS_1.2.01	サーバー証明書の生成（SSL 対応の場合）	標準サービス		SAPSSLS PSE の CA 署名後、証明書を生成する必要がある。		*
1353	TO_SCS_1.2.03	OAC0 内のリポジトリの技術的設定	パッケージサービス		戦略的/概念の決定は顧客/コンサルティングが行う。	アプリケーション運用、Cloud ERP private 向け CAS,Business Data Cloud 向け CAS	A1,C1,C2
1354	TO_SCS_1.2.05	顧客のバックエンドシステムでの SAPR3 パスワードの設定	標準サービス				*
1355		パッチのアップデート					
1356	TO_SCS_1.3.01	コンテンツサーバーバージョン用の SP アップデート	標準サービス				*
1357	TO_SCS_1.3.02	MaxDB データベース用の SP アップデート	標準サービス				*
1358		バージョンアップグレード					
1359	TO_SCS_1.4.01	リポジトリ接続の事前チェック	標準サービス		所定の全リポジトリに対して RSCMST を介した接続テストを実行する必要がある。		*
1360	TO_SCS_1.4.02	テクニカルアップグレード手順 - 7.53 までのリリース向け	標準サービス		リリース 7.53 までのアップグレード向け		*
1361	TO_SCS_1.4.02A	テクニカルアップグレード手順	標準サービス		7.53 から 7.54 以降にアップグレードする場合。		*
1362	TO_SCS_1.4.03	リポジトリに対するアップグレード後の設定変更 - 7.53 までのリリース向け	標準サービス		リリース 7.53 までのアップグレード向け		*
1363	TO_SCS_1.4.03A	リポジトリに対するアップグレード後の設定変更	標準サービス		7.53 から 7.54 以降にアップグレードする場合。		*
1364	TO_SCS_1.4.04	リポジトリ接続に対する技術的事後チェック	標準サービス		所定の全リポジトリに対して RSCMST を介した接続テストを実行する必要がある。		*
1365	TO_SCS_1.4.05	リポジトリの機能検証	対象外タスク				*
1366		X54 - SAP HANA Cockpit 2.0					
1367		インストールと設定					
1368	TO_HANA_CP_1.1.03	リソース（例：HANA システム）およびリソースグループの追加/更新	対象外タスク		顧客の施設での HANA システムの管理用に、管理対象ランドスケープにデプロイされた HANA コックピットを設定する。顧客は、サービスプロバイダーから提供されたユーザーにより、このタスクを実行することができる。	該当せず	n/a
1369	TO_HANA_CP_1.1.04	HANA コックピットのデータベースリソースの利用の監視	標準サービス		技術運用における課題を検出するため。	該当せず	n/a
1370	TO_HANA_CP_1.1.05	ユーザー管理	対象外タスク		顧客は、HANA コックピット用に自身のユーザーの更新管理を行う必要がある。	該当せず	n/a
1371	TO_HANA_CP_1.1.06	HANA コックピットのアップデートおよびアップグレード	標準サービス			該当せず	n/a
1372		X55 - SAP Focus Run					
1373		設定					
1374	TO_FRUN_1.1.07	最初の管理対象システムを顧客の FRUN に接続する	標準サービス		このタスクには、接続テスト、証明書情報の交換、ユーザープロビジョニング、SLD データ転送など、FRUN 接続の初回の 1 回限りの準備が含まれる。このタスクは、証明書、ユーザー、ホスト名などの既存の接続詳細を変更するために使用することもできる。		*
1375	TO_FRUN_1.1.08	後続の管理対象システムを顧客の FRUN に接続する	標準サービス		このタスクは、少なくとも 1 つの他の管理対象ホストが先行タスク ID で FRUN にすでに正常に接続されている場合に依頼することができる。		*
1376	TO_FRUN_1.1.06	FRUN 内での SSI および監視の設定	対象外タスク				*
1377		X56 - SAP S/4HANA 統合タスク					
1378		設定					
1379	TO_S4H_1.1.01	送信インターネットプロキシ設定の設定	標準サービス		プロビジョニング中のデフォルトの統合タスクのみ。		*
1380	TO_S4H_1.1.02	ユーザーと標準ビジネスロールの統合	標準サービス		プロビジョニング中のデフォルトの統合タスクのみ。		*
1381	TO_S4H_1.1.03	SSL 設定	標準サービス		プロビジョニング中のデフォルトの統合タスクのみ。		*
1382	TO_S4H_1.1.04	Web サービスの有効化 - SICF、OData、SOAMANAGER、RFC	標準サービス		プロビジョニング中のデフォルトの統合タスクのみ。		*
1383	TO_S4H_1.1.05	IMG/SPRO アクティビティ	標準サービス		プロビジョニング中のデフォルトの統合タスクのみ。		*
1384	TO_S4H_1.1.06	Fiori のイネーブルメントタスク	標準サービス		プロビジョニング中のデフォルトの統合タスクのみ。		*
1385	TO_S4H_1.1.07	SLD 設定 - RZ70 およびビジネスシステムの設定	標準サービス		Ariba Integration のスターターパック用のみ。プロビジョニング中のデフォルトの統合タスクのみ。		*

1386		顧客管理統合シナリオ向け SAP マネージド BTP AI サービスの設定	このサービスでは、組み込み AI 機能の有効化に必要な各 SAP Business Technology Platform (BTP) 人工知能 (AI) が提供される。必要に応じて、自動化を実行して、目的の組み込みインテリジェントシナリオライフサイクル管理 (ISLM) AI シナリオの前提条件を有効化および設定可能。前提条件: 要求された ISLM シナリオでサポートされているリリースの AI ユニット SKU およびシステム。			
1387	TO_S4H_1.2.01	送信インターネットプロキシ設定の設定	標準サービス	SAP Business Technology Platform (BTP) での AI サービスインスタンスのプロビジョニング - オプション: 認証情報の伝播、技術 RFC 接続のセットアップと設定		*
1388	TO_S4H_1.2.02	ISLM シナリオの最終有効化	対象外タスク	顧客の責任。		*
1389		X57 - SAP Cloud アプリケーションライフサイクル管理 (CALM)				
1390		インストールと設定				
1391	TO_CALM_1.1.02	基本的セットアップ	パッケージサービス		アプリケーション運用, Cloud ERP private 向け CAS	A1,C1
1392	TO_CALM_1.1.03	CALM への接続のセットアップ	パッケージサービス	自動化された SAP Cloud ALM プロビジョニングの検証を行う。これには、IDMおよびCALMでの最大 10 人のユーザーの登録およびロールの割り当てと、SAP Cloud ALM とは異なる顧客番号に割り当てられたサービスの追加が含まれる。	アプリケーション運用, SAP Cloud ALM 用のコア運用, Cloud ERP private 向け CAS	A1,O2,C1
1393	TO_CALM_1.1.04	クラウド TMS への接続のセットアップ	パッケージサービス	CALM と ABAP システム間の接続を処理するために使用される。非 ABAP ベースのシステムへの接続は、BASIC_1.15.04 を介して要求することができる。	アプリケーション運用, SAP Cloud ALM 用のコア運用	A1,O2
1394	TO_CALM_1.1.06	テスト管理のセットアップ	パッケージサービス		回帰テスト	T1
1395		X58 - SAP Teamcenter by Siemens	SAP Teamcenter by Siemens のタスクおよびサービスは、既存の顧客に限定され、新規の顧客には現在提供されていない。			
1396		インストールと設定				
1397	TO_TC_1.1.03	CAD 統合 (Solidworks, NX など)	対象外タスク	CAD 統合のクライアントビルドは含まれない。CAD 統合のインストールは、ベースビルドへの追加アドオンであるため、ライセンス機能拡張サービスの一部として含まれる。		*
1398	TO_TC_1.1.04	クライアントのビルド	対象外タスク	顧客デスクトップ上の 4 層のクライアントビルドはすべて除外される。		*
1399	TO_TC_1.1.05	BMIDE クライアント	対象外タスク	顧客は、自身のデスクトップ上での BMIDE のインストールの管理に責任を負う。		*
1400	TO_TC_1.1.08	Teamcenter インフラストラクチャーの再起動	標準サービス	計画保守または問題解決の一環として。		*
1401	TO_TC_1.1.09	インデックスサービスの再構築	標準サービス	Teamcenter 環境用にインデックスを再構築または修復する必要がある場合。		*
1402	TO_TC_1.1.12	Teamcenter コンポーネントのアップデート/パッチ適用 - マイナーなコンポーネントのみ	標準サービス	Teamcenter アプリケーションのマイナーバージョンパッチアップデート。(例: X.2.1 から X.2.2、X.2.1 から X.3.2 へ)。技術的なアップグレードのみ。		*
1403	TO_TC_1.1.13	Teamcenter コンポーネントのメジャーバージョンアップグレード - 技術的なアップグレードのみ	追加サービス	Teamcenter アプリケーションのみのメジャーバージョンアップグレード (例: Teamcenter 14.2 から 2312、2312 から 2406 など)。		*
1404	TO_TC_1.1.14	ライセンス機能の拡張	追加サービス	Teamcenter アプリケーションのインストールされている機能を拡張し、顧客が標準のビルド外で購入した要素を含め入れる。サービスプロバイダーによる評価および承認の対象となる。		*
1405	TO_TC_1.1.25A	BMIDE テンプレートのデプロイ - コールドデプロイメント	標準サービス	Teamcenter の設定拡張に従って、BMIDE デプロイメントパッケージがコールドデプロイメント用に顧客によって作成され、デプロイメントを実行するために OS レベルのアクセスが要求される。顧客は、暦年ごとに、システムあたり最大 12 の BMIDE コールドデプロイメントを依頼することができる。追加の依頼は、TO_TC_1.1.25B を使用して請求対象サービスとして提供される。顧客は、顧客のエラーおよび/または顧客パッケージエラーが原因で環境に障害が発生した場合、障害が発生した環境を復元するためのコストに責任を負う。		*
1406	TO_TC_1.1.25B	BMIDE テンプレートのデプロイ - コールドデプロイメント - 追加依頼	追加サービス	TO_TC_1.1.25A に記載されているエンタイトルメントを超える追加依頼		*
1407	TO_TC_1.1.27	BMIDE テンプレートの管理	対象外タスク	顧客は、ソース BMIDE テンプレートの管理と維持を行い、デプロイされるテンプレートを検証する責任を負う。		*
1408	TO_TC_1.1.36	Teamcenter システムのパフォーマンスに関する課題のトラブルシューティング (サービスのスコープ内にある技術的的根本原因)	標準サービス	初回評価の結果に基づく。サービススコープ内の技術的問題に起因している状態で、システムパフォーマンスが通常かつ予測可能な範囲を離れ (例えば過去に同等の負荷状況で示されているなど) を逸脱している場合に限り、サービスプロバイダーによるトラブルシューティングが実施される。		*
1409	TO_TC_1.1.46	パイプラインのデプロイ - 本稼動環境	標準サービス	開発 (DEV) 環境から本稼動 (PRD) 環境にパイプラインを移行する。		*

1410	TO_TC_1.1.47	パイプラインの作成/設計/変更	対象外タスク	新しいパイプラインの設計/変更/開発のサポート。		*
1411	TO_TC_1.1.48	AIG キューの監視/再開	対象外タスク	AIG キューの監視および管理（開始/停止）		*
1412	TO_TC_1.1.49	失敗した転送のデバッグ - 送信/受信	対象外タスク	Teamcenter からの統合パッケージを使用して、未処理の問題を解決する。		*
1413	TO_TC_1.1.50	クライアントネットワークベースのモジュールサービス（ディスパッチャ）	対象外タスク	クライアントネットワークベースのモジュールサービスのインストールおよび管理は、含まれない。顧客は、これらの作業に責任を負う。		*
1414	TO_TC_1.1.51	新規ディスパッチャサーバー上に Teamcenter ディスパッチャ、スケジューラクライアント、およびモジュールを構築	標準サービス	変換のユースケース。CAD 変換のために、ootb ディスパッチャスケジューラ、クライアント、およびモジュールをディスパッチャサーバーにインストールする。		*
1415	TO_TC_1.1.52	ディスパッチャ管理ユーティリティの実行	標準サービス	CAD ディスパッチャと非 CAD ディスパッチャの両方に適用される。ootb ディスパッチャ管理クライアントユーティリティを実行する。		*
1416	TO_TC_1.1.53	ディスパッチャでの変更の設定	標準サービス	CAD ディスパッチャと非 CAD ディスパッチャの両方に適用される。スケジューラ、モジュール、およびクライアントでの設定変更		*
1417	TO_TC_1.1.54	失敗した変換のトラブルシューティング	対象外タスク	Teamcenter ディスパッチャ関連。スコープ外の失敗した変換またはスタックしている変換を分析してトラブルシューティングする。		*
1418	TO_TC_1.1.55	Teamcenter のシステムリフレッシュ-本稼働システムから非本稼働システム	追加サービス	リフレッシュされる非本稼働 Teamcenter ハブシステムのアーキテクチャは同じである必要がある（例えば、DB サイズとボリュームサイズは同じにする必要がある）。非本稼働 Teamcenter システムは、カスタム設定に関して本稼働と同レベルにする必要がある。リフレッシュされる非本稼働 Teamcenter ハブシステムが本稼働システムよりも下位のリリースバージョンである場合、カスタム設定を確実に同じにするために、顧客は、リフレッシュ活動の前に、非本稼働システムにデプロイされる最新のパッケージを提供する必要がある。		*
1419	TO_TC_1.1.56	Teamcenter シングルサインオン (SSO) ログインの設定。	追加サービス	Teamcenter に対する SAML ベースの SSO 設定のみがサポートされる。顧客の SI パートナーは、ECS Teamcenter チームに明確なステップを示す SSO 設定文書を共有する必要がある。顧客は、SSO ログインシナリオおよび確認された問題（存在する場合）を検証し、トラブルシューティングを行う責任を負う。顧客は、Teamcenter の全体的な SSO 設定に責任を負う。OS アクセスが必要。支援は、タスク BASIC_1.1.14 で依頼することができる。顧客は、顧客がテストおよび検証する段階的な指示および/またはドキュメンテーションを ECS に提供する責任を負う。		*
1420		X65 - SAP Signavio Process Intelligence オンプレミスエクストラクタ				
1421		インストールと設定				
1422	TO_SGPIEX_1.1.01	インストール/更新	標準サービス	統合エージェントとして SAP ECC および S4/HANA ランドスケープにのみ適用される。エージェントは標準仮想マシンにインストールされる。SAP Signavio 抽出機能の技術的前提条件のインストールが含まれる。すべてのハイパースケイラーで利用可能。		*

Packaged Services Table Available at:

<https://dam.sap.com/mac/embed/public/pdf/a/9QAYbbF?rc=10&doi=SAP1271618&includeSapBrandedWrapper=true>

Packaged Services (Formerly: SAP Cloud Application Services ("CAS")) available at additional charge. Needs to be performed by customer if applicable and if the SAP CAS Service is not used.)

Packaged Services: Include tasks/services that a customer can perform, but the customer may elect to have SAP or Service Provider elect to deliver. Needs to be performed by customer if applicable and if a Packaged Service is not used. Packaged Services are subject to additional service fees as agreed in a customer's contract.

Packaged Services is a category of supplementary services identified as "Packaged Services" in this document. Packaged Services are subject to additional service fees as agreed in a customer's contract. Packaged Services excludes all services involving the extension, reduction, or change of the customer's existing landscape, e.g., provisioning additional infrastructure resources. SAP may provide Packaged Services in either proactive or reactive mode. For SAP to provide services in a reactive mode, the customer is required to submit Packaged Services service requests to SAP via the ticketing/service request system made available to customer for such purpose.